

注3

**大学番号：094**

[平成26年度設置]

計画の区分：学部の学科の設置

注1

**届出**

聖心女子大学 文学部 史学科、人間関係学科、  
国際交流学科、心理学科

注2

**【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書**

学校法人 聖心女子学院  
平成27年5月1日現在

作成担当者			
担当部局（課）名	企画部		
職名・氏名	カチョウ 課長	ハラダ 原田	ツクル 耕
職名・氏名	カイン 課員	モリワキ 森脇	ミホ 美穂
職名・氏名	カイン 課員	ツルマル 鶴丸	ハルカ はる香
電話番号	03-3407-5249 (企画部直)		
(夜間)	03-3407-5811 (大学直通)		
F A X	03-3407-6126 (企画部直)		
e-mail	kikakubu@u-sacred-heart.ac.jp		

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。  
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には設置時の旧名称を記載し、その下欄に  
( )書きにて、現在の名称を記載してください。  
例) 〇〇大学 △△学部  
(□□学部(平成◇◇年度より変更))  
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。  
例)  
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」  
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」  
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」  
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」  
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」  
※「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。
- 3 大学番号の欄については、平成27年3月30日付事務連絡「大学等の設置に係る設置計画履行状況報告書等の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 聖心女子学院

## (2) 大学名

聖心女子大学

## (3) 大学の位置

〒150-8938  
東京都渋谷区広尾4-3-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ウノ ミエコ) 宇野 三恵子 (現職就任平成22年6月)		
学長	(オカザキ ヨシコ) 岡崎 淑子 (現職就任平成23年10月)		
学務担当 副学長	(ササキ ケイスケ) 佐々木 恵介 (現職就任平成24年4月)		
学生担当 副学長	(スズキ オトシ) 鈴木 乙史 (現職就任平成25年10月)	(カワツ マコト) 川津 誠 (現職就任平成27年4月)	任期満了に伴い平成27年 4月1日付人事異動にて変 更(27)
評価・大学院 担当副学長	(キタムラ カズオ) 北村 和夫 (現職就任平成23年10月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学部 史学科  学士(史学)	4年	55人	2年次 2人	226人	入学時は文学部としての一括募集。2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に収容する。

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	55人 ( - ) [ - ]	-	55人 ( 2 ) [ - ]	-	55人 ( 2 ) [ - ]	-	55人 ( 2 ) [ - ]	-	1.15倍	— 倍	入学時は文学部としての一括募集。2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に収容する。
志願者数	168 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	160 ( 0 ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
受験者数	161 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	153 ( 0 ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
合格者数	103 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	100 ( 0 ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
B 入学者数	66 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	61 ( 0 ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	1.20		1.10		—		—				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 1 ] ( - ) 66	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] ( 1 ) 62	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	入学時は文学部としての一括募集。2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に收容する。
2年次	/		[ 0 ] ( 0 ) 68	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
3年次	/		/		[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
4年次	/		/		/		[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
計	[ 1 ] ( - ) 66	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] ( 1 ) 130	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	66 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学	1.5%
			平成27年度	0 人	0 人	該当者なし	
			平成28年度	— 人	— 人		
			平成29年度	— 人	— 人		
平成27年度 入学者	61 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	該当者なし	0 %
			平成28年度	— 人	— 人		
			平成29年度	— 人	— 人		
平成28年度 入学者	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人		— %
			平成29年度	— 人	— 人		
平成29年度 入学者	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人		— %
合 計	127 人	1 人					0.8%

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- 各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- 各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- 「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- 「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(○人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下   ・学力不足   ・他の教育機関への入学・転学   ・海外留学  
                   ・就職   ・学生個人の心身に関する事情   ・家庭の事情   ・除籍   ・その他

## 2 授業科目の概要

<文学部 史学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻課程分野	日本史史料論	2通		4								兼1	
	日本史演習Ⅰ	2通		4		3		1					
	日本史演習Ⅱ	日本史演習Ⅱ-1	3通		4		1						
		日本史演習Ⅱ-2	3通		4				1				
		日本史演習Ⅱ-3	3通		4		1						
		日本史演習Ⅱ-4	3通		4		1						
	日本史演習Ⅲ	日本史演習Ⅲ-1	4通		4		1						
		日本史演習Ⅲ-2	4通		4				1				
		日本史演習Ⅲ-3	4通		4		1						
		日本史演習Ⅲ-4	4通		4		1						
	世界史文献購読Ⅰ	世界史文献購読Ⅰ-1	2前		2		2 1	1					授業内容を多様にするために担当者変更(27)
		世界史文献購読Ⅰ-2	2後		2		2 1	1					授業内容を多様にするために担当者変更(27)
	世界史演習Ⅰ	世界史演習Ⅰ-1	2前		2		1 2 3	2 1					授業内容を多様にするために担当者変更(26) 授業内容を多様にするために担当者変更(27)
		世界史演習Ⅰ-2	2後		2		1 2 3	2 1					授業内容を多様にするために担当者変更(26) 授業内容を多様にするために担当者変更(27)
	世界史演習Ⅱ	世界史演習Ⅱ-1	3通		4		1						
		世界史演習Ⅱ-2	3通		4		1 1						担当教員研修年のため教員変更(26) 研修年終了により担当教員変更(27)
		世界史演習Ⅱ-3	3通		4		1	1					記載誤りのため修正(26)
		世界史演習Ⅱ-4	3通		4		1	1					記載誤りのため修正(26)
		世界史演習Ⅱ-5	3通		4		1	1					担当教員の身分昇格(26)
		世界史演習Ⅱ-6	3通		4								兼1
	世界史演習Ⅲ	世界史演習Ⅲ-1	4通		4		1						
		世界史演習Ⅲ-2	4通		4		1						
		世界史演習Ⅲ-3	4通		4		1	1					記載誤りのため修正(27)
		世界史演習Ⅲ-4	4通		4		1	1					記載誤りのため修正(27)
		世界史演習Ⅲ-5	4通		4		1	1					担当教員の身分昇格(26)
		世界史演習Ⅲ-6	4通		4								兼1

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
史学 共通	古文入門	2・3・4通		4								兼1		
	国際関係史 I	2・3・4前		2								兼1		
	国際関係史 II	2・3・4通		4								兼1	平成27年度未開講 (27)	
	世界音楽地誌	1・2・3・4通		4								兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26) 平成27年度未開講 (27)	
	日本史概説 I	1・2・3・4前		2		1							教育効果を考慮し配当年次変更 (26)	
	日本史概説 II	1・2・3・4後		2		1							教育効果を考慮し配当年次変更 (26)	
	外国史概説	1・2・3・4通		4		3 4	1							教職課程認定による指導のため科目 追加(26) 研修年終了により教員追加(27)
	世界史への招待 I	1・2・3・4前		2		3 4	1							教育課程の充実を図るため科目を追 加(26) 研修年終了により教員追加(27)
	世界史への招待 II	1・2・3・4後		2		3 4	1							教育課程の充実を図るため科目を追 加(26) 研修年終了により教員追加(27)
	外国史概説 I—1	2・3・4前		2			1							教職課程認定における指導により 削除(26)
	外国史概説 I—2	2・3・4前		2			1							教職課程認定における指導により 削除(26)
	外国史概説 II—1	2・3・4後		2			1							教職課程認定における指導により 削除(26)
	外国史概説 II—2	2・3・4後		2			1							教職課程認定における指導により 削除(26)
	外国史概説 II—3	2・3・4後		2				1						教職課程認定における指導により 削除(26)
日本 史系 列	資料整理実習	3・4前後		2								兼1	授業運営上の都合により開講時期 を変更 (26)	
	史料講読 I	2・3・4通		4								兼1		
	史料講読 II	3・4通		4		1								
	日本考古学	1・2・3・4通		4								兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)	
	日本民俗学	1・2・3・4通		4								兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)	
	日本古代史 I	2・3・4通		4		1								
	日本中世史 I	2・3・4通		4					1					
	日本中世史 II—1	2・3・4後		2								兼1	教育課程の充実を図るため科目を追 加(26)	
	日本近世史 I	2・3・4通		4		1								
	日本近世史 II	2・3・4通		4								兼1		
	日本近現代史 I	1・2・3・4通		4		1							教育効果を考慮し配当年次変更 (26)	
	日本近現代史 II	1・2・3・4通		4								兼1	教育課程の充実を図るため科目を追 加(26)	
	日本近現代史 II—1	2・3・4前		2								兼1	平成27年度未開講 (27)	
	日本近現代史 II—2	2・3・4後		2								兼1	平成27年度未開講 (27)	
	日本文化史 I	1・2・3・4後		2								兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)	
	日本文化史 II	1・2・3・4後前		2								兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、 授業運営上の都合により開講時期 を変更 (27)	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
世界 史系 列	中国古代文化史	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)	
	中国近代史	2・3・4通		4		1							
	中国古代史	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)	
	朝鮮現代史	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)	
	東南アジア史	2・3・4通		4							兼1		
	南アジア現代史	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26) 平成27年度未開講 (27)	
	南アジア近代史	2・3・4通									兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)	
	西アジア近代史	2・3・4通		4		1	1					担当教員の身分昇格 (26)	
	西アジア文化史	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)	
	イスラム社会史入門	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)	
	古代オリエント史	2・3・4通		4							兼1		
	古代ローマ史	2・3・4通		4							兼1		
	東洋陶磁史	1・2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)	
	ヨーロッパ中世史 I	2・3・4通		4		1	1				兼1	専任教員研修年のため担当者変更(26) 研修年終了により教員変更 (27)	
	ヨーロッパ中世史 II	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)	
	ヨーロッパ近代史 I	2・3・4通		4		1							
	ヨーロッパ近代史 II	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)	
	ヨーロッパ現代史 I	1・2・3・4通		4			1					教育効果を考慮し配当年次変更(26)	
	ヨーロッパ現代史 II	2・3・4通		4							兼1		
	ロシア文化史	2・3・4通		4							兼1		
	アメリカ史	2・3・4通		4							兼1		
	ラテンアメリカ史	2・3・4通		4							兼1		
	世界史文献講読Ⅱ-1	2・3・4前		2		1							記載誤りにより配当年次修正(27)
	世界史文献講読Ⅱ-2	2・3・4後		2		1							記載誤りにより配当年次修正(27)
	世界史文献講読Ⅲ-1	2・3・4前		2		1							記載誤りにより配当年次修正(26)
	世界史文献講読Ⅲ-2	2・3・4後		2		1							記載誤りにより配当年次修正(26)
	世界史文献講読Ⅳ-1	2・3・4前		2		1							記載誤りにより配当年次修正(26)
	世界史文献講読Ⅳ-2	2・3・4後		2		1							記載誤りにより配当年次修正(26)
	世界史文献講読Ⅴ-1	2・3・4前		2			1						記載誤りにより配当年次修正(26)
	世界史文献講読Ⅴ-2	2・3・4後		2			1						記載誤りにより配当年次修正(26)
世界史文献講読Ⅵ-1	2・3・4前		2		1	1						記載誤りにより配当年次修正 担当教員の身分昇格 (26)	
世界史文献講読Ⅵ-2	2・3・4後		2		1	1						記載誤りにより配当年次修正 担当教員の身分昇格 (26)	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
卒業論文	卒業論文	4通	8			6 7	2 1	1				担当教員の身分昇格(26)
専攻課程分野 関連分野	他学科開講科目(人間関係)	対人社会心理学1	2前	2							兼1	
		マスコミ社会心理学1	2後前後	2							兼1	担当教員が研修年のため開講時期変更(26) 研修年終了のため開講時期変更(27)
		人格心理学1	2前	2							兼1	
		家族社会学1	2後前	2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
		職業社会学1	2後	2							兼1	
		文化人類学1	2後前	2							兼1	担当教員が研修年のため開講時期変更(27)
		社会調査入門	2前	2							兼7 5	研修年または副学長就任のため教員数変更(26)
		比較文化学1	2前	2							兼1	
		社会心理学特講1	2・3・4前	2							兼1	
		社会心理学特講2	3・4前	2							兼1	
		社会心理学特講3	3・4後	2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
		社会心理学特講4	2・3・4前	2							兼1	
		社会心理学特講6	2・3・4前	2							兼1	平成27年度未開講(27)
		社会心理学特講9	2・3・4後	2							兼1	平成27年度未開講(27)
		社会心理学特講11	2・3・4後前	2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
		社会心理学特講14	3・4前	2							兼1	
		社会心理学特講15	2・3・4後	2							兼1	平成27年度未開講(27)
		文化人類学特講2	2・3・4前	2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
		文化人類学特講4	2・3・4前	2							兼1	平成27年度未開講(27)
		文化人類学特講5	2・3・4後	2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
		文化人類学特講6	2・3・4前	2							兼1	
		文化人類学特講7	2・3・4後	2							兼1	
		文化人類学特講10	2・3・4後	2							兼1	平成27年度未開講(27)
		文化人類学特講11	2・3・4前	2							兼1	
		文化人類学特講12	2・3・4後	2							兼1	
		人文地理学1	2・3・4前	2							兼1	
		人文地理学2	2・3・4後	2							兼1	
	自然地理学1	2・3・4前	2							兼1		
	自然地理学2	2・3・4後	2							兼1		
	地誌学1	2・3・4前	2							兼1		
	地誌学2	2・3・4後	2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	社会学	2・3・4通		4							兼1 2	教育内容の充実を図るため担当教員を追加 (27)
	マス・コミュニケーション論	2・3・4前		2							兼1	
	家族社会学2	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	職業社会学2	2・3・4前		2							兼1	
	キャリア形成の社会学	2・3・4前		2							兼1	
	社会学特講1	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	社会学特講2	2・3・4前		2							兼1	
	社会学特講3	2・3・4後		2							兼1	
	社会学特講4	2・3・4前		2							兼1	
	交流分析概論	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため削除 (26)
	人格心理学特講1	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため削除 (26)
	人格心理学特講4	3・4後		2							兼1	記載誤りのため削除 (26)
	人格臨床心理学特講2	2・3・4後		2							兼1	記載誤りのため削除 (26)
	人格臨床心理学特講4	3・4後		2							兼1	記載誤りのため削除 (26)
	比較文化宗教学1	2・3・4後		2							兼1	廃止 (26)
	比較文化宗教学2	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	比較文化宗教学3	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)
	比較文化学特講	2・3・4通		4							兼1	廃止 (27)
	比較文化学特講1	2・3・4後		2							兼1	
	比較文化学特講2	2・3・4前		2							兼1	
	比較文化学特講3	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)
	比較文化学特講4	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)
	比較文化学特講5	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	比較文化学特講6	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	比較文化学特講7	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	比較文化学2	2・3・4 3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、および開講時期変更(26) 記載誤りによる配当年次修正および平成27年度未開講(27)
	社会調査の技法1	2・3・4前		2							兼1	
	社会調査の技法2	2・3・4前		2							兼1	
	社会統計学	2・3・4後		2							兼1	
	質的調査法1	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	質的調査法2	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
他学科開講科目 (国際交流)	フランス語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
	フランス語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
	フランス語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1	
	フランス語コミュニケーション II (2)	3後		2							兼1	
	ドイツ語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
	ドイツ語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
	ドイツ語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1	
	ドイツ語コミュニケーション II (2)	3後		2							兼1	
	スペイン語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
	スペイン語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
	スペイン語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	スペイン語コミュニケーションⅡ(2)	3後		2							兼1	
	中国語コミュニケーションⅠ(1)	2前		2							兼1	
	中国語コミュニケーションⅠ(2)	2後		2							兼1	
	中国語コミュニケーションⅡ(1)	3前		2							兼1	
	中国語コミュニケーションⅡ(2)	3後		2							兼1	
	コリア語コミュニケーションⅠ(1)	2前		2							兼1	
	コリア語コミュニケーションⅠ(2)	2後		2							兼1	
	コリア語コミュニケーションⅡ(1)	3前		2							兼1	
	コリア語コミュニケーションⅡ(2)	3後		2							兼1	
	法学[含国際法]	1・2・3・4通		4							兼1	
	民法概論	2・3・4通		4							兼1	記載誤りによる科目追加(27)
	現代家族法	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	国際法1	2・3・4前		2							兼1	
	国際法2	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	取引関係法	2・3・4通		4							兼1	
	政治学概論[含国際政治]1	2・3・4通		4							兼1	
	政治学概論[含国際政治]2	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	国際交流特殊講義	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	現代国際政治Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	現代国際政治Ⅴ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	現代国際政治Ⅵ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	行政学	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	国際連合論	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 平成27年度未開講(27)
	アメリカ外交論	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26) 平成27年度未開講(27)
	経済学概論[含国際経済]	2・3・4通		4							兼1	
	経済理論入門	2・3・4通		4							兼1	
	国際経済学1	2・3・4前		2							兼1	
	国際経済学2	2・3・4後		2							兼1	
	開発経済学	2・3・4通		4							兼1	
	情報処理入門	2・3・4通		4							兼1	
	プログラム入門	2・3・4通		4							兼1	
	コンピュータサイエンス	2・3・4通		4							兼1	
	応用情報処理	2・3・4通		4							兼1	
	国際コミュニケーション論	2・3・4通		4							兼1	
	異文化間コミュニケーション(1)	2・3・4前		2							兼1	
	異文化間コミュニケーション(2)	2・3・4後		2							兼1	
	国際交流実習1	1・2・3・4前後		2		±					兼8 6 1	教育効果を考慮し配当年次および教員変更(26) 教育効果を考慮し担当教員および開講時期変更(27)
	フランスの社会と文化(1)	2・3・4前		2							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	フランスの社会と文化(2)	2・3・4後		2							兼1	
	ドイツの社会と文化(1)	2・3・4前		2							兼1	
	ドイツの社会と文化(2)	2・3・4後		2							兼1	
	東アジアの社会と文化(1)	1・2・3・4 <del>前後</del>		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次および開講時期変更(27)
	東アジアの社会と文化(2)	1・2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	ドイツ事情(1)	2・3・4前		2							兼1	
	ドイツ事情(2)	2・3・4後		2							兼1	
	フランス事情(1)	2・3・4前		2							兼1	
	フランス事情(2)	2・3・4後		2							兼1	
	中国事情(1)	1・2・3・4 <del>後前</del>		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次および開講時期変更(27)
	中国事情(2)	1・2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	Contemporary American Culture(1)	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	Contemporary American Culture(2)	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	日欧思想交渉史入門(1)	2・3・4 <del>前後</del>		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	日欧思想交渉史入門(2)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	アジア文化論	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
他学科開講科目(心理学)	心理学史	2・3・4 <del>後前</del>		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	認知心理学特講1	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	認知心理学特講3	2・3・4 <del>後前</del>		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	認知心理学特講4	2・3・4前		2							兼1	
	認知心理学特講5	2・2・3・4 <del>前後</del>		2							兼1	教育効果を考慮し、配当年次変更(26) 教育効果を考慮し配当年次変更、授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	認知心理学特講6	3・4前		2							兼1	
	認知心理学特講7	3・4後		2							兼1	
	認知心理学特講8	2・3・4 <del>後前</del>		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	発達心理学特講1	2・3・4 <del>後前後</del>		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	発達心理学特講2	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	発達心理学特講3	2・3・4 <del>後前</del>		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	発達心理学特講4	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	発達心理学特講5	3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	発達心理学特講6	3・4 <del>前後</del>		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	発達心理学特講7	3・4前		2							兼1	
	発達心理学特講8	2・3・4 <del>前後</del>		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	臨床心理学特講1	2・3・4後		2							兼1	
	臨床心理学特講2	2・3・4後		2							兼1	
	臨床心理学特講3	2・3・4 <del>前後</del>		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 平成27年度未開講(27)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	臨床心理学特講4	2・3・4前		2							兼1	担当教員の身分昇格 (26) 平成27年度未開講 (27)
	臨床心理学特講5	2・3・4後		2							兼1	
	臨床心理学特講6	2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し、配当年次変更 (26)
	臨床心理学特講7	2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、 授業運営上の都合により開講時期 変更 (26)
	臨床心理学特講8	2・3・4後		2							兼1	
	発達心理学1	2・3・4前		2							兼1	
	発達心理学2	2・3・4前		2							兼1	
	基礎課程科目  基礎課程演習	1前		2		1 2 3	2 1	1			兼24 23 25	教育効果の充実を図るため教員変更 (26) 教育効果の充実を図るため教員変更 (27)
	アジア史入門	1前		2		1	1					廃止 世界史への招待 I・IIへ吸収 (26)
	人間関係入門	1前		2							兼7 6	担当教員が研修年のため教員数変更 (26)
	国際交流入門	1前		2							兼9 11	担当教員が退職のため教員変更 (27)
	心理学入門	1前		2							兼7 6	担当教員が研修年のため教員数変更 (27)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	英語の世界	1前		2							兼 10 6	平成26年度未開講 教育効果の充実を図るため教員数 変更(27)
総合 現代 教養 科目	3・4年英語	3・4通		2							兼1	廃止 Advanced English Studies (1)・(2)に吸収(27)
	運動学1	2・3・4前		1							兼1	平成27年度未開講 (27)
	運動学2	2・3・4後		1							兼1	平成27年度未開講 (27)
	運動学3	2・3・4後		1							兼1	
	憲法1	1・2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期 を変更 (27)
	憲法3	1・2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期 を変更 (26)
	女性とキャリア形成	2・3・4前		2							兼1	
	国際平和と開発援助	2・3・4前		2							兼1	
	地球化時代のNGO	1・2・3・4前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	人間の安全保障	1・2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期 を変更 (27)
	中国古典への招待	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講 (27)
	中国思想への招待	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講 (27)
	現代社会と環境	1・2・3・4前		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 環境と経済に吸収 (27)
	現代の脳科学	1・2・3・4後		2							兼1	
	科学史1	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 進化論の世界に吸収 (27)
	科学史2	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 進化論の世界に吸収 (27)
	社会福祉論	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期 を変更 (27)
	児童福祉論	1・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、 授業運営上の都合により開講時期 変更 (26) 平成27年度未開講 (27)
	ベートルズの詩と音楽	1・2・3・4前後		2							兼1	平成26年度未開講
	情報活用演習	1・2・3・4前後		2							兼6	
	情報ネットワーク演習	2・3・4前		2							兼1	
	日本の伝統文化	1・2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	アラビア語の世界	1・2・3・4通		4							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講 (27)
	金融のしくみ	1・2・3・4前		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 暮らしのファイナンスに吸 収 (27)
	聖心スピリットと共生	1・2・3・4後		2							兼1	
	健康な生活と健康科学	1・2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
情報産業論	1・2・3・4前		2							兼3	平成26年度未開講 廃止 ジャーナリズムの現在に吸 収 (27)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	ポップカルチャー	1・2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26) 平成27年度未開講 (27)
	キャリアデザイン入門	2・3前後		2							兼2	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)
	チェコ語の世界	1・2・3・4通		4							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講 (27)
	災害と人間	1・2・3・4前		2							兼9 8 6	授業内容充実のため担当教員変更 (26) 教育効果の充実を図るため教員変更 (27)
	現代を考える	1・2・3・4前		2							兼1	
	トルコ語の世界	1・2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	暮らしのファイナンス	1・2・3・4後前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	環境と経済	1・2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	進化論の世界	1・2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	ジャーナリズムの現在	1・2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	ロシア語入門	1・2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	ボランティア体験の振り返り	1・2・3・4後前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	Advanced English Studies (1)	3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced English Studies (2)	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced French Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced French Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced German Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced German Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Spanish Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Spanish Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Chinese Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Chinese Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Korean Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Korean Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	ジェンダー学1	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)
	ジェンダー学2-1	1・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次および開講時期変更 (27)
	ジェンダー学2-2	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	ジェンダー学3-1	2・3・4前		2							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
他学科開講科目 (日本語日本文学)	ジェンダー学5-1	1・2・3・4前		2							兼1	
	ジェンダー学5-2	2・3・4後		2							兼1	
	ジェンダー学6-1	1・2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	ジェンダー学6-2	2・3・4前		2							兼1	
	ジェンダー学6-3	2・3・4前		2							兼1	
	ボランティア研究概論1	2・3・4前		2							兼1	
	ボランティア研究概論2	2・3・4後		2							兼1	
	ボランティア研究演習1	3・4前		2							兼1	記載誤りにより削除 (27)
	ボランティア研究演習2	3・4後		2							兼1	記載誤りにより削除 (27)
	日本文学史 I	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)
	日本文学史 II	2・3・4後		2							兼1	
	日本文学史 III	2・3・4前		2							兼1	
	日本文学史 IV	2・3・4後		2							兼1	
	日本文学史 V	2・3・4前		2							兼1	
	日本文学史 VI	2・3・4後前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26) 授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	日本語学概論 I	2・3・4前		2							兼1	
	日本語学概論 II	2・3・4後		2							兼1	
	日本語史概説 I	2・3・4前		2							兼1	
	日本語史概説 II	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究 I	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究 II	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究 III	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究 IV	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究 V	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究 VI	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究 VII	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究 VIII	2・3・4後		2							兼1	
	近代文学研究 I	2・3・4後		2							兼1	
	近代文学研究 II	2・3・4後		2							兼1	
	近代文学研究 III	2・3・4前		2							兼1	
	近代文学研究 IV	2・3・4後		2							兼1	
	近代文学研究 V	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	近代文学研究 VI	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	日本語学研究 I	2・3・4後		2							兼1	
日本語学研究 II	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)	
日本語学研究 III	2・3・4前		2							兼1		
日本語学研究 IV	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)	
古典文学講読 I	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)	
言語学概論 I	2・3・4前		2							兼1		
言語学概論 II	2・3・4後		2							兼1		
対照言語学 I	3・4前		2							兼1		
対照言語学 II	3・4後		2							兼1		
文芸創作入門	2・3・4通		4							兼1		
書道 I	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため削除 (26)	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	書道Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	記載誤りのため削除 (26)
	中国文学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	中国文学概論Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学の世界	1前		2							兼1	記載誤りのため追加 (26)
	近代文学の世界	1前		2							兼1	記載誤りのため追加 (26)
	ことばの世界	1前		2							兼1	記載誤りのため追加 (26) 平成27年度未開講 (27)
	日本語の世界	1前		2							兼1	記載誤りのため科目を追加 (27)
他学科開講科目(哲学)	哲学演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	哲学演習Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	哲学演習Ⅲ	2・3・4通		4							兼1	
	哲学演習Ⅳ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	哲学演習Ⅴ-1	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	哲学演習Ⅵ-2	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	哲学演習Ⅶ-1	2・3・4前		2							兼1	
	哲学演習Ⅶ-2	2・3・4後		2							兼1	
	哲学史演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	哲学史演習Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	倫理学演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	倫理学演習Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	
	倫理学演習Ⅲ	2・3・4通		4							兼1	
	日本思想史演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	美学・芸術学演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)
	美学・芸術学演習Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	
	キリスト教学演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	キリスト教学演習Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	
	社会思想史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	社会思想史Ⅱ	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	哲学概論Ⅰ	1・2・3・4前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26) 平成27年度未開講 (27)
	哲学概論Ⅱ	1・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、授業運営上の都合により開講時期変更(26) 平成27年度未開講 (27)
	哲学概論Ⅲ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	哲学概論Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	倫理学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	倫理学概論Ⅱ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 平成27年度未開講 (27)
	倫理学概論Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	倫理学概論Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
哲学・倫理学特講Ⅰ	2・3・4前		2							兼1		
哲学・倫理学特講Ⅱ	2・3・4後		2							兼1		
哲学・倫理学特講Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	哲学・倫理学特講Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	
	哲学・倫理学特講Ⅴ	2・3・4前		2							兼1	
	哲学・倫理学特講Ⅵ	2・3・4後		2							兼1	
	哲学・倫理学特講Ⅶ	2・3・4前		2							兼1	
	哲学・倫理学特講Ⅷ	2・3・4後		2							兼1	
	哲学・倫理学特講Ⅸ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期 を変更 (26)
	哲学・倫理学特講Ⅹ	2・3・4後		2							兼1	
	哲学・倫理学特講ⅩⅠ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を 追加 (26)
	哲学・倫理学特講ⅩⅡ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を 追加 (26)
	西洋古代・中世哲学史Ⅰ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	西洋古代・中世哲学史Ⅱ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期 を変更 (27)
	西洋近代哲学史Ⅰ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を 追加 (27)
	西洋近代哲学史Ⅱ	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期 を変更 (27)
	日本倫理思想史Ⅰ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期 を変更 (26) 平成27年度未開講 (27)
	日本倫理思想史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	宗教思想史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	宗教思想史Ⅱ	2・3・4前後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期 を変更 (26) 授業運営上の都合により開講時期 を変更 (27)
	美学・芸術学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	美学・芸術学概論Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	美学・芸術学特講Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	美学・芸術学特講Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	美学・芸術学特講Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	美学・芸術学特講Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	
	美学・芸術学特講Ⅴ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を 追加 (26) 平成27年度未開講 (27)
	美学・芸術学特講Ⅵ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を 追加 (26) 平成27年度未開講 (27)
	日本美術史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を 追加 (26)
	日本美術史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を 追加 (26)
	東洋美術史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	東洋美術史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	西洋美術史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	西洋美術史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	キリスト教学概論Ⅰ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	キリスト教学概論Ⅱ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期 を変更 (27)
	新約聖書学	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	旧約聖書学Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	旧約聖書学Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	新約聖書学Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を 追加 (26)
	新約聖書学Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を 追加 (26)
	キリスト教倫理学Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を 追加 (26) 平成27年度未開講 (27)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
他 学 科 開 講 科 目 ( 教 育 学)	キリスト教音楽	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	キリスト教美術	2・3・4通		4							兼1,2	教育内容の充実を図るため担当教員を追加 (27)
	キリスト教文学	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	キリスト教思想史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	キリスト教思想史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	キリスト教学特講Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	キリスト教学特講Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	キリスト教学特講Ⅳ	2・3・4通		4							兼1	
	ギリシア語Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	ギリシア語Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	
	ラテン語Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	教育学概論	2通		4							兼1	記載誤りにより削除 (26)
	教育哲学2	2・3前		2							兼1	
	西洋教育史2	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (27)
	日本教育史1	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (27)
	日本教育史2	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (27)
	西洋教育運動史 西洋社会思想	2・3後		2							兼1	科目名称変更 (26) 教職課程認定における指導により科目削除 (27)
	教育原理	2・3前		2							兼1	
	教育行政学2	2・3後		2							兼1	
	教育社会学概論1 社会学概論1	2・3後		2							兼1	科目名称変更 (26) 教職課程認定における指導により科目削除 (27)
	教育社会学概論2 社会学概論2	2・3後		2							兼1	科目名称変更 (26) 教職課程認定における指導により科目削除 (27)
	比較教育学	3・4通		4							兼1	
	比較教育学特講	3・4後		2							兼1	
	生涯学習概論	3・4前		2							兼1	
	教育経営	2・3・4後		2							兼1	
	教育心理学—教育心理学Ⅱ	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目名称変更 (27)
	教育課程方法論	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (27)
	教育方法—教育方法Ⅱ	2・3後		2							兼1 2 1	授業運営上の都合により開講時期を変更、 教育課程の充実を図るため教員追加 (26) 教職課程認定における指導により科目名称変更、教育効果の充実を図るため教員変更 (27)
	教育課程論	2・3前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	発展途上国における教育問題1	3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	発展途上国における教育問題2	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	人間学習原論	3・4前		2							兼1	
	人間学習3	3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
人間学習4	3・4前		2							兼1		
人間学習5	3・4後		2							兼1		
人間学習6	3・4前		2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	人間学習7	3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	人間学習8	3・4前		2							兼1	
	人間学習10	3・4前		2							兼1	
	人間学習11	3・4前		2							兼1	
	教育メディア論	2・3前		2							兼1	
	教育情報学	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(27)
	教育工学	3・4前		2							兼1	
	メディア教材開発	2・3後		2							兼1	
	教育学特講2	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	教育学特講3	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	教育学特講5	2・3・4後		2							兼1	
	教育学特講7	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	教育学特講8	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	教育相談教育相談Ⅱ	2・3前後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目名称変更、授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	体育学特講	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	道徳教育の研究	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により削除(26)
	特別活動特別活動Ⅱ	2・3前後		2							兼1 2	教育課程の充実を図るため教員追加(26) 教職課程認定における指導により科目名称変更、教育効果の充実を図るため教員変更(27)
	生徒指導[含進路指導] 生徒指導[含進路指導]Ⅱ	2・3前後前		2							兼1 2	教育課程の充実を図るため教員追加(26) 教職課程認定における指導により科目名称変更、授業運営上の都合により開講時期を変更、教育効果の充実を図るため教員変更(27)
	教育学入門	1・2前		2							兼1 10 11 10	教育課程の充実を図るため教員追加(26) 担当教員が研修年のため教員数変更(27)
	障害者教育・福祉概論	1・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次および開講時期変更(27)
	幼児教育原論	2・3前		2							兼1	記載誤りにより削除(26)
	視聴覚教育1	1・2・3・4後		2							兼1	廃止(27)
	視聴覚教育2	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 廃止(27)
	健康社会学	2・3・4前		2							兼1	教職課程認定における指導により削除(26)
	教育調査	3・4前		2							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
他学科開講科目(英語英文学)	英文学史概説1	1・2前		2							兼1	
	英文学史概説2	1・2後		2							兼1	
	英作文1	3前		2							兼6	
	英作文2	3後		2							兼6	
	英語学概論	1・2通		4							兼1	
	英語学特講3-1	2・3・4前		2							兼1	
	英語学特講3-2	2・3・4後		2							兼1	
	メディア・コミュニケーション特講1	3・4後		2							兼1	
	メディア・コミュニケーション特講2	3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	メディア・コミュニケーション特講2-2	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	メディア・コミュニケーション特講8-2	3・4後		2							兼1	
	英語史	2・3・4通		4							兼1	
	米文学史概説1	2・3・4前		2							兼1	
	米文学史概説2	2・3・4後		2							兼1	
	メディア・コミュニケーション入門1	1・2前		2							兼1	
	英文法	2・3前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	英会話	3・4通		4							兼1	
	オラルコミュニケーション	2・3・4通		4							兼1	
	英語文化論[英語と聖書]1	2・3・4前		2							兼1	
	英語文化論[英語と聖書]2	2・3・4後		2							兼1	
	英語文化論[翻訳実践]1	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	英語文化論[翻訳実践]2	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	英語文化論[児童文学]1	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	英語文化論[児童文学]2	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	英語文化論[文学と電子メディア]1	2前		2							兼1	
	英語文化論[文学と電子メディア]2	2後		2							兼1	
	異文化理解	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
英文学入門	1通		4							兼1	記載誤りのため追加 (26)	
Leadership for Sustainable Development 1	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)	
Leadership for Sustainable Development 2	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)	
2年英文演習2-1	1前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)	
2年英文演習2-2	1後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
全学必修分野	2年英文講義1-1	1前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)	
	2年英文講義1-2	1後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)	
	2年英文講義3-1	1前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)	
	2年英文講義3-2	1後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)	
	博物館関連科目	博物館概論	2・3・4前		2							兼1	
		博物館学各論1	2・3・4通		4							兼1	
		博物館学各論2	2・3・4通		4							兼1	
		博物館情報・メディア論	2・3・4前		2							兼1	
		博物館教育論	2・3・4前		2							兼1	
	日本語関連科目	2年日本語2	2・3・4後		2							兼2	
		上級日本語1-1	1・2・3・4前		1							兼1	
		上級日本語1-2	1・2・3・4後		1							兼1	
		日本事情1	1・2・3・4前		2							兼1	
		日本事情2	1・2・3・4後		2							兼1	
	教職関連科目	人文地理学1<1>	2・3・4前		2							兼1	教職課程認定により科目追加 (26)
		人文地理学2<1>	2・3・4後		2							兼1	教職課程認定により科目追加 (26)
		地誌学1<1>	2・3・4後		2							兼1	教職課程認定により科目追加 (26)
		地誌学2<1>	2・3・4後		2							兼1	教職課程認定により科目追加 (26)
		自然地理学1<1>	2・3・4前		2							兼1	教職課程認定により科目追加 (26)
		自然地理学2<1>	2・3・4通		4							兼1	教職課程認定により科目追加 (26)
	キリスト教学 I	キリスト教学 I-1	1・2通		4							兼1	
		キリスト教学 I-2	1・2通		4							兼1	
		キリスト教学 I-3	1・2通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
		キリスト教学 I-4	1・2通		4							兼1	
		キリスト教学 I-5	1・2通		4							兼1	
		キリスト教学 I-6	1・2通		4							兼1	平成26年度未開講
キリスト教学 I-7		1・2通		4							兼1		
キリスト教学 I-8		1・2通		4							兼1		
キリスト教学 I-9		1・2通		4							兼1		
キリスト教学 I-10		1・2通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)	
キリスト教学 II	キリスト教学 II-1	3・4通		4							兼1		
	キリスト教学 II-2	3・4通		4							兼1		
	キリスト教学 II-3	3・4通		4							兼1		
	キリスト教学 II-4	3・4通		4							兼1		
	キリスト教学 II-5	3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)	
	キリスト教学 II-6	3・4通		4							兼1		
	キリスト教学 II-7	3・4通		4							兼2	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)	
	キリスト教学 II-8	3・4通		4							兼1		
	キリスト教学 II-9	3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため担当教員を追加 (27)	
	キリスト教学 II-10	3・4通		4							兼1		
	キリスト教学 II-11	3・4通		4							兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
第一 外国語	キリスト教学Ⅱ-13	3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	キリスト教学Ⅱ-14	3・4通		4							兼1	
	キリスト教学Ⅱ-16	3・4通		4							兼1	
	1年英語	1通	4								兼20 21	教育効果の充実を図るため教員変更 (27)
	2年英語2(リーディング)	2通	2								兼12 14	教育効果を考慮し担当教員追加 (26) 教育効果の充実を図るため教員変更 (27)
	2年英語2(オラル)	2通	2								兼17 18	教育効果を考慮し担当教員追加 (26) 教育効果の充実を図るため教員変更 (27)
第二 外国語	1年フランス語(文法)	1通		4							兼4 5	教育効果を考慮し担当教員追加 (26)
	1年フランス語(オラル)	1通		2							兼2	
	2年フランス語(講読)	2通		2							兼3 4	教育課程の充実を図るため担当教員を追加 (27)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	2年フランス語(会話)	2通		2							兼1 3	教育課程の充実を図るため担当教員を追加 (27)
	1年ドイツ語(文法)	1通		4							兼3	
	1年ドイツ語(オラル)	1通		2							兼2	
	2年ドイツ語(講読)	2通		2							兼2	
	2年ドイツ語(会話)	2通		2							兼1	
	1年スペイン語(文法)	1通		4							兼3 4 3	教育効果を考慮し担当教員追加 (26) 教育効果の充実を図るため教員変更 (27)
	1年スペイン語(オラル)	1通		2							兼1 2	教育効果を考慮し担当教員追加 (26)
	2年スペイン語	2通		2							兼2 4	教育効果を考慮し担当教員追加 (26)
	1年中国語(文法)	1通		4							兼6 7 6	教育効果を考慮し担当教員追加 (26) 教育効果の充実を図るため教員変更 (27)
	1年中国語(オラル)	1通		2							兼5	
	2年中国語(講読)	2通		2							兼3 2 1	教育内容充実のため担当教員変更 (26) 教育効果の充実を図るため教員変更 (27)
	2年中国語(会話)	2通		2							兼3 4	教育効果を考慮し担当教員追加 (26)
	1年韓国語(文法)	1通		4							兼4	
	1年韓国語(オラル)	1通		2							兼3 2	教育内容充実のため担当教員変更 (26)
	2年韓国語	2通		2							兼4 3	教育内容充実のため担当教員変更 (26)
	1年日本語1	1前		3							兼4	
	1年日本語2	1後		3							兼4	
	2年日本語1	2前		2							兼2	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
体育運動学	体育運動学	1通	2									兼11 10 教育効果の充実に図るため教員変更(27)
資格関係分野	教職専門科目	教職入門教職入門II	2・3前		2							兼1 2 1 教育効果を考慮し担当教員追加および開講時期変更(26) 教職課程認定における指導により科目名称変更、教育効果の充実に図るため教員変更(27)
		社会科教育法1	2・3後		2							兼1 教職課程認定における指導により科目削除(26)
		社会・地理歴史科教育法1	3前		2							兼1
		社会・地理歴史科教育法2	3後		2							兼1
		社会・公民科教育法1	3前		2							兼1 教職課程認定における指導により科目削除(26)
		社会・公民科教育法2	3後		2							兼1 教職課程認定における指導により科目削除(26)
		教育実習指導1(中学・高校)	3後		1							兼1
		教育実習指導4(中学・高校)	4後		1							兼1
		教育実習1	4通		2							兼1
		教育実習2	4通		2							兼1 教職課程認定における指導により科目削除(26)
		教職実践演習(中学・高校)	4後		2							兼1
博物館実習	博物館実習	4前後			3							兼2

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

<文学部 史学科>

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
5科目	489科目	12科目	506科目	5科目	543科目	8科目	561科目	
				[ 0 ]	[ 54]	[ Δ4 ]	[ 55]	

別課程としている授業科目については算入する必要はありません。) とともに, [ ] 内に, 届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例: 1科目減の場合: Δ1)

<文学部 史学科>

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	国際関係史Ⅱ	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
2	世界音楽地誌	4	1・2・3・4通	一般	選択	隔年開講
3	日本近現代史Ⅱ-1	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
4	日本近現代史Ⅱ-2	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
5	中国古代文化史	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
6	朝鮮現代史	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
7	南アジア現代史	4	1・2・3・4通	一般	選択	隔年開講
8	西アジア文化史	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
9	東洋陶磁史	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講
10	ヨーロッパ中世史Ⅱ	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
11	ヨーロッパ近代史Ⅱ	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
12	社会心理学特講6	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
13	社会心理学特講9	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
14	社会心理学特講15	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
15	文化人類学特講2	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
16	文化人類学特講4	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
17	文化人類学特講10	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
18	家族社会学2	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
19	社会学特講1	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
20	比較文化宗教学3	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
21	比較文化学2	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
22	質的調査法2	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員が研修年のため
23	現代家族法	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
24	国際法2	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
25	政治学概論[含国際政治]2	4	2・3・4通	一般	選択	担当教員の退職による
26	現代国際政治Ⅴ	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
27	現代国際政治Ⅵ	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
28	行政学	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
29	国際連合論	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
30	アメリカ外交論	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当教員の退職による
31	東アジアの社会と文化(2)	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講
32	中国事情(2)	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講
33	Contemporary American Culture(1)	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職による
34	Contemporary American Culture(2)	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職による
35	アジア文化論	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
36	認知心理学特講3	2	2・3・4前	一般	選択	授業計画作成上の理由による
37	臨床心理学特講3	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
38	臨床心理学特講4	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員が研修年のため
39	運動学1	1	2・3・4前	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
40	運動学2	1	2・3・4後	一般	選択	担当教員が研修年のため

41	中国古典への招待	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
42	中国思想への招待	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
43	児童福祉論	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
44	アラビア語の世界	4	1・2・3・4通	一般	選択	「トルコ語の世界」に変更
45	健康な生活と健康科学	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員が研修年のため
46	ポップカルチャー	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
47	チェコ語の世界	4	1・2・3・4通	一般	選択	「ロシア語入門」に変更
48	ジェンダー学6-1	2	1・2・3・4後	一般	選択	「ジェンダー学2-2」に吸収
49	ことばの世界	2	1前	一般	選択	「日本語の世界」と交互開講のため
50	哲学演習 I	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
51	哲学演習IV	4	2・3・4通	一般	選択	授業計画作成上の理由による
52	哲学史演習 I	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
53	倫理学演習 I	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
54	美学・芸術学演習 I	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
55	キリスト教学演習 I	4	2・3・4通	一般	選択	担当教員の退職による
56	社会思想史 I	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
57	哲学概論 I	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講
58	哲学概論 II	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講
59	哲学概論IV	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
60	倫理学概論 I	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
61	倫理学概論 II	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
62	倫理学概論IV	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
63	哲学・倫理学特講 III	2	2・3・4前	一般	選択	授業計画作成上の理由による
64	西洋古代・中世哲学史 I	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
65	日本倫理思想史 I	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
66	宗教思想史 I	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
67	美学・芸術学特講 V	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員の研修年による
68	美学・芸術学特講 VI	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員の研修年による
69	西洋美術史 I	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
70	西洋美術史 II	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
71	キリスト教学概論 I	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
72	新約聖書学	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
73	旧約聖書学 I	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職による
74	旧約聖書学 II	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職による
75	キリスト教倫理学 I	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
76	キリスト教音楽	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
77	キリスト教思想史 II	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
78	キリスト教学特講 II	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
79	教育学特講2	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
80	教育学特講7	2	2・3・4後	一般	選択	授業計画作成上の理由による
81	教育学特講8	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
82	英語文化論[翻訳実践]1	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
83	英語文化論[翻訳実践]2	2	2・3・4後	一般	選択	授業計画作成上の理由による
84	英語文化論[児童文学]2	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講

85	Leadership for Sustainable Development 1	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員が研修年のため
86	Leadership for Sustainable Development 2	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員が研修年のため
87	2年英文演習2-1	2	1前	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
88	2年英文演習2-2	2	1後	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
89	キリスト教学 I -3	4	1・2通	一般	選択	担当教員の退職による

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

<文学部 史学科>

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由, 代替措置の有無
1	ボランティア研究演習1	2	3・4前	一般	選択	記載誤りにより削除
2	ボランティア研究演習2	2	3・4後	一般	選択	記載誤りにより削除
3	西洋教育史2	2	2・3前	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
4	日本教育史1	2	2・3前	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
5	日本教育史2	2	2・3後	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
6	西洋社会思想	2	2・3後	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
7	社会学概論1	2	2・3後	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
8	社会学概論2	2	2・3後	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
9	教育課程方法論	2	2・3後	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
10	教育情報学	2	2・3前	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
11	比較文化学特講	4	2・3・4通	一般	選択	「比較文化学特講6・7」に吸収
12	3・4年英語	2	3・4通	一般	選択	「Advanced English Studies (1)・(2)」に吸収
13	現代社会と環境	2	1・2・3・4前	一般	選択	「環境と経済」に吸収
14	科学史1	2	1・2・3・4後	一般	選択	「進化論の世界」に吸収
15	科学史2	2	1・2・3・4後	一般	選択	「進化論の世界」に吸収
16	金融のしくみ	2	1・2・3・4前	一般	選択	「暮らしのファイナンス」に吸収
17	情報産業論	2	1・2・3・4前	一般	選択	「ジャーナリズムの現在」に吸収
18	視聴覚教育1	2	1・2・3・4後	一般	選択	「教育メディア論」に吸収
19	視聴覚教育2	2	1・2・3・4後	一般	選択	「教育メディア論」に吸収

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

<文学部 史学科>

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

史学科が開講主体となる未開講科目(1~11)は、すべて隔年開講を予定しており、かつ配当年次が1~4年次または2~4年次であるので、史学科に所属する学生には受講の機会が保証されている。史学科以外の未開講科目(12以下)も、ほとんどが隔年開講を予定しており、かつ配当年次も複数学年に及ぶので、受講の機会が保証されている。また廃止科目の開講主体は、すべて史学科以外であり、史学科としての学位プログラム自体には、ほとんど影響しない。今年度未開講科目が隔年開講であること等については、年度始めの履修ガイダンスにおいて説明した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<文学部 史学科>

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{108}{506} = 0.21$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積：4,201㎡ 借用期間：期間なし		
	校舎敷地	44,753㎡	— ㎡	— ㎡	44,753㎡			
	運動場用地	4,424㎡	— ㎡	— ㎡	4,424㎡			
	小 計	49,177㎡	— ㎡	— ㎡	49,177㎡			
	そ の 他	34,640㎡	— ㎡	— ㎡	34,640㎡			
	合 計	83,817㎡	— ㎡	— ㎡	83,817㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		25,446㎡ ( 25,446 ㎡)	— ㎡ ( — ㎡)	— ㎡ ( — ㎡)	25,446㎡ ( 25,446 ㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
		37室	20室	21室	11室 (補助職員 9 人)	1室 (補助職員 1 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		文学部 史学科			19 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分 図 書 248,443 [87,884] (233,664 [85,392]) 学術雑誌 ※バックナンバーによる種類数増 加のため(26) 1,701 [750] <del>1,701 [743]</del> (1,680 [745]) 電子ジャーナル ※オンラインデータ ベース収録雑誌種類数 が予想以上に増えたた め(26) 20,500 [20,500] <del>15,300 [15,300]</del> (19,970 [19,970])
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	90,140 [17,030]  (85,434 [16,794]) ( <del>85,354</del> [16,794])	600 [135] <del>569 [127]</del>  (583 [126])	1,800 [1,800] <del>1,100 [1,100]</del>  (1,535 [1,535])	3,770 <del>3,292</del>  3,678 <del>(3,668)</del>	0  ( 0 )	0  ( 0 )		
計	90,140 [17,030]  (85,434 [16,794]) ( <del>85,354</del> [16,794])	600 [135] <del>569 [127]</del>  (583 [126])	1,800 [1,800] <del>1,100 [1,100]</del>  (1,535 [1,535])	3,770 <del>3,292</del>  3,678 <del>(3,668)</del>	0  ( 0 )	0  ( 0 )	視聴覚資料 ※積極的に収集したた め増加(26) 共用分は不要資料除籍 による点数減少 5,800(5,384) <del>6,265 (6,261)</del> 機械・器具 <del>50(42)</del> 50(41)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	3,963㎡		347		517,389			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	1,442㎡		テ ニ ス コ ー ト 5 面					

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費、図書購入費、設備購入費は大学全体（文学部）の経費。なお、図書購入費には電子ジャーナルデータベース費（運用コスト含む）を含む。開設前年度の設備購入費はPC入替え、寮エアコンの更新等前倒しでの対応により予定より増加した。(26) 開設年度の数値の変更は実績によるもの。(27)
		教員1人当り研究費等	405千円 440千円	千円	図書購入費	60,000千円	60,000千円	千円	
		共同研究費等	5,500千円 6,300千円	千円	設備購入費	113,000千円 17,000千円	12,000千円 17,000千円	千円	
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	1,386千円	970千円	970千円	990千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。



#### 4 既設大学等の状況

大学の名称		聖心女子大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
文学部	年	人		人					入学時は文学部としての一括募集。 2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に収容する。  平成25年度より学生募集停止
英語英文学科	4	90	2年次6人	378	学士(英語英文学)	1.15	平成19年度	東京都渋谷区広尾4丁目3番1号	
日本語日本文学科	4	45	2年次6人	198	学士(日本語日本文学)	1.15	平成3年度	同上	
歴史社会学科	4	—	2年次6人	—	学士(史学)	—	昭和23年度	同上	
					学士(人間関係)				
					学士(国際交流)				
史学科	4	55	2年次2人	226	学士(史学)	1.15	平成26年度	同上	
人間関係学科	4	55	2年次2人	226	学士(人間関係)	1.15	平成26年度	同上	
国際交流学科	4	60	2年次2人	246	学士(国際交流)	1.15	平成26年度	同上	
哲学科	4	40	2年次4人	172	学士(哲学)	1.14	昭和23年度	同上	
心理学科	4	55	2年次4人	232	学士(心理学)	1.15	平成26年度	同上	
教育学科 教育学専攻	4	25	2年次4人	364	学士(教育学)	1.15	昭和32年度	同上	
教育学科 初等教育学専攻	4	40	—	80	学士(初等教育学)	1.14	昭和32年度	同上	

大学の名称	聖心女子大学大学院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地
大学院文学研究科 (修士課程)	年	人	年次人	人		倍		
英語英文学専攻	2	10	—	20	修士(英語英文学)	0.35	平成16年度	東京都渋谷区広尾4丁目3番1号
日本語日本文学専攻	2	5	—	10	修士(日本語日本文学)	0.00	平成16年度	同上
史学専攻	2	5	—	10	修士(史学)	0.20	昭和27年度	同上
哲学専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士(哲学)	0.42	平成11年度	同上
社会文化学専攻	2	6	—	12	修士(社会文化学)	0.25	平成16年度	同上
人間科学専攻 (博士後期課程)	2	12	—	24	修士(人間科学)	0.50	平成7年度	同上
社会文化学専攻	3	2	—	6	博士(社会文化学)	0.17	平成18年度	同上
人文学専攻	3	4	—	12	博士(文学)	0.25	平成13年度	同上
人間科学専攻	3	2	—	6	博士(人間科学) 博士(心理学)	0.50	平成9年度	同上

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず、履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成26年4月)	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年4月)	該当なし		該当なし	該当なし

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

<文学部 史学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変 更 内 容 ・ 状 況 ， 今 後 の 見 通 し な ど
<p>① オ（４）副専攻とリベラルアーツ総合プログラム            本学では、基礎課程と専攻課程(各学科)の2部構成の教育課程を持っているが、総合的教養教育の充実をはかるための副次的教育課程として、副専攻とリベラルアーツ総合プログラム(仮称)を持つ。</p> <p>②ケ 入学者選抜の概要            (1) アドミッションポリシー            本学の公式ホームページ、ガイドブック等で公開しているアドミッションポリシーは、以下の通りである。            「幅広い教養と高度な専門性を身につけた自立的・実践的な女性をめざし、自ら学ぶ意欲をもった皆さんを受け入れるために、私たちは、3教科方式の入試のほか、総合小論文方式、アドミッションズ・オフィス入試、推薦入試、帰国子女入試、外国人留学生入試、編入学試験など、面接を含むさまざまな選抜方法を用意して、一人一人の受験生に丁寧に向き合おうとしています。3教科方式の入試で記述式の問題の多いことにもそれは表れています。            また、私たちは、無限の可能性を持つ受験生の皆さんに、入学前に急いで進路・専攻を決めることを求めません。受験の際には学科専攻を決めず、入学後の日々の勉学を通して、2年次からどの学科専攻で学ぶかを考える方式を採っています。」</p>	<p>①オ(4)副専攻とリベラルアーツ総合プログラム平成26年10月7日の教授会において、平成27年度から開始する「総合リベラル・アーツ副専攻」について、より詳しく具体的な内容と運営方法について定めた(別紙教授会資料参照)。これにもとづき、同年11月25日のジェネラルレクチャーで、1年次生を対象として副専攻の概要についての説明を行い、平成27年4月3日には、より詳しく副専攻のガイダンスを行った。なお、別紙資料にもあるように、新2年次生の「総合リベラル・アーツ副専攻」は後期開始時としたので、登録者数については未定である。</p> <p>②ケ(1)アドミッションポリシー            「平成27年度大学入学選抜実施要領」(平成26年5月28日付)に「入学受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)」については、求める学生像だけでなく、高等学校で履修すべき科目や取得しておくことが望ましい資格等を列挙するなど「何をどの程度学んできて欲しいか」をできる限り具体的に明示する。なお、明示する科目・資格等は、高等学校教育の内容・水準に十分配慮したものとす。」とあるのに基づき、入試委員会・教授会でアドミッション・ポリシーの見直しを行い、以下のように改訂した。            〈アドミッション・ポリシー〉—このような人に入学してほしいと願っています—            聖心女子大学では、大学の理念に共感し、国際化した社会のなかで自立した女性として実践的に活動することをめざし、そのための幅広い教養と高い専門性、柔軟な思考力と的確な判断力を身につけようと希望する皆さんに入学していただきたいと願っています。            そのため、高等学校では国語、外国語、地理歴史、公民はもとより、数学、理科など、あらゆる授業科目の履修を通じて、また授業以外でも課外活動、読書などを通じて、積極的に興味・関心の幅を広げてください。そうした主体的な学習姿勢こそが、本学入学後の学修に大いに役立ちます。</p> <p>さらに、聖心女子大学では、自らの興味・関心に基づいて調べたことや、それらについての意見を正確に発信し、議論する力も重要だと考えています。そのため高校時代には、興味・関心のある事柄について自ら調べ、体験し、また論理的に考え、書き、話す力、すなわち論理的思考力とコミュニケーション能力を養っておくことが望まれます。            このような学習姿勢や能力を身につけたみなさんに入学していただくため、聖心女子大学では、次の3つの方針を掲げています。            1 皆さんに聖心女子大学をより良く知っていただく機会を広く設けます。そのためにオープンキャンパスや大学ウェブサイトなどによって、在学生や教員のような方をさまざまな形でご紹介していきます。            2 一人ひとりの受験生に丁寧に向き合います。そのために3教科入試をはじめ、さまざまな入試方法を用意し、どの入試でも文章を書いてもらい、またA0入試などではじっくりと面接を行うことなどによって、皆さんの「発信力」に耳を傾けます。            3 聖心で学びたい、という気持ちを大切にします。そのために学科・専攻を入学時に決めるのではなく、入学後の日々の勉学を通して、自分にふさわしい方向性を見出し、2年次に学科・専攻を決める、そのような制度を採用しています。</p>

### ③テ 管理運営

本学の教学面での管理運営は、「聖心女子大学教授会規程」および「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」等により定められている。

#### (1) 教授会

教授会は学長が招集し、その議長となる。構成は、副学長、専任の教授、准教授及び講師をもって組織する。定例教授会は月1回開催し、学長が必要と認めるとき、教授会構成員の3分の1以上から要求のある時には臨時教授会を開催することができる。審議事項は以下の通りである。

「教育、研究及び授業に関する事項」「教育課程に関する事項」「学生の入学、編入学、転入学、再入学、学士入学、休学、復学、留学、転学、及び退学に関する事項」「科目等履修生、研究生及び外国人留学生に関する事項」「学生の単位認定及び卒業に関する事項」「学生の賞罰に関する事項」「学生の厚生補導に関する事項」「教員の人事に関する事項」「学則その他諸規則に関する事項」「学長の諮問する事項」「その他教授会の必要と認める事項」

#### (2) 「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」に基づく委員会

以下の委員会は、教授会に提出する議題の素案を審議するとともに、大学の運営に関する事項のうち、教授会から委託された事項について審議する。

##### 〈教務委員会〉

教務委員会は、学務担当副学長、本学専任教員のうち各学科の推薦に基づき学長が指名する委員8名をもって構成する。審議事項は以下の通りである。

「教育課程（カリキュラム）の編成及び履修に関する事項」「教育内容及び教育方法の改善（ファカルティ・ディベロップメントを含む）に関する事項」「教育課程実施の年間計画に関する事項」「授業、定期試験及び授業時間割の編成に関する事項」「学生の学科・専攻の所属に関する事項」「学生の転科に関する事項」「学生の成績評価及び単位認定に関する事項」「学生の卒業認定に関する事項」「科目等履修生及び研究生に関する事項」「他大学との単位互換及び高等学校への授業提供に関する事項」「教員の配置に関する事項」「非常勤講師枠の配当に関する事項」「その他委員会が必要と認める事項」

##### 〈学生委員会〉

学生委員会は、学生担当副学長、本学専任教員のうち各学科の推薦に基づき学長が指名する委員8名をもって構成する。審議事項は以下の通りである。

「学生の学籍に関する事項」「学生行事、課外活動に関する事項」「学生の生活指導及び新入生オリエンテーションに関する事項」「学生の保健、奨学生選考、アルバイト等福利厚生に関する事項及び奨学生関係諸規定に関する事項」「その他委員会が必要と認める事項」

### ① オ（4）副専攻とリベラルアーツ総合プログラム

本学では、基礎課程と専攻課程（各学科）の2部構成の教育課程を持っているが、総合的教養教育の充実をはかるための副次的教育課程として、副専攻とリベラルアーツ総合プログラム（仮称）を持つ。

### ③テ管理運営

平成27年4月1日施行の新学校教育法にしたがって、平成26年度後半に、学長の決定権の担保、学長と教授会との関係の明確化、懲戒手続の明確化などに係る「聖心女子大学学則」の関係部分を改訂し、これと連動して、「聖心女子大学教授会規程」以下の各種規程を改定、整備した。

また、教育課程の編成やFD活動等に職員が積極的に関わるという趣旨から、「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」を改訂し、教務委員会・学生委員会の構成員に事務局長を加え、「聖心女子大学FD協議会内規」を制定、施行した。

### ①オ（4）副専攻とリベラルアーツ総合プログラム

平成26年10月7日の教授会において、平成27年度から開始する「総合リベラル・アーツ副専攻」について、より詳しく具体的な内容と運営方法について定めた（別紙教授会資料参照）。これにもとづき、同年11月25日のジェネラルレクチャーで、1年次生を対象として副専攻の概要についての説明を行い、平成27年4月3日には、より詳しく副専攻のガイダンスを行った。なお、別紙資料にもあるように、新2年次生の「総合リベラル・アーツ副専攻」は後期開始時としたので、登録者数については未定である。

## ②ケ 入学者選抜の概要

### (1) アドミッションポリシー

本学の公式ホームページ、ガイドブック等で公開しているアドミッションポリシーは、以下の通りである。

「幅広い教養と高度な専門性を身につけた自立的・実践的な女性をめざし、自ら学ぶ意欲をもった皆さんを受け入れるために、私たちは、3教科方式の入試のほか、総合小論文方式、アドミッションズ・オフィス入試、推薦入試、帰国子女入試、外国人留学生入試、編入学試験など、面接を含むさまざまな選抜方法を用意して、一人一人の受験生に丁寧に向き合おうとしています。3教科方式の入試で記述式の問題の多いことにもそれは表れています。

また、私たちは、無限の可能性を持つ受験生の皆さんに、入学前に急いで進路・専攻を決めることを求めません。受験の際には学科専攻を決めず、入学後の日々の勉学を通して、2年次からどの学科専攻で学ぶかを考える方式採っています。」

### ②ケ(1)アドミッションポリシー

「平成27年度大学入学者選抜実施要領」(平成26年5月28日付)に「入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)については、求める学生像だけでなく、高等学校で履修すべき科目や取得しておくことが望ましい資格等を列挙するなど「何をどの程度学んできて欲しいか」をできる限り具体的に明示する。なお、明示する科目・資格等は、高等学校教育の内容・水準に十分配慮したものとす。」とあるのに基づき、入試委員会・教授会でアドミッション・ポリシーの見直しを行い、以下のように改訂した。

〈アドミッション・ポリシー〉—このような人に入学者としてほしいと願っています—

聖心女子大学では、大学の理念に共感し、国際化した社会のなかで自立した女性として実践的に活動することをめざし、そのための幅広い教養と高い専門性、柔軟な思考力と的確な判断力を身につけようとして希望する皆さんに入学していただきたいと願っています。

そのため、高等学校では国語、外国語、地理歴史、公民はもとより、数学、理科など、あらゆる授業科目の履修を通じて、また授業以外でも課外活動、読書などを通じて、積極的に興味・関心の幅を広げてください。そうした主体的な学習姿勢こそが、本学入学後の学修に大いに役立ちます。

さらに、聖心女子大学では、自らの興味・関心に基づいて調べたことや、それらについての意見を正確に発信し、議論する力も重要だと考えています。そのため高校時代には、興味・関心のある事柄について自ら調べたことを体験し、また論理的に考え、書き、話す力、すなわち論理的思考力とコミュニケーション能力を養っておくことが望まれます。

このような学習姿勢や能力を身につけたみなさんに入学していただくため、聖心女子大学では、次の3つの方針を掲げています。

1 皆さんに聖心女子大学をより良く知っていただく機会を広く設けます。そのためにオープンキャンパスや大学ウェブサイトなどによって、在学生や教員のようなさまざまな形でご紹介していきます。

2 一人ひとりの受験生に丁寧に向き合います。そのため3教科入試をはじめ、さまざまな入試方法を用意し、どの入試でも文章を書いてもらい、またAO入試などではじっくりと面接を行うことなどによって、皆さんの「発信力」に耳を傾けます。

3 聖心で学びたい、という気持ちを大切にします。そのために学科・専攻を入学時に決めるのではなく、入学後の日々の勉学を通して、自分にふさわしい方向性を見出し、2年次に学科・専攻を決める、そのような制度を採用しています。

### ③テ 管理運営

本学の教学面での管理運営は、「聖心女子大学教授会規程」および「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」等により定められている。

#### (1) 教授会

教授会は学長が招集し、その議長となる。構成は、副学長、専任の教授、准教授及び講師をもって組織する。定例教授会は月1回開催し、学長が必要と認めるとき、教授会構成員の3分の1以上から要求のある時には臨時教授会を開催することができる。審議事項は以下の通りである。

「教育、研究及び授業に関する事項」「教育課程に関する事項」「学生の入学、編入学、転入学、再入学、学士入学、休学、復学、留学、転学、及び退学に関する事項」「科目等履修生、研究生及び外国人留学生に関する事項」「学生の単位認定及び卒業に関する事項」「学生の賞罰に関する事項」「学生の厚生補導に関する事項」「教員の人事に関する事項」「学則その他諸規則に関する事項」「学長の諮問する事項」「その他教授会の必要と認める事項」

#### (2) 「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」に基づく委員会

以下の委員会は、教授会に提出する議題の素案を審議するとともに、大学の運営に関する事項のうち、教授会から委託された事項について審議する。

##### 〈教務委員会〉

教務委員会は、学務担当副学長、本学専任教員のうち各学科の推薦に基づき学長が指名する委員8名をもって構成する。審議事項は以下の通りである。

「教育課程（カリキュラム）の編成及び履修に関する事項」「教育内容及び教育方法の改善（ファカルティ・ディベロップメントを含む）に関する事項」「教育課程実施の年間計画に関する事項」「授業、定期試験及び授業時間割の編成に関する事項」「学生の学科・専攻の所属に関する事項」「学生の転科に関する事項」「学生の成績評価及び単位認定に関する事項」「学生の卒業認定に関する事項」「科目等履修生及び研究生に関する事項」「他大学との単位互換及び高等学校への授業提供に関する事項」「教員の配置に関する事項」「非常勤講師枠の配当に関する事項」「その他委員会が必要と認める事項」

##### 〈学生委員会〉

学生委員会は、学生担当副学長、本学専任教員のうち各学科の推薦に基づき学長が指名する委員8名をもって構成する。審議事項は以下の通りである。

「学生の学籍に関する事項」「学生行事、課外活動に関する事項」「学生の生活指導及び新入生オリエンテーションに関する事項」「学生の保健、奨学生選考、アルバイト等福利厚生に関する事項及び奨学生関係諸規定に関する事項」「その他委員会が必要と認める事項」

### ③テ管理運営

平成27年4月1日施行の新学校教育法にしたがって、平成26年度後半に、学長の決定権の担保、学長と教授会との関係の明確化、懲戒手続の明確化などに係る「聖心女子大学学則」の関係部分を改訂し、これと連動して、「聖心女子大学教授会規程」以下の各種規程を改定、整備した。

また、教育課程の編成やFD活動等に職員が積極的に関わるという趣旨から、「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」を改訂し、教務委員会・学生委員会の構成員に事務局長を加え、「聖心女子大学FD協議会内規」を制定、施行した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）

及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### 7 その他全般的事項

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

本学は、従来から学部単位で教員の資質の維持向上の方策に取り組んでおり、平成26年4月より文学部内に新設された史学科、人間関係学科、国際交流学科、心理学科についても、文学部の既存学科と併せて実施することとしている。

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

教務委員会のもとに、FD協議会が置かれている。教務委員会の構成員については、平成26年8月1日改正施行の「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」において、学務担当副学長、各学科の委員8名に加え、事務局長を委員とした。FD協議会は、同上規程第2条に定められた教務委員会の審議事項のうち、「教育内容及び教育方法の改善(ファカルティ・ディベロップメントを含む)に関する事項」を扱う組織として位置づけられている。平成26年8月1日には「聖心女子大学FD協議会内規」を新たに制定・施行し、その協議事項を定めるとともに、構成員については、上記教務委員会の委員と学務事務部教務課長とした。

###### b 委員会の開催状況

原則として月1回開催(平成26年度は9回開催)。

###### c 委員会の審議事項等

「聖心女子大学FD協議会内規」第2条に、

- (1) 教育内容及び教育方法の改善に関する事項
- (2) 学生による授業評価等を通じた学習時間、学習成果等についての情報の収集及び文書に関する事項
- (3) 教員を対象とする研修(教育内容・方法の改善、教育研究、社会貢献、管理業務等)に関する事項
- (4) その他協議会が必要と認める事項

と定められている。

具体的には、学生による授業評価の方法、授業評価をもとにした各教員・各学科・全学各レベルでの授業報告書のとりまとめと内容の検討、研修会の立案、研修会参加者に対するアンケート調査の実施と結果の分析等を扱う。

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

- i 学生による授業評価に基づく授業報告書の作成、検討、公表
- ii FD研修会の実施
- iii 新任教員対象の研修会
- iv 科研費の取得・使用に係る説明会・講演会

###### b 実施方法

i ③で述べる学生による授業評価アンケートをふまえ、年度末に専任教員全員が、担当授業のうち1～3科目について授業報告書(様式は別紙参照)を作成、学科内で回覧した後、FD協議会のメンバーでもある教務委員が集約して、学科全体の授業報告書を作成し、各教員の授業報告書とともに、学務担当副学長に提出する。

学務担当副学長は、これらの授業報告書を読んだうえで、全体の状況や、各学科での特徴ある取り組みなどを摘記し、これと、学科ごと、教員ごとの授業報告書をまとめた『「学生による授業評価」に基づく授業報告書』を作成し、FD協議会での検討を経て、その冊子を学内の教職員、学生に公表する。

ii FD協議会が企画立案し、研修会・講演会等を行う。

iii 日本私立大学連盟主催の新任専任教員向けFD推進ワークショップ「大学教員の職能開発とFD」に新任の若手教員を派遣する。

iv 学内で科研費の管理を所管する企画部で企画、立案する。

###### c 開催状況

ii ①平成25年度後半に導入したグループウェア「Google Apps」(学内名「USH-Cloud」)の活用方法について、情報化推進プロジェクトチームのリーダーを講師とした研修を、教職員対象に2回、教員対象に5回行った。期日・おもな内容・参加教職員数は下記の通り。

回数 開催日 おもな内容 参加教職員数

- 1 4月8日 アンケートの作成と活用 教員61名
- 2 5月20日 PCとのファイル共有と取り扱い方 教員58名
- 3 6月10日 映像配信 教員61名
- 4 7月8日 個人でサイトを構築する 教員62名
- 5 10月7日 Web会議システム(Live On)の活用 教員59名
- 6 11月11日 USH-Cloudのセキュリティ 教員60名

② FDIに関する研修会として、8月1日にキャンパスの沿革(江戸時代から現代まで)についての講演(講師史学科教授佐々木恵介)と、BS朝日で放映された「旧久邇宮邸」の鑑賞を行った。参加教職員59名。

③ FD協議会とハラスメント防止委員会の共催で、2月19日に講演会「ハラスメントにならない伝え方、指導法」(講師NPO法人アサーティブジャパン代表森田汐生氏)を実施した。参加教職員61名。なお、この講演会については参加者にアンケートを実施し、その結果をFD協議会・ハラスメント防止委員会で共有するとともに、今後のFD研修会開催のための検討材料とした。

iii 平成24年度2名、平成25年度1名、平成26年度1名

iv 科研費に係る説明会、説明会の平成26年度における開催状況は以下の通り。

・ 科研費の使用に係る説明会

開催日：平成26年7月8日

参加者：教員12名、職員5名、計17名

・ 科研費の取得に係る講演会

開催日：平成26年7月12日

演題：「科研費の制度について」

講師：文部科学省振興局学術研究助成課課長補佐

参加者：教員17名、職員6名、計23名



- d 実施状況を踏まえた授業改善への取組状況
- i bに記したように、学生による授業評価アンケートに基づき、各教員が授業報告書を作成するが、これらは各学科内で回覧され、教務委員がその内容を集約して、効果的な授業方法や、取り組むべき課題を学科ごとの授業報告書に記載し、学科内で共有するようにしている。さらに全学的な課題については、教務委員会で検討されるが、とくに授業報告書の中で意見、要望が多い教室の施設・設備等については、平成27年度中にその整備をはかるためのプロジェクトチームを設置する予定である。
- また、平成26年8月1日には、IR推進センターが発足したので、アンケート中の学生の学修時間に関するデータを提供して、その分析を依頼した(センターでは平成26年12月1日に報告書を経営会議に提出)。
- ii 平成25～26年度の「Google Apps」研修を踏まえ、平成27年度はe-ポート・フォリオの導入を本格的に検討する。
- iv 科研費の取得状況(新規採択及び継続の研究代表者分。学術研究助成基金助成金を含む。)は以下の通り。  
平成24年度：12件(基盤研究7、挑戦的萌芽研究1、若手研究2、研究活動スタート支援1、特別研究員奨励費1)  
平成25年度：13件(基盤研究9、挑戦的萌芽研究1、若手研究2、特別研究員奨励費1)  
平成26年度：15件(基盤研究11、挑戦的萌芽研究2、若手研究2)

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
- 前期・後期の授業最終週に実施。アンケート(様式は別紙参照)を実施するのは、専任教員は担当授業のうち原則として2科目、非常勤講師は担当授業のうち1科目以上。なお、②bのiに記した各教員の授業報告書には、アンケート未実施で、教員がリアクションペーパーなどによって日常的に把握している学生の意見や希望をもとに作成したものも含まれる。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
- アンケートは学務事務部で集計し、結果を授業担当教員に通知する。専任教員は、②bのiに記したように、最終的には年度ごとの『「学生による授業評価」に基づく授業報告書』という冊子の形で、学内の各学科研究室等に配布し、教職員、学生に公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では、設置の趣旨・目的の達成状況について、将来構想・評価委員会を中心とする内部質保証の取り組みの中で点検・評価及び検証を行っており、以下に記述する内容の詳細は、毎年度末に公表している『点検・評価報告書』に記載される予定である。

平成26年度に行われた学科等の改組設置、定員の変更については、平成25年7月以降、文部科学省の指導のもと申請及び認可の時期を慎重に配慮しつつ、パンフレット、募集要項、大学ホームページ等の媒体により、その趣旨・概要の周知に努め、所期の入学定員数を確保することができた。平成26年度には、『聖心女子大学ガイドブック2015』（平成26年4月末）にも掲載し、オープンキャンパスでも積極的に広報を行ったが、その結果、志願者数、入学定員数にやや減少が見られたものの新学科の平均入学定員超過率としては、1.15～1.18倍と適正範囲を保持している。

本学は1年次では全員が文学部基礎課程に在籍し、学科・専攻に分かれるのは2年次からである。したがって認可を受けた学科・専攻及び定員について実際に学生が進学するのは、平成27年度からとなる。本学ではこれに向け、平成26年度には入学後のガイダンス、全1年次生を対象とするジェネラルレクチャーでの学科紹介ガイダンス、選考決定のためのガイダンス等において、改組設置及び定員変更の趣旨・概要を周知徹底した。また、平成25年12月までに新設された史学科、人間関係学科、国際交流学科、心理学科を含む全学科・専攻について、設置の趣旨に基づき「卒業生像」と「履修モデル」の見直しを行った。その結果は平成26年度『履修要覧』、大学ホームページ及び『聖心女子大学ガイドブック2015』等に掲載し、広く周知している。あらゆる機会を捉えて実施されたこれらの指導、広報の方法は適切であると考える。

2年次に進学するための専攻の決定は平成26年11～12月に実施され、学生の希望に基づく学科による選考により、新設学科を含め全学科で適切な数の進学者が確定した。27年4月より、各学科での勉強が順調に始まっている。平成26年11月～27年1月には、将来構想・評価委員会が中心となり、学科の趣旨・概要、卒業生像、履修モデル等の周知、学生の受け入れ方法等につき、学科別に詳細な点検・評価、検証を実施した。その結果、大きな問題点は見出せず、この間の経緯は順調、適切に推移したものと確認された。このほか、平成26年度にはFD協議会内規を定め、FD推進の体制を整備した。

開設する授業科目については、計画段階から若干の変更を生じたが、別項「授業科目を未開講又は廃止としたことに関する『大学の所見』」にあるとおり、やむを得ない事情によるものと認められる。総合リベラル・アーツ副専攻等についても教務委員会を中心に準備を進め、平成27年4月にガイダンスを実施、9月からの本格登録に備えている。以上、若干の変更点はあるが、現時点における設置の趣旨・目的の達成状況は、ほぼ計画通りで適切と考えられる。今後さらにきめ細かい改善を進め、学科新設の効果を高めるよう努めたい。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成28年3月20日

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成28年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で準備中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

有

無

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

（平成27年 9月 30日）

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 聖心女子学院

## (2) 大学名

聖心女子大学

## (3) 大学の位置

〒150-8938  
東京都渋谷区広尾4-3-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
 ・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ウノ ミエコ) 宇野 三恵子 (現職就任平成22年6月)		
学長	(オカザキ ヨシコ) 岡崎 淑子 (現職就任平成23年10月)		
学務担当 副学長	(ササキ ケイスケ) 佐々木 恵介 (現職就任平成24年4月)		
学生担当 副学長	(スズキ オトシ) 鈴木 乙史 (現職就任平成25年10月)	(カワツ マコト) 川津 誠 (現職就任平成27年4月)	任期満了に伴い平成27年 4月1日付人事異動にて変 更(27)
評価・大学院 担当副学長	(キタムラ カズオ) 北村 和夫 (現職就任平成23年10月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。  
 ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学部 人間関係学科 学士(人間関係)	4年	55人	2年次 2人	226人	入学時は文学部としての一括募集。2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に収容する。

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	55 ( ) [ ]	—	55 ( 2 ) [ ]	—	55 ( 2 ) [ ]	—	55 ( 2 ) [ ]	—	55 ( 2 ) [ ]	—	1.15倍	— 倍	入学時は文学部としての一括募集。2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に収容する。
志願者数	168 ( ) [ 1 ]	— ( ) [ ]	160 ( 9 ) [ 2 ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
受験者数	161 ( ) [ 1 ]	— ( ) [ ]	153 ( 8 ) [ 2 ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
合格者数	103 ( ) [ 1 ]	— ( ) [ ]	100 ( 4 ) [ 1 ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
B 入学者数	66 ( ) [ 1 ]	— ( ) [ ]	61 ( 2 ) [ 1 ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]	— ( ) [ ]			
入学定員超過率 B/A	1.20		1.10		—		—		—				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について外数で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「—」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「—」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, 各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出してください。なお, 計算の際は小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「—」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 1 ] ( - ) 66	[ - ] ( - ) —	[ 1 ] ( 1 ) 62	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	入学時は文学部としての一括募集。2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に收容する。
2年次	/		[ 4 ] ( 0 ) 70	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	
3年次	/		/		[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	
4年次	/		/		/		[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	
計	[ 1 ] ( - ) 66	[ - ] ( - ) —	[ 5 ] ( 1 ) 132	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	[ - ] ( - ) —	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	66 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学	1.5% %
			平成27年度	0 人	0 人	該当者なし	
			平成28年度	— 人	— 人		
			平成29年度	— 人	— 人		
平成27年度 入学者	62 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	該当者なし	0 %
			平成28年度	— 人	— 人		
			平成29年度	— 人	— 人		
平成28年度 入学者	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人		— %
			平成29年度	— 人	— 人		
平成29年度 入学者	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人		— %
合 計	128 人	1 人					0.8% %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<文学部 人間関係学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
専攻課程分野	基礎科目	対人社会心理学1	2前	2			1							
		マスコミ社会心理学1	2後前後	2				1				兼1	担当教員が研修年のため教員および開講時期変更(26) 研修年終了のため開講時期変更(27)	
		人格心理学1	2前	2			1					兼1	副学長就任のため教員変更(26) 副学長退任のため教員変更(27)	
		家族社会学1	2後前	2			1					兼1	授業運営上の都合により開講時期変更(26)	
		職業社会学1	2後	2			1							
		文化人類学1	2後前	2				1				兼1	担当教員が研修年のため開講時期変更(27)	
		社会調査入門	2前	2			5 4	2 1						担当教員が研修年または副学長就任のため教員数変更(26) 担当教員が研修年のため教員数変更(27)
		比較文化学1	2前	2			1							
		人間関係共通演習	2後	2			5	2 1						担当教員が研修年のため教員数変更(26) 担当教員が研修年のため教員数変更(27)
		演習1	対人社会心理学演習1	3通		4		1						
			マスコミ社会心理学演習1	3通		4			1				兼1	担当教員が研修年のため教員変更(26) 研修年終了により教員変更(26)
			人格心理学演習1	3通		4		1						
			家族社会学演習1	3通		4		1						
			職業社会学演習1	3通		4		1						
文化人類学演習1	3通			4			1				兼1	担当教員が研修年のため教員変更(27)		
比較文化学演習1	3通			4		1								
演習2	対人社会心理学演習2	4通		4		1								
	マスコミ社会心理学演習2	4通		4			1				兼1	担当教員が研修年のため教員変更(26) 研修年終了により教員変更(27)		
	人格心理学演習2	4通		4		1								
	家族社会学演習2	4通		4		1								
	職業社会学演習2	4通		4		1								
	文化人類学演習2	4通		4			1				兼1	担当教員が研修年のため教員変更(27)		
	比較文化学演習2	4通		4		1								

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
自由 選 択 科 目	社会心理学特講1	2・3・4前		2		1							
	社会心理学特講2	3・4前		2			1						
	社会心理学特講3	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目の追加(26)	
	社会心理学特講4	2・3・4前		2							兼1		
	社会心理学特講6	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)	
	社会心理学特講9	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)	
	社会心理学特講11	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更 (26)	
	社会心理学特講14	3・4前		2							兼1		
	社会心理学特講15	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)	
	文化人類学特講2	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目の追加(26) 平成27年度未開講 (27)	
	文化人類学特講4	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)	
	文化人類学特講5	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)	
	文化人類学特講6	2・3・4前		2							兼1		
	文化人類学特講7	2・3・4後		2							兼1		
	文化人類学特講10	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)	
	文化人類学特講11	2・3・4前		2							兼1		
	文化人類学特講12	2・3・4後		2							兼1		
	人文地理学1	2・3・4前		2							兼1		
	人文地理学2	2・3・4後		2							兼1		
	自然地理学1	2・3・4前		2							兼1		
	自然地理学2	2・3・4後		2							兼1		
	地誌学1	2・3・4前		2							兼1		
	地誌学2	2・3・4後		2							兼1		
	マス・コミュニケーション論	2・3・4前		2				1					
	社会学	2・3・4通		4								兼1	教育内容の充実を図るため担当教員を追加(27)
	家族社会学2	2・3・4後		2			1						平成27年度未開講 (27)
	職業社会学2	2・3・4前		2			±				兼1	担当教員がセンター長就任のため教員変更(26)	
	キャリア形成の社会学	2・3・4前		2			±				兼1	担当教員がセンター長就任のため教員変更(27)	
	社会学特講1	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)	
	社会学特講2	2・3・4前		2							兼1		
	社会学特講3	2・3・4後		2							兼1		
	社会学特講4	2・3・4前		2							兼1		
	交流分析概論	2・3・4前		2							兼1		
	人格発達心理学	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)	
	人格心理学特講1	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)	
	人格心理学特講2	3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目の追加(26)	
	人格心理学特講4	3・4後		2							兼1		
	人格臨床心理学特講1	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目の追加(26)	
	人格臨床心理学特講2	2・3・4後		2							兼1		
	人格臨床心理学特講4	3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)	
	比較文化宗教学1	2・3・4前		2							兼1	廃止(26)	
比較文化宗教学2	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)		
比較文化宗教学3	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目の追加(26) 平成27年度未開講 (27)		



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
	比較文化学特講	2・3・4通		4		1						廃止(27)	
	比較文化学特講1	2・3・4後		2		1							
	比較文化学特講2	2・3・4前		2							兼1		
	比較文化学特講3	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更(26)	
	比較文化学特講4	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更(26)	
	比較文化学特講5	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)	
	比較文化学特講6	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)	
	比較文化学特講7	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)	
	比較文化学2	2・3・4 3・4後		2		1					兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、および開講時期変更(26)記載誤りによる配当年次修正および平成27年度未開講(27)	
	人間関係副専攻演習1	2・3・4後 前後		2		1						授業運営上の都合により開講時期変更(26) 授業運営上の都合により開講時期変更(27)	
	社会調査の技法1	2・3・4前		2							兼1		
	社会調査の技法2	2・3・4前		2							兼1		
	データ分析の基礎	3・4前		2							兼2		
	社会統計学	2・3・4後		2		1							
	多変量解析法	3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)	
	質的調査法1	2・3・4前後		2		1						授業運営上の都合により開講時期変更(27)	
	質的調査法2	2・3・4前		2			1					平成27年度未開講(27)	
	社会調査実習1	3・4通		4		1	1					担当教員が研修年のため教員数変更(26) 研修年終了により教員数変更(27)	
	社会調査実習2	3・4通		4		1	2				兼1	教育内容充実のため担当教員追加(26) 教育内容充実のため担当教員追加(27)	
	社会調査実習3	3・4通		4			1				兼1	研修年のため教員数変更(27)	
	卒業論文	4通	8			5	2						
専攻課程分野	他学科開講科目(史学)	日本史史料論	2通	4								兼1	
		世界史演習Ⅱ-1	3通	4								兼1	
		世界史演習Ⅱ-2	3通	4								兼1	
		世界史演習Ⅱ-3	3通	4								兼1	
		世界史演習Ⅱ-4	3通	4								兼1	
		世界史演習Ⅱ-5	3通	4								兼1	
		世界史演習Ⅲ-1	4通	4								兼1	
		世界史演習Ⅲ-2	4通	4								兼1	
		世界史演習Ⅲ-3	4通	4								兼1	
		世界史演習Ⅲ-4	4通	4								兼1	
		世界史演習Ⅲ-5	4通	4								兼1	
		古文献入門	2・3・4通	4								兼1	
		国際関係史Ⅰ	2・3・4前	2								兼1	
		国際関係史Ⅱ	2・3・4通	4								兼1	平成27年度未開講(27)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	世界音楽地誌	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26) 平成27年度未開講 (27)
	日本史概説 I	1・2・3・4前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	日本史概説 II	1・2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	外国史概説	1・2・3・4通		4							兼4 5	教職課程認定における指導により科目追加 (26) 研修年終了により教員追加 (27)
	世界史への招待 I	1・2・3・4前		2							兼4 5	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 研修年終了により教員追加 (27)
	世界史への招待 II	1・2・3・4後		2							兼4 5	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 研修年終了により教員追加 (27)
	外国史概説 I—1	2・3・4前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	外国史概説 I—2	2・3・4前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	外国史概説 II—1	2・3・4後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	外国史概説 II—2	2・3・4後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	外国史概説 II—3	2・3・4後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	資料整理実習	3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更 (26)
	史料講読 I	2・3・4通		4							兼1	
	史料講読 II	3・4通		4							兼1	
	日本考古学	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	日本民俗学	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	日本古代史 I	2・3・4通		4							兼1	
	日本中世史 I	2・3・4通		4							兼1	
	日本中世史 II—1	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	日本近世史 I	2・3・4通		4							兼1	
	日本近世史 II	2・3・4通		4							兼1	
	日本近現代史 I	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	日本近現代史 II	1・2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	日本近現代史 II—1	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	日本近現代史 II—2	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	日本文化史 I	1・2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	日本文化史 II	1・2・3・4後前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次および開講時期変更 (27)
	中国古代文化史	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	中国近代史	2・3・4通		4							兼1	
	中国古代史	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	朝鮮現代史	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	東南アジア史	2・3・4通		4							兼1	
	南アジア現代史	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26) 平成27年度未開講 (27)
	南アジア近代史	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	西アジア近代史	2・3・4通		4							兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	西アジア文化史	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	イスラム社会史入門	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	古代オリエント史	2・3・4通		4							兼1	
	古代ローマ史	2・3・4通		4							兼1	
	東洋陶磁史	1・2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)
	ヨーロッパ中世史 I	2・3・4通		4							兼1	
	ヨーロッパ中世史 II	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	ヨーロッパ近代史 I	2・3・4通		4							兼1	
	ヨーロッパ近代史 II	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	ヨーロッパ現代史 I	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	ヨーロッパ現代史 II	2・3・4通		4							兼1	
	ロシア文化史	2・3・4通		4							兼1	
	アメリカ史	2・3・4通		4							兼1	
	ラテンアメリカ史	2・3・4通		4							兼1	
	世界史文献講読 II-1	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正 (27)
	世界史文献講読 II-2	2・3・4後		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正 (27)
	世界史文献講読 III-1	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正 (26)
	世界史文献講読 III-2	2・3・4後		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正 (26)
	世界史文献講読 IV-1	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正 (26)
	世界史文献講読 IV-2	2・3・4後		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正 (26)
	世界史文献講読 V-1	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正 (26)
	世界史文献講読 V-2	2・3・4後		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正 (26)
	世界史文献講読 VI-1	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正 (26)
	世界史文献講読 VI-2	2・3・4後		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正 (26)
他 学 科 開 講 科 目 ( 国 際 交 流)	フランス語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
	フランス語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
	フランス語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1	
	フランス語コミュニケーション II (2)	3後		2							兼1	
	ドイツ語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
	ドイツ語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
	ドイツ語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1	
	ドイツ語コミュニケーション II (2)	3後		2							兼1	
	スペイン語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
	スペイン語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
	スペイン語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1	
	スペイン語コミュニケーション II (2)	3後		2							兼1	
	中国語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
	中国語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
	中国語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1	
	中国語コミュニケーション II (2)	3後		2							兼1	
	コリア語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
	コリア語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
コリア語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1		
コリア語コミュニケーション II (2)	3後		2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	法学[含国際法]	1・2・3・4通		4							兼1	
	民法概論	2・3・4通		4							兼1	記載誤りによる科目追加 (27)
	現代家族法	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	国際法1	2・3・4前		2							兼1	
	国際法2	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	取引関係法	2・3・4通		4							兼1	
	政治学概論[含国際政治]1	2・3・4通		4							兼1	
	政治学概論[含国際政治]2	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	国際交流特殊講義	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	現代国際政治 I	2・3・4通		4							兼1	
	現代国際政治 V	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	現代国際政治 VI	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)
	行政学	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	国際連合論	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更 (26) 平成27年度未開講 (27)
	アメリカ外交論	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26) 平成27年度未開講 (27)
	経済学概論[含国際経済]	2・3・4通		4							兼1	
	経済理論入門	2・3・4通		4							兼1	
	国際経済学1	2・3・4前		2							兼1	
	国際経済学2	2・3・4後		2							兼1	
	開発経済学	2・3・4通		4							兼1	
	情報処理入門	2・3・4通		4							兼1	
	プログラム入門	2・3・4通		4							兼1	
	コンピュータサイエンス	2・3・4通		4							兼1	
	応用情報処理	2・3・4通		4							兼1	
	国際コミュニケーション論	2・3・4通		4							兼1	
	異文化間コミュニケーション(1)	2・3・4前		2							兼1	
	異文化間コミュニケーション(2)	2・3・4後		2							兼1	
	国際交流実習1	1・2・3・4前後		2			1				兼76	教育効果を考慮し担当教員および配当年次変更 (26) 教育効果を考慮し担当教員および開講時期変更 (27)
	フランスの社会と文化(1)	2・3・4前		2							兼1	
	フランスの社会と文化(2)	2・3・4後		2							兼1	
	ドイツの社会と文化(1)	2・3・4前		2							兼1	
	ドイツの社会と文化(2)	2・3・4後		2							兼1	
	東アジアの社会と文化(1)	1・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し担当教員および開講時期変更 (27)
	東アジアの社会と文化(2)	1・2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)
	ドイツ事情(1)	2・3・4前		2							兼1	
	ドイツ事情(2)	2・3・4後		2							兼1	
	フランス事情(1)	2・3・4前		2							兼1	
	フランス事情(2)	2・3・4後		2							兼1	
	中国事情(1)	1・2・3・4後前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次および開講時期変更 (27)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
他 学 科 開 講 科 目 ( 心 理 学 )	中国事情(2)	1・2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	Contemporary American Culture(1)	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	Contemporary American Culture(2)	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	日欧思想交渉史入門(1)	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更(26)
	日欧思想交渉史入門(2)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	アジア文化論	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	心理学史	2・3・4後前		2							兼1	教育効果を考慮し開講時期変更(27)
	認知心理学特講1	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	認知心理学特講3	2・3・4後前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	認知心理学特講4	2・3・4前		2							兼1	
	認知心理学特講5	2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し、配当年次変更(26) 教育効果を考慮し配当年次、開講時期を変更(27)
	認知心理学特講6	3・4前		2							兼1	
	認知心理学特講7	3・4後		2							兼1	
	認知心理学特講8	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	発達心理学特講1	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	発達心理学特講2	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	発達心理学特講3	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	発達心理学特講4	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	発達心理学特講5	3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	発達心理学特講6	3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更(26)
	発達心理学特講7	3・4前		2							兼1	
	発達心理学特講8	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更(26)
	臨床心理学特講1	2・3・4後		2							兼1	
	臨床心理学特講2	2・3・4後		2							兼1	
	臨床心理学特講3	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更(26) 平成27年度未開講(27)
	臨床心理学特講4	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	臨床心理学特講5	2・3・4後		2							兼1	
臨床心理学特講6	2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し、配当年次変更(26)	
臨床心理学特講7	2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、授業運営上の都合により開講時期変更(26)	
臨床心理学特講8	2・3・4後		2							兼1		
発達心理学1	2・3・4前		2							兼1		
発達心理学2	2・3・4前		2							兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎課程科目	基礎課程演習	1前		2		12	21				兼24 25	教育効果の充実を図るため教員変更(26) 教育効果の充実を図るため教員変更(27)
	アジア史入門	1前		2							兼2	廃止 世界史への招待 I・IIへ吸収(26)
	人間関係入門	1前		2		5	21					担当教員が研修年のため教員数変更(26)
	国際交流入門	1前		2							兼9 11	担当教員が退職のため教員変更(27)
	心理学入門	1前		2							兼7 6	担当教員が研修年のため教員数変更(27)
	英語の世界	1前		2							兼10 6	平成26年度未開講 教育効果の充実を図るため教員数変更(27)
総合現代教養	3・4年英語	3・4通		2							兼1	廃止 Advanced English Studies (1)・(2)に吸収(27)
	運動学1	2・3・4前		1							兼1	平成27年度未開講(27)
	運動学2	2・3・4後		1							兼1	平成27年度未開講(27)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
科目	運動学3	2・3・4後		1							兼1	
	憲法1	1・2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更 (27)
	憲法3	1・2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更 (26)
	女性とキャリア形成	2・3・4前		2							兼1	
	国際平和と開発援助	2・3・4前		2							兼1	
	地球化時代のNGO	1・2・3・4前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	人間の安全保障	1・2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更 (27)
	中国古典への招待	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講 (27)
	中国思想への招待	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講 (27)
	現代社会と環境	1・2・3・4前		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 環境と経済に吸収 (27)
	現代の脳科学	1・2・3・4後		2							兼1	
	科学史1	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 進化論の世界に吸収 (27)
	科学史2	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 進化論の世界に吸収 (27)
	社会福祉論	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更 (27)
	児童福祉論	1・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、業務運営上の都合により開講時期変更 (26) 平成27年度未開講 (27)
	ビートルズの詩と音楽	1・2・3・4前後		2							兼1	平成26年度未開講
	情報活用演習	1・2・3・4前後		2							兼6	
	情報ネットワーク演習	2・3・4前		2							兼1	
	日本の伝統文化	1・2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	アラビア語の世界	1・2・3・4通		4							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講 (27)
	金融のしくみ	1・2・3・4前		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 暮らしのファイナンスに吸収 (27)
	聖心スピリットと共生	1・2・3・4後		2							兼1	
	健康な生活と健康科学	1・2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	情報産業論	1・2・3・4前		2							兼3	平成26年度未開講 廃止 ジャーナリズムの現在に吸収 (27)
	ポップカルチャー	1・2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更 (26) 平成27年度未開講 (27)
	キャリアデザイン入門	2・3前後		2							兼2	授業運営上の都合により開講時期変更 (26)
	チェコ語の世界	1・2・3・4通		4							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講 (27)
災害と人間	1・2・3・4前		2			2 2		1		兼6 5 4	授業内容充実のため担当教員変更 (26) 教育効果の充実を図るため教員変更 (27)	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	現代を考える	1・2・3・4前		2							兼1	
	トルコ語の世界	1・2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	暮らしのファイナンス	1・2・3・4後前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	環境と経済	1・2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	進化論の世界	1・2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	ジャーナリズムの現在	1・2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	ロシア語入門	1・2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	ボランティア体験の振り返り	1・2・3・4後前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	Advanced English Studies (1)	3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced English Studies (2)	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced French Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced French Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced German Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced German Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Spanish Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Spanish Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Chinese Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Chinese Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Korean Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Korean Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	ジェンダー学1	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更 (26)
	ジェンダー学2-1	1・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次および開講時期変更 (27)
	ジェンダー学2-2	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	ジェンダー学3-1	2・3・4前		2							兼1	
	ジェンダー学5-1	1・2・3・4前		2							兼1	
	ジェンダー学5-2	2・3・4後		2							兼1	
	ジェンダー学6-1	1・2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	ジェンダー学6-2	2・3・4前		2							兼1	
	ジェンダー学6-3	2・3・4前		2							兼1	
	ボランティア研究概論1	2・3・4前		2							兼1	
	ボランティア研究概論2	2・3・4後		2							兼1	
	ボランティア研究演習1	3・4前		2							兼1	記載誤りのため削除 (27)
	ボランティア研究演習2	3・4後		2							兼1	記載誤りのため削除 (27)



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
他学科開講科目（日本語日本文学）	日本文学史Ⅰ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更（26）
	日本文学史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	日本文学史Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	日本文学史Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	
	日本文学史Ⅴ	2・3・4前		2							兼1	
	日本文学史Ⅵ	2・3・4後前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更（26） 授業運営上の都合により開講時期変更（27）
	日本語学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	日本語学概論Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	日本語史概説Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	日本語史概説Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究Ⅴ	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究Ⅵ	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究Ⅶ	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究Ⅷ	2・3・4後		2							兼1	
	近代文学研究Ⅰ	2・3・4後		2							兼1	
	近代文学研究Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	近代文学研究Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	近代文学研究Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	
	近代文学研究Ⅴ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加（27）
	近代文学研究Ⅵ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加（27）
	日本語学研究Ⅰ	2・3・4後		2							兼1	
	日本語学研究Ⅱ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更（26）
	日本語学研究Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	日本語学研究Ⅳ	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更（26）
	古典文学講読Ⅰ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更（26）
	言語学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	言語学概論Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	対照言語学Ⅰ	3・4前		2							兼1	
	対照言語学Ⅱ	3・4後		2							兼1	
	文芸創作入門	2・3・4通		4							兼1	
	書道Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため削除（26）
	書道Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	記載誤りのため削除（26）
	中国文学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	中国文学概論Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学の世界	1前		2							兼1	記載誤りのため追加（26）
	近代文学の世界	1前		2							兼1	記載誤りのため追加（26）
ことばの世界	1前		2							兼1	記載誤りのため追加（26） 平成27年度未開講（27）	
日本語の世界	1前		2							兼1	記載誤りのため科目を追加（27）	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
他学科開講科目(哲学)	哲学演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	哲学演習Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	哲学演習Ⅲ	2・3・4通		4							兼1	
	哲学演習Ⅳ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	哲学演習Ⅴ-1	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	哲学演習Ⅵ-2	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	哲学演習Ⅶ-1	2・3・4前		2							兼1	
	哲学演習Ⅶ-2	2・3・4後		2							兼1	
	哲学史演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	哲学史演習Ⅱ	1・2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	倫理学演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	倫理学演習Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	
	倫理学演習Ⅲ	2・3・4通		4							兼1	
	日本思想史演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	美学・芸術学演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	美学・芸術学演習Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	
	キリスト教学演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	キリスト教学演習Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	
	社会思想史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	社会思想史Ⅱ	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	哲学概論Ⅰ	1・2・3・4前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26) 平成27年度未開講(27)
	哲学概論Ⅱ	1・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、授業運営上の都合により開講時期変更(26) 平成27年度未開講(27)
	哲学概論Ⅲ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	哲学概論Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	倫理学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	倫理学概論Ⅱ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更(26) 平成27年度未開講(27)
	倫理学概論Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	倫理学概論Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	哲学・倫理学特講Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	哲学・倫理学特講Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	哲学・倫理学特講Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	哲学・倫理学特講Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	
	哲学・倫理学特講Ⅴ	2・3・4前		2							兼1	
	哲学・倫理学特講Ⅵ	2・3・4後		2							兼1	
	哲学・倫理学特講Ⅶ	2・3・4前		2							兼1	
	哲学・倫理学特講Ⅷ	2・3・4後		2							兼1	
哲学・倫理学特講Ⅸ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更(26)	
哲学・倫理学特講Ⅹ	2・3・4後		2							兼1		
哲学・倫理学特講ⅩⅠ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)	
哲学・倫理学特講ⅩⅡ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)	
西洋古代・中世哲学史Ⅰ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	西洋古代・中世哲学史Ⅱ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	西洋近代哲学史Ⅰ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	西洋近代哲学史Ⅱ	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	日本倫理思想史Ⅰ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更(26) 平成27年度未開講(27)
	日本倫理思想史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	宗教思想史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	宗教思想史Ⅱ	2・3・4前後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更(26) 授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	美学・芸術学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	美学・芸術学概論Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	美学・芸術学特講Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	美学・芸術学特講Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	美学・芸術学特講Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	美学・芸術学特講Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	
	美学・芸術学特講Ⅴ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	美学・芸術学特講Ⅵ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	日本美術史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	日本美術史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	東洋美術史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	東洋美術史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	西洋美術史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	西洋美術史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	キリスト教学概論Ⅰ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	キリスト教学概論Ⅱ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	新約聖書学	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	旧約聖書学Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	旧約聖書学Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	新約聖書学Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	新約聖書学Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	キリスト教倫理学Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	キリスト教音楽	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	キリスト教美術	2・3・4通		4							兼12	教育内容の充実を図るため担当教員を追加(27)
	キリスト教文学	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	キリスト教思想史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	キリスト教思想史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	キリスト教学特講Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	キリスト教学特講Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	キリスト教学特講Ⅳ	2・3・4通		4							兼1	
	ギリシア語Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	ギリシア語Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	ラテン語 I	2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
他学科開講科目(教育学)	教育学概論	2通		4							兼1	記載誤りにより削除 (26)
	教育哲学2	2・3前		2							兼1	
	西洋教育史2	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(27)
	日本教育史1	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(27)
	日本教育史2	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(27)
	西洋教育運動史	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	教育原理	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	教育行政学2	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	教育社会学概論1 社会学概論1	2・3後		2							兼1	科目名称変更(26) 教職課程認定における指導により科目削除(27)
	教育社会学概論2 社会学概論2	2・3後		2							兼1	科目名称変更(26) 教職課程認定における指導により科目削除(27)
	比較教育学	3・4通		4							兼1	
	比較教育学特講	3・4後		2							兼1	
	生涯学習概論	3・4前		2							兼1	
	教育経営	2・3・4後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	教育心理学	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(27)
	教育課程方法論	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(27)
	教育方法	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	教育課程論	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	発展途上国における教育問題1	3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	発展途上国における教育問題2	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	人間学習原論	3・4前		2							兼1	
	人間学習3	3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	人間学習4	3・4前		2							兼1	
	人間学習5	3・4後		2							兼1	
	人間学習6	3・4前		2							兼1	
	人間学習7	3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更 (26)
	人間学習8	3・4前		2							兼1	
	人間学習10	3・4前		2							兼1	
	人間学習11	3・4前		2							兼1	
	教育メディア論	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	教育情報学	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(27)
	教育工学	3・4前		2							兼1	
	メディア教材開発	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
教育学特講2	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)	
教育学特講3	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)	
教育学特講5	2・3・4後		2							兼1		
教育学特講7	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)	
教育学特講8	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)	
教育相談	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
他学科開講科目(英語英文学)	体育学特講	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	道徳教育の研究	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	特別活動	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	生徒指導[含進路指導]	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	教育学入門	1・2前		2							兼10 11 10	教育課程の充実を図るため教員追加(26) 担当教員が研修年のため教員教変更(27)
	障害者教育・福祉概論	1・2・3・4前後		2							兼1	
	幼児教育原論	2・3前		2							兼1	記載誤りにより削除(26)
	視聴覚教育1	1・2・3・4後		2							兼1	廃止(27)
	視聴覚教育2	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 廃止(27)
	健康社会学	2・3・4前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	教育調査	3・4前		2							兼1	
	英文学史概説1	1・2前		2							兼1	
	英文学史概説2	1・2後		2							兼1	
	英作文1	3前		2							兼6	
	英作文2	3後		2							兼6	
	英語学概論	1・2通		4							兼1	
	英語学特講3-1	2・3・4前		2							兼1	
	英語学特講3-2	2・3・4後		2							兼1	
	メディア・コミュニケーション特講1	3・4後		2							兼1	
	メディア・コミュニケーション特講2	3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	メディア・コミュニケーション特講2-2	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	メディア・コミュニケーション特講8-2	3・4後		2							兼1	
	英語史	2・3・4通		4							兼1	
	米文学史概説1	2・3・4前		2							兼1	
	米文学史概説2	2・3・4後		2							兼1	
	メディア・コミュニケーション入門1	1・2前		2							兼1	
	英文法	2・3前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
英会話	3・4通		4							兼1		
オラルコミュニケーション	2・3・4通		4							兼1		
英語文化論[英語と聖書]1	2・3・4前		2							兼1		
英語文化論[英語と聖書]2	2・3・4後		2							兼1		
英語文化論[翻訳実践]1	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)	
英語文化論[翻訳実践]2	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手			
	英語文化論[児童文学]1	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)	
	英語文化論[児童文学]2	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)	
	英語文化論[文学と電子メディア]1	2前		2							兼1		
	英語文化論[文学と電子メディア]2	2後		2							兼1		
	異文化理解	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)	
	英文学入門	1通		4							兼1	記載誤りのため追加 (26)	
	Leadership for Sustainable Development 1	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)	
	Leadership for Sustainable Development 2	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)	
	2年英文演習2-1	1前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)	
	2年英文演習2-2	1後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)	
	2年英文講義1-1	1前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)	
	2年英文講義1-2	1後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)	
	2年英文講義3-1	1前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)	
	2年英文講義3-2	1後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)	
	博物館 関連 科目	博物館概論	2・3・4前		2							兼1	
		博物館学各論1	2・3・4通		4							兼1	
		博物館学各論2	2・3・4通		4							兼1	
		博物館情報・メディア論	2・3・4前		2							兼1	
		博物館教育論	2・3・4前		2							兼1	
	日本 語 関 連 科 目	2年日本語2	2・3・4後		2							兼2	
上級日本語1-1		1・2・3・4前		1							兼1		
上級日本語1-2		1・2・3・4後		1							兼1		
日本事情1		1・2・3・4前		2							兼1		
	日本事情2	1・2・3・4後		2							兼1		
全学 必 修 分 野	キ リ ス ト 教 学 I	キリスト教学 I-1	1・2通		4							兼1	
		キリスト教学 I-2	1・2通		4							兼1	
		キリスト教学 I-3	1・2通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
		キリスト教学 I-4	1・2通		4							兼1	
		キリスト教学 I-5	1・2通		4							兼1	
		キリスト教学 I-6	1・2通		4							兼1	平成26年度未開講
		キリスト教学 I-7	1・2通		4							兼1	
		キリスト教学 I-8	1・2通		4							兼1	
		キリスト教学 I-9	1・2通		4							兼1	
		キリスト教学 I-10	1・2通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
キ リ ス ト 教 学 II	キリスト教学 II-1	3・4通		4							兼1		
	キリスト教学 II-2	3・4通		4							兼1		
	キリスト教学 II-3	3・4通		4							兼1		
	キリスト教学 II-4	3・4通		4							兼1		
	キリスト教学 II-5	3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)	
	キリスト教学 II-6	3・4通		4							兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	キリスト教学Ⅱ-7	3・4通		4							兼2	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	キリスト教学Ⅱ-8	3・4通		4							兼1	
	キリスト教学Ⅱ-9	3・4通		4							兼1 2	教育内容の充実を図るため担当教員を追加 (27)
	キリスト教学Ⅱ-10	3・4通		4							兼1	
	キリスト教学Ⅱ-11	3・4通		4							兼1	
	キリスト教学Ⅱ-13	3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	キリスト教学Ⅱ-14	3・4通		4							兼1	
	キリスト教学Ⅱ-16	3・4通		4							兼1	
第一外国語	1年英語	1通	4								兼20 21	教育効果の充実を図るため教員変更 (27)
	2年英語2(リーディング)	2通	2								兼12 14 12	教育効果を考慮し担当教員追加(26) 教育効果の充実を図るため教員変更 (27)
	2年英語2(オラル)	2通	2								兼17 18 17	教育効果を考慮し担当教員追加(26) 教育効果の充実を図るため教員変更 (27)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
第二 外国 語	1年フランス語(文法)	1通		4							兼4 5	教育効果を考慮し担当教員追加(26)
	1年フランス語(オラル)	1通		2							兼2	
	2年フランス語(講読)	2通		2							兼3 4	教育課程の充実を図るため担当教員を追加(27)
	2年フランス語(会話)	2通		2							兼1 3	教育課程の充実を図るため担当教員を追加(27)
	1年ドイツ語(文法)	1通		4							兼3	
	1年ドイツ語(オラル)	1通		2							兼2	
	2年ドイツ語(講読)	2通		2							兼2	
	2年ドイツ語(会話)	2通		2							兼1	
	1年スペイン語(文法)	1通		4							兼3 4 3	教育効果を考慮し担当教員追加(26) 教育効果の充実を図るため教員変更(27)
	1年スペイン語(オラル)	1通		2							兼1 2	教育効果を考慮し担当教員追加(26)
	2年スペイン語	2通		2							兼2 4	教育効果を考慮し担当教員追加(26)
	1年中国語(文法)	1通		4							兼6 7 6	教育効果を考慮し担当教員追加(26) 教育効果の充実を図るため教員変更(27)
	1年中国語(オラル)	1通		2							兼5	
	2年中国語(講読)	2通		2							兼3 2 1	教育効果を考慮し担当教員変更(26) 教育効果の充実を図るため教員変更(27)
	2年中国語(会話)	2通		2							兼3 4	教育効果を考慮し担当教員追加(26)
	1年コリア語(文法)	1通		4							兼4	
	1年コリア語(オラル)	1通		2							兼3 2	教育効果を考慮し担当教員変更(26)
	2年コリア語	2通		2							兼4 3	教育効果を考慮し担当教員変更(26)
1年日本語1	1前		3							兼4		



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	1年日本語2	1後		3							兼4	
	2年日本語1	2前		2							兼2	
	体育運動学	1通	2								兼11 10	教育効果の充実を図るため教員変更(27)
資格関係分野	教職入門	2・3前			2						兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	社会科教育法1	2・3後			2						兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	社会・地理歴史科教育法1	3前			2						兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	社会・地理歴史科教育法2	3後			2						兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	社会・公民科教育法1	3前			2						兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	社会・公民科教育法2	3後			2						兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	教育実習指導1(中学・高校)	3後			1						兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	教育実習指導4(中学・高校)	4後			1						兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	教育実習1	4通			2						兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	教育実習2	4通			2						兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	教職実践演習(中学・高校)	4後			2						兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
博物館実習	4前後			3						兼2		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。そので、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

<文学部 人間関係学科>

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
14科目	487科目	12科目	513科目	14科目	531科目	12科目	557科目	
				[ 0 ]	[ 44 ]	[ 0 ]	[ 44 ]	

(注)・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

<文学部 人間関係学科>

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	社会心理学特講6	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
2	社会心理学特講9	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
3	社会心理学特講15	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
4	文化人類学特講2	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
5	文化人類学特講4	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
6	文化人類学特講10	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
7	家族社会学2	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
8	社会学特講1	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
9	人格発達心理学	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
10	人格心理学特講1	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
11	比較文化宗教学3	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
12	比較文化学2	2・3・4後	2	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
13	質的調査法2	2・3・4前	2	一般	選択	担当教員が研修年のため
14	国際関係史Ⅱ	2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
15	世界音楽地誌	1・2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
16	日本近現代史Ⅱ-1	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
17	日本近現代史Ⅱ-2	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
18	中国古代文化史	2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
19	朝鮮現代史	2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
20	南アジア現代史	1・2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
21	西アジア文化史	2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
22	東洋陶磁史	1・2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
23	ヨーロッパ中世史Ⅱ	2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
24	ヨーロッパ近代史Ⅱ	2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
25	現代家族法	2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
26	国際法2	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
27	政治学概論[含国際政治]2	2・3・4通	4	一般	選択	担当教員の退職による
28	現代国際政治Ⅴ	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
29	現代国際政治Ⅵ	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
30	行政学	2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
31	国際連合論	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
32	アメリカ外交論	1・2・3・4通	4	一般	選択	担当教員の退職による
33	東アジアの社会と文化(2)	1・2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
34	中国事情(2)	1・2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
35	Contemporary American Culture(1)	2・3・4前	2	一般	選択	担当教員の退職による
36	Contemporary American Culture(2)	2・3・4後	2	一般	選択	担当教員の退職による
37	アジア文化論	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
38	認知心理学特講3	2・3・4前	2	一般	選択	授業計画作成上の理由による
39	臨床心理学特講3	2・3・4後	2	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
40	臨床心理学特講4	2・3・4前	2	一般	選択	担当教員が研修年のため
41	運動学1	2・3・4前	1	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
42	運動学2	2・3・4後	1	一般	選択	担当教員が研修年のため

43	中国古典への招待	1・2・3・4後	2	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
44	中国思想への招待	1・2・3・4後	2	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
45	児童福祉論	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
46	アラビア語の世界	1・2・3・4通	4	一般	選択	「トルコ語の世界」に変更
47	健康な生活と健康科学	1・2・3・4前	2	一般	選択	担当教員が研修年のため
48	ポップカルチャー	1・2・3・4前	2	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
49	チェコ語の世界	1・2・3・4通	4	一般	選択	「ロシア語入門」に変更
50	ジェンダー学6-1	1・2・3・4後	2	一般	選択	「ジェンダー学2-2」に吸収
51	ことばの世界	1前	2	一般	選択	「日本語の世界」と交互開講のため
52	哲学演習 I	2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
53	哲学演習IV	2・3・4通	4	一般	選択	授業計画作成上の理由による
54	哲学史演習 I	2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
55	倫理学演習 I	2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
56	美学・芸術学演習 I	2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
57	キリスト教学演習 I	2・3・4通	4	一般	選択	担当教員の退職による
58	社会思想史 I	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
59	哲学概論 I	1・2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
60	哲学概論 II	1・2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
61	哲学概論IV	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
62	倫理学概論 I	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
63	倫理学概論 II	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
64	倫理学概論IV	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
65	哲学・倫理学特講III	2・3・4前	2	一般	選択	授業計画作成上の理由による
66	西洋古代・中世哲学史 I	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
67	日本倫理思想史 I	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
68	宗教思想史 I	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
69	美学・芸術学特講 V	2・3・4前	2	一般	選択	担当教員の研修年による
70	美学・芸術学特講 VI	2・3・4後	2	一般	選択	担当教員の研修年による
71	西洋美術史 I	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
72	西洋美術史 II	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
73	キリスト教学概論 I	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
74	新約聖書学	2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
75	旧約聖書学 I	2・3・4前	2	一般	選択	担当教員の退職による
76	旧約聖書学 II	2・3・4後	2	一般	選択	担当教員の退職による
77	キリスト教倫理学 I	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
78	キリスト教音楽	2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
79	キリスト教思想史 II	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
80	キリスト教学特講 II	2・3・4通	4	一般	選択	隔年開講
81	教育学特講2	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
82	教育学特講7	2・3・4後	2	一般	選択	授業計画作成上の理由による
83	教育学特講8	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
84	英語文化論[翻訳実践]1	2・3・4前	2	一般	選択	隔年開講
85	英語文化論[翻訳実践]2	2・3・4後	2	一般	選択	授業計画作成上の理由による
86	英語文化論[児童文学]2	2・3・4後	2	一般	選択	隔年開講
87	Leadership for Sustainable Development 1	2・3・4後	2	一般	選択	担当教員が研修年のため
88	Leadership for Sustainable Development 2	2・3・4前	2	一般	選択	担当教員が研修年のため

89	2年英文演習2-1	1前	2	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
90	2年英文演習2-2	1後	2	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
91	キリスト教学 I-3	1・2通	4	一般	選択	担当教員の退職による
92						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

<文学部 人間関係学科>  
 (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	ボランティア研究演習1	2	3・4前	一般	選択	記載誤りにより削除
2	ボランティア研究演習2	2	3・4後	一般	選択	記載誤りにより削除
3	西洋教育史2	2	2・3前	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
4	日本教育史1	2	2・3前	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
5	日本教育史2	2	2・3後	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
6	社会学概論1	2	2・3後	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
7	社会学概論2	2	2・3後	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
8	教育心理学	2	2・3前	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
9	教育課程方法論	2	2・3後	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
10	教育情報学	2	2・3前	一般	選択	教職課程認定における指導により科目削除
11	比較文化学特講	4	2・3・4通	一般	選択	「比較文化学特講6・7」に吸収
12	3・4年英語	2	3・4通	一般	選択	「Advanced English Studies (1)・(2)」に吸収
13	現代社会と環境	2	1・2・3・4前	一般	選択	「環境と経済」に吸収
14	科学史1	2	1・2・3・4後	一般	選択	「進化論の世界」に吸収
15	科学史2	2	1・2・3・4後	一般	選択	「進化論の世界」に吸収
16	金融のしくみ	2	1・2・3・4前	一般	選択	「暮らしのファイナンス」に吸収
17	情報産業論	2	1・2・3・4前	一般	選択	「ジャーナリズムの現在」に吸収
18	視聴覚教育1	2	1・2・3・4後	一般	選択	「教育メディア論」に吸収
19	視聴覚教育2	2	1・2・3・4後	一般	選択	「教育メディア論」に吸収

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

<文学部 人間関係学科>

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

人間関係学科が開講主体となる未開講科目(1~13)は、ほとんどが隔年開講を予定しており、かつ配当年次が1~4年次または2~4年次であるので、史学科に所属する学生には受講の機会が保証されている。授業担当者が研修年のため未開講になった13も来年度には開講される。また12については、この分野の授業科目として、今年度「比較文化学1」「比較文化学特講1~7」が開講されており、充分補うことができる。人間関係学科以外の未開講科目(14以下)も、ほとんどが隔年開講を予定しており、かつ配当年次も複数学年に及ぶので、受講の機会は保証されている。また廃止科目の開講主体は、11を除きすべて人間関係学科以外であり、人間関係学科としての学位プログラム自体には、ほとんど影響しない。11は「未開講の理由、代替措置の有無」欄にあるように、代替の授業科目を開講した。今年度未開講科目が隔年開講であること等については、年度始めの履修ガイダンスにおいて説明した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<文学部 人間関係学科>

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \frac{111}{513} = 0.22$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積：4,201㎡ 借用期間：期間なし		
	校舎敷地	44,753㎡	— ㎡	— ㎡	44,753㎡			
	運動場用地	4,424㎡	— ㎡	— ㎡	4,424㎡			
	小 計	49,177㎡	— ㎡	— ㎡	49,177㎡			
	そ の 他	34,640㎡	— ㎡	— ㎡	34,640㎡			
	合 計	83,817㎡	— ㎡	— ㎡	83,817㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		25,446㎡ ( 25,446 ㎡)	— ㎡ ( — ㎡)	— ㎡ ( — ㎡)	25,446㎡ ( 25,446 ㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
		37室	20室	21室	11室 (補助職員 9 人)	1室 (補助職員 1 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		文学部 人間関係学科			7 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機械・器具	標 本	大学全体での共用分 図書 248,443 [87,884] (233,664 [85,392]) 学術雑誌 ※バックナンバーによる種類数増 加のため(26) 1,701 [750] 1,701 [743] (1,680 [745])
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	文学部 人間関係学科	30,790 [5,875] <del>(28,978 [5,617])</del> <del>(28,968 [5,617])</del>	243 [93] 240 [91] 234 [86] <del>(236 [86])</del> <del>(233 [87])</del>	2,900 [2,900] 1,070 [1,070] (2,742 [2,742])	247 245 229 ( 243 )	80 ( 80 )	0 ( 0 )	
計	30,790 [5,875] <del>(28,978 [5,617])</del> <del>(28,968 [5,617])</del>	243 [93] 240 [91] 234 [86] <del>(236 [86])</del> <del>(233 [87])</del>	2,900 [2,900] 1,070 [1,070] (2,742 [2,742])	247 245 229 ( 243 )	80 ( 80 )	0 ( 0 )	視聴覚資料 ※積極的に収集したため 増加(26) 共用分は不要資料除籍 による点数減少 5,800 (5,384) 6,265 (6,261) 機械・器具 50 (42) 50 (41)	
(6) 図 書 館		面 積	閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
		3,963㎡	347		517,389			
(7) 体 育 館		面 積	体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体	
		1,442㎡	テニスコート 5 面					

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費、図書購入費、設備購入費は大学全体（文学部）の経費。なお、図書購入費には電子ジャーナルデータベース費（運用コスト含む）を含む。開設前年度の設備購入費はPC入替え、寮エアコンの更新等前倒しでの対応により予定より増加した。(26) 開設年度の数値の変更は実績によるもの。(27)	
		教員1人当り研究費等	405千円 440千円	千円	図書購入費	60,000千円	60,000千円	千円		
		共同研究費等	5,500千円 6,300千円	千円	設備購入費	113,000千円 17,000千円	12,000千円 17,000千円	千円		
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	1,386千円	970千円	970千円	990千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。



#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	聖心女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
文学部	年	人		人					入学時は文学部としての一括募集。 2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に収容する。  平成25年度より学生募集停止
英語英文学科	4	90	2年次6人	378	学士(英語英文学)	1.15	平成19年度	東京都渋谷区広尾4丁目3番1号	
日本語日本文学科	4	45	2年次6人	198	学士(日本語日本文学)	1.15	平成3年度	同上	
歴史社会学科	4	—	2年次6人	—	学士(史学)	—	昭和23年度	同上	
					学士(人間関係)				
					学士(国際交流)				
史学科	4	55	2年次2人	226	学士(史学)	1.15	平成26年度	同上	
人間関係学科	4	55	2年次2人	226	学士(人間関係)	1.15	平成26年度	同上	
国際交流学科	4	60	2年次2人	246	学士(国際交流)	1.15	平成26年度	同上	
哲学科	4	40	2年次4人	172	学士(哲学)	1.14	昭和23年度	同上	
心理学科	4	55	2年次4人	232	学士(心理学)	1.15	平成26年度	同上	
教育学科 教育学専攻	4	25	2年次4人	364	学士(教育学)	1.15	昭和32年度	同上	
教育学科 初等教育学専攻	4	40	—	80	学士(初等教育学)	1.14	昭和32年度	同上	

大学の名称	聖心女子大学大学院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地
大学院文学研究科 (修士課程)	年	人	年次人	人		倍		
英語英文学専攻	2	10	—	20	修士(英語英文学)	0.35	平成16年度	東京都渋谷区広尾4丁目3番1号
日本語日本文学専攻	2	5	—	10	修士(日本語日本文学)	0.00	平成16年度	同上
史学専攻	2	5	—	10	修士(史学)	0.20	昭和27年度	同上
哲学専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士(哲学)	0.42	平成11年度	同上
社会文化学専攻	2	6	—	12	修士(社会文化学)	0.25	平成16年度	同上
人間科学専攻 (博士後期課程)	2	12	—	24	修士(人間科学)	0.50	平成7年度	同上
社会文化学専攻	3	2	—	6	博士(社会文化学)	0.17	平成18年度	同上
人文学専攻	3	4	—	12	博士(文学)	0.25	平成13年度	同上
人間科学専攻	3	2	—	6	博士(人間科学) 博士(心理学)	0.50	平成9年度	同上

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めず。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成26年4月)	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年4月)	該当なし		該当なし	該当なし

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

＜文学部 人間関係学科＞

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① オ(4)副専攻とリベラルアーツ総合プログラム            本学では、基礎課程と専攻課程(各学科)の2部構成の教育課程を持っているが、総合的教養教育の充実をはかるための副次的教育課程として、副専攻とリベラルアーツ総合プログラム(仮称)を持つ。</p> <p>②ケ 入学者選抜の概要            (1) アドミッションポリシー            本学の公式ホームページ、ガイドブック等で公開しているアドミッションポリシーは、以下の通りである。            「幅広い教養と高度な専門性を身につけた自立的・実践的な女性をめざし、自ら学ぶ意欲をもった皆さんを受け入れるために、私たちは、3教科方式の入試のほか、総合小論文方式、アドミッションズ・オフィス入試、推薦入試、帰国子女入試、外国人留学生入試、編入学試験など、面接を含むさまざまな選抜方法を用意して、一人一人の受験生に丁寧に向き合おうとしています。3教科方式の入試で記述式の問題の多いことにもそれは表れています。            また、私たちは、無限の可能性を持つ受験生の皆さんに、入学前に急いで進路・専攻を決めることを求めません。受験の際には学科専攻を決めず、入学後の日々の勉学を通して、2年次からどの学科専攻で学ぶかを考える方式を採っています。」</p>	<p>①オ(4)副専攻とリベラルアーツ総合プログラム平成26年10月7日の教授会において、平成27年度から開始する「総合リベラル・アーツ副専攻」について、より詳しく具体的な内容と運営方法について定めた(別紙教授会資料参照)。これにもとづき、同年11月25日のジェネラルレクチャーで、1年次生を対象として副専攻の概要についての説明を行い、平成27年4月3日には、より詳しく副専攻のガイダンスを行った。なお、別紙資料にもあるように、新2年次生の「総合リベラル・アーツ副専攻」は後期開始時としたので、登録者数については未定である。</p> <p>②ケ(1)アドミッションポリシー            「平成27年度大学入学者選抜実施要領」(平成26年5月28日付)に「入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)」については、求める学生像だけでなく、高等学校で履修すべき科目や取得しておくことが望ましい資格等を列挙するなど「何をどの程度学んできて欲しいか」をできる限り具体的に明示する。なお、明示する科目・資格等は、高等学校教育の内容・水準に十分配慮したものとす。」とあるのに基づき、入試委員会・教授会でアドミッション・ポリシーの見直しを行い、以下のように改訂した。            〈アドミッション・ポリシー〉—このような人に入学者としてほしいと願っています—            聖心女子大学では、大学の理念に共感し、国際化した社会のなかで自立した女性として実践的に活動することをめざし、そのための幅広い教養と高い専門性、柔軟な思考力と的確な判断力を身につけよう并希望する皆さんに入学していただきたいと願っています。            そのため、高等学校では国語、外国語、地理歴史、公民はもとより、数学、理科など、あらゆる授業科目の履修を通じて、また授業以外でも課外活動、読書などを通じて、積極的に興味・関心の幅を広げてください。そうした主体的な学習姿勢こそが、本学入学後の学修に大いに役立ちます。            さらに、聖心女子大学では、自らの興味・関心に基づいて調べたことや、それらについての意見を正確に発信し、議論する力も重要だと考えています。そのため高校時代には、興味・関心のある事柄について自ら調べ、それを体験し、また論理的に考え、書き、話す力、すなわち論理的思考力とコミュニケーション能力を養っておくことが望まれます。            このような学習姿勢や能力を身につけたみなさんに入学していただくため、聖心女子大学では、次の3つの方針を掲げています。            1 皆さんに聖心女子大学をより良く知っていただく機会を広く設けます。そのためにオープンキャンパスや大学ウェブサイトなどによって、在学生や教員のようなさまざまな形でご紹介していきます。            2 一人ひとりの受験生に丁寧に向き合います。そのために3教科入試をはじめ、さまざまな入試方法を用意し、どの入試でも文章を書いてもらい、またA0入試などではじっくりと面接を行うことなどによって、皆さんの「発信力」に耳を傾けます。            3 聖心で学びたい、という気持ちを大切にします。そのために学科・専攻を入学時に決めるのではなく、入学後の日々の勉学を通して、自分にふさわしい方向性を見出し、2年次に学科・専攻を決める、そのような制度を採用しています。</p>

③テ 管理運営

本学の教学面での管理運営は、「聖心女子大学教授会規程」および「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」等により定められている。

(1) 教授会

教授会は学長が招集し、その議長となる。構成は、副学長、専任の教授、准教授及び講師をもって組織する。定例教授会は月1回開催し、学長が必要と認めるとき、教授会構成員の3分の1以上から要求のある時には臨時教授会を開催することができる。審議事項は以下の通りである。

「教育、研究及び授業に関する事項」「教育課程に関する事項」「学生の入学、編入学、転入学、再入学、学士入学、休学、復学、留学、転学、及び退学に関する事項」「科目等履修生、研究生及び外国人留学生に関する事項」「学生の単位認定及び卒業に関する事項」「学生の賞罰に関する事項」「学生の厚生補導に関する事項」「教員の人事に関する事項」「学則その他諸規則に関する事項」「学長の諮問する事項」「その他教授会の必要と認める事項」

(2) 「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」に基づく委員会

以下の委員会は、教授会に提出する議題の素案を審議するとともに、大学の運営に関する事項のうち、教授会から委託された事項について審議する。

〈教務委員会〉

教務委員会は、学務担当副学長、本学専任教員のうち各学科の推薦に基づき学長が指名する委員8名をもって構成する。審議事項は以下の通りである。

「教育課程（カリキュラム）の編成及び履修に関する事項」「教育内容及び教育方法の改善（ファカルティ・ディベロップメントを含む）に関する事項」「教育課程実施の年間計画に関する事項」「授業、定期試験及び授業時間割の編成に関する事項」「学生の学科・専攻の所属に関する事項」「学生の転科に関する事項」「学生の成績評価及び単位認定に関する事項」「学生の卒業認定に関する事項」「科目等履修生及び研究生に関する事項」「他大学との単位互換及び高等学校への授業提供に関する事項」「教員の配置に関する事項」「非常勤講師枠の配当に関する事項」「その他委員会が必要と認める事項」

〈学生委員会〉

学生委員会は、学生担当副学長、本学専任教員のうち各学科の推薦に基づき学長が指名する委員8名をもって構成する。審議事項は以下の通りである。

「学生の学籍に関する事項」「学生行事、課外活動に関する事項」「学生の生活指導及び新入生オリエンテーションに関する事項」「学生の保健、奨学生選考、アルバイト等福利厚生に関する事項及び奨学生関係諸規定に関する事項」「その他委員会が必要と認める事項」

③テ管理運営

平成27年4月1日施行の新学校教育法にしたがって、平成26年度後半に、学長の決定権の担保、学長と教授会との関係の明確化、懲戒手続の明確化などに係る「聖心女子大学学則」の関係部分を改訂し、これと連動して、「聖心女子大学教授会規程」以下の各種規程を改定、整備した。

また、教育課程の編成やFD活動等に職員が積極的に関わるといふ趣旨から、「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」を改訂し、教務委員会・学生委員会の構成員に事務局長を加え、「聖心女子大学FD協議会内規」を制定、施行した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）

及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### 7 その他全般的事項

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

本学は、従来から学部単位で教員の資質の維持向上の方策に取り組んでおり、平成26年4月より文学部内に新設された史学科、人間関係学科、国際交流学科、心理学科についても、文学部の既存学科と併せて実施することとしている。

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

教務委員会のもとに、FD協議会が置かれている。教務委員会の構成員については、平成26年8月1日改正施行の「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」において、学務担当副学長、各学科の委員8名に加え、事務局長を委員とした。FD協議会は、同上規程第2条に定められた教務委員会の審議事項のうち、「教育内容及び教育方法の改善（ファカルティ・ディベロップメントを含む）に関する事項」を扱う組織として位置づけられている。平成26年8月1日には「聖心女子大学FD協議会内規」を新たに制定・施行し、その協議事項を定めるとともに、構成員については、上記教務委員会の委員と学務事務部教務課長とした。

###### b 委員会の開催状況

原則として月1回開催（平成26年度は9回開催）。

###### c 委員会の審議事項等

「聖心女子大学FD協議会内規」第2条に、

- (1) 教育内容及び教育方法の改善に関する事項
- (2) 学生による授業評価等を通じた学習時間、学習成果等についての情報の収集及び文書に関する事項
- (3) 教員を対象とする研修（教育内容・方法の改善、教育研究、社会貢献、管理業務等）に関する事項
- (4) その他協議会が必要と認める事項

と定められている。

具体的には、学生による授業評価の方法、授業評価をもとにした各教員・各学科・全学各レベルでの授業報告書のとりまとめと内容の検討、研修会の立案、研修会参加者に対するアンケート調査の実施と結果の分析等を扱う。

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

- i 学生による授業評価に基づく授業報告書の作成、検討、公表
- ii FD研修会の実施
- iii 新任教員対象の研修会
- iv 科研費の取得・使用に係る説明会・講演会

###### b 実施方法

i ③で述べる学生による授業評価アンケートをふまえ、年度末に専任教員全員が、担当授業のうち1～3科目について授業報告書（様式は別紙参照）を作成、学科内で回覧した後、FD協議会のメンバーでもある教務委員が集約して、学科全体の授業報告書を作成し、各教員の授業報告書とともに、学務担当副学長に提出する。

学務担当副学長は、これらの授業報告書を読んだうえで、全体の状況や、各学科での特徴ある取り組みなどを摘記し、これと、学科ごと、教員ごとの授業報告書をまとめた『「学生による授業評価」に基づく授業報告書』を作成し、FD協議会での検討を経て、その冊子を学内の教職員、学生に公表する。

ii FD協議会が企画立案し、研修会・講演会等を行う。

iii 日本私立大学連盟主催の新任専任教員向けFD推進ワークショップ「大学教員の職能開発とFD」に新任の若手教員を派遣する。

iv 学内で科研費の管理を所管する企画部で企画、立案する。

###### c 開催状況

ii ①平成25年度後半に導入したグループウェア「Google Apps」（学内名「USH-Cloud」）の活用方法について、情報化推進プロジェクトチームのリーダーを講師とした研修を、教職員対象に2回、教員対象に5回行った。期日・おもな内容・参加教職員数は下記の通り。

回数 開催日 おもな内容 参加教職員数

- 1 4月8日 アンケートの作成と活用 教員61名
- 2 5月20日 PCとのファイル共有と取り扱い方 教員58名
- 3 6月10日 映像配信 教員61名
- 4 7月8日 個人でサイトを構築する 教員62名
- 5 10月7日 Web会議システム(Live On)の活用 教員59名
- 6 11月11日 USH-Cloudのセキュリティ 教員60名

② FDIに関する研修会として、8月1日にキャンパスの沿革（江戸時代から現代まで）についての講演（講師史学科教授佐々木恵介）と、BS朝日で放映された「旧久邇宮邸」の鑑賞を行った。参加教職員59名。

③ FD協議会とハラスメント防止委員会の共催で、2月19日に講演会「ハラスメントにならない伝え方、指導法」（講師NPO法人アサーティブジャパン代表森田汐生氏）を実施した。参加教職員61名。なお、この講演会については参加者にアンケートを実施し、その結果をFD協議会・ハラスメント防止委員会で共有するとともに、今後のFD研修会開催のための検討材料とした。

iii 平成24年度2名、平成25年度1名、平成26年度1名

iv 科研費に係る説明会、説明会の平成26年度における開催状況は以下の通り。

・ 科研費の使用に係る説明会

開催日：平成26年7月8日

参加者：教員12名、職員5名、計17名

・ 科研費の取得に係る講演会

開催日：平成26年7月12日

演題：「科研費の制度について」

講師：文部科学省振興局学術研究助成課課長補佐

参加者：教員17名、職員6名、計23名

- d 実施状況を踏まえた授業改善への取組状況
- i bに記したように、学生による授業評価アンケートに基づき、各教員が授業報告書を作成するが、これらは各学科内で回覧され、教務委員がその内容を集約して、効果的な授業方法や、取り組むべき課題を学科ごとの授業報告書に記載し、学科内で共有するようにしている。さらに全学的な課題については、教務委員会で検討されるが、とくに授業報告書の中で意見、要望が多い教室の施設・設備等については、平成27年度中にその整備をはかるためのプロジェクトチームを設置する予定である。
- また、平成26年8月1日には、IR推進センターが発足したので、アンケート中の学生の学修時間に関するデータを提供して、その分析を依頼した(センターでは平成26年12月1日に報告書を経営会議に提出)。
- ii 平成25～26年度の「Google Apps」研修を踏まえ、平成27年度はe-ポート・フォリオの導入を本格的に検討する。
- iv 科研費の取得状況(新規採択及び継続の研究代表者分。学術研究助成基金助成金を含む。)は以下の通り。  
平成24年度：12件(基盤研究7、挑戦的萌芽研究1、若手研究2、研究活動スタート支援1、特別研究員奨励費1)  
平成25年度：13件(基盤研究9、挑戦的萌芽研究1、若手研究2、特別研究員奨励費1)  
平成26年度：15件(基盤研究11、挑戦的萌芽研究2、若手研究2)
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
- 前期・後期の授業最終週に実施。アンケート(様式は別紙参照)を実施するのは、専任教員は担当授業のうち原則として2科目、非常勤講師は担当授業のうち1科目以上。なお、②bのiに記した各教員の授業報告書には、アンケート未実施で、教員がリアクションペーパーなどによって日常的に把握している学生の意見や希望をもとに作成したものも含まれる。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
- アンケートは学務事務部で集計し、結果を授業担当教員に通知する。専任教員は、②bのiに記したように、最終的には年度ごとの『「学生による授業評価」に基づく授業報告書』という冊子の形で、学内の各学科研究室等に配布し、教職員、学生に公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では、設置の趣旨・目的の達成状況について、将来構想・評価委員会を中心とする内部質保証の取り組みの中で点検・評価及び検証を行っており、以下に記述する内容の詳細は、毎年度末に公表している『点検・評価報告書』に記載される予定である。

平成26年度に行われた学科等の改組設置、定員の変更については、平成25年7月以降、文部科学省の指導のもと申請及び認可の時期を慎重に配慮しつつ、パンフレット、募集要項、大学ホームページ等の媒体により、その趣旨・概要の周知に努め、所期の入学定員数を確保することができた。平成26年度には、『聖心女子大学ガイドブック2015』（平成26年4月末）にも掲載し、オープンキャンパスでも積極的に広報を行ったが、その結果、志願者数、入学定員数にやや減少が見られたものの新学科の平均入学定員超過率としては、1.15～1.18倍と適正範囲を保持している。

本学は1年次では全員が文学部基礎課程に在籍し、学科・専攻に分かれるのは2年次からである。したがって認可を受けた学科・専攻及び定員について実際に学生が進学するのは、平成27年度からとなる。本学ではこれに向け、平成26年度には入学後のガイダンス、全1年次生を対象とするジェネラルレクチャーでの学科紹介ガイダンス、選考決定のためのガイダンス等において、改組設置及び定員変更の趣旨・概要を周知徹底した。また、平成25年12月までに新設された史学科、人間関係学科、国際交流学科、心理学科を含む全学科・専攻について、設置の趣旨に基づき「卒業生像」と「履修モデル」の見直しを行った。その結果は平成26年度『履修要覧』、大学ホームページ及び『聖心女子大学ガイドブック2015』等に掲載し、広く周知している。あらゆる機会を捉えて実施されたこれらの指導、広報の方法は適切であると考える。

2年次に進学するための専攻の決定は平成26年11～12月に実施され、学生の希望に基づく学科による選考により、新設学科を含め全学科で適切な数の進学者が確定した。27年4月より、各学科での勉強が順調に始まっている。平成26年11月～27年1月には、将来構想・評価委員会が中心となり、学科の趣旨・概要、卒業生像、履修モデル等の周知、学生の受け入れ方法等につき、学科別に詳細な点検・評価、検証を実施した。その結果、大きな問題点は見出せず、この間の経緯は順調、適切に推移したものと確認された。このほか、平成26年度にはFD協議会内規を定め、FD推進の体制を整備した。

開設する授業科目については、計画段階から若干の変更を生じたが、別項「授業科目を未開講又は廃止としたことに関する『大学の所見』」にあるとおり、やむを得ない事情によるものと認められる。総合リベラル・アーツ副専攻等についても教務委員会を中心に準備を進め、平成27年4月にガイダンスを実施、9月からの本格登録に備えている。以上、若干の変更点はあるが、現時点における設置の趣旨・目的の達成状況は、ほぼ計画通りで適切と考えられる。今後さらにきめ細かい改善を進め、学科新設の効果を高めるよう努めたい。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成28年3月20日

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成28年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で準備中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

(  有  無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成27年 9月 30日 )



# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 聖心女子学院

## (2) 大学名

聖心女子大学

## (3) 大学の位置

〒150-8938  
東京都渋谷区広尾4-3-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ウノ ミエコ) 宇野 三恵子 (現職就任平成22年6月)		
学長	(オカザキ ヨシコ) 岡崎 淑子 (現職就任平成23年10月)		
学務担当 副学長	(ササキ ケイスケ) 佐々木 恵介 (現職就任平成24年4月)		
学生担当 副学長	(スズキ オトシ) 鈴木 乙史 (現職就任平成25年10月)	(カワツ マコト) 川津 誠 (現職就任平成27年4月)	任期満了に伴う平成27年 4月1日付人事異動による 変更(27)
評価・大学院 担当副学長	(キタムラ カズオ) 北村 和夫 (現職就任平成23年10月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学部 国際交流学科 学士(国際交流)	4年	60人	2年次 2人	246人	入学時は文学部としての一括募集。2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に収容する。

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	60 ( - ) [ - ]	-	60 ( 2 ) [ - ]	-	60 ( 2 ) [ - ]	-	60 ( 2 ) [ - ]	-	1.18倍	— 倍	入学時は文学部としての一括募集。2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に収容する。
志願者数	183 ( - ) [ 2 ]	-	175 ( 5 ) [ 2 ]	-	-	-	-	-			
受験者数	176 ( - ) 112	-	166 ( 4 ) [ 2 ]	-	-	-	-	-			
合格者数	2 ( - ) [ 1 ]	-	109 ( 2 ) [ 1 ]	-	-	-	-	-			
B 入学者数	72 ( - ) [ 1 ]	-	67 ( 1 ) [ 1 ]	-	-	-	-	-			
入学定員超過率 B/A	1.20		1.16		—		—				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む。), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 1 ] ( - ) 72	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] ( 1 ) 68	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	入学時は文学部としての一括募集。2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に收容する。
2年次	/		[ 0 ] 0 74	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
3年次	/		/		[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
4年次	/		/		/		[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
計	[ 1 ] ( - ) 72	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] ( 1 ) 142	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	72 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学	1.4 %
			平成27年度	0 人	0 人	該当者なし	
			平成28年度	— 人	— 人		
			平成29年度	— 人	— 人		
平成27年度 入学者	68 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	該当者なし	0 %
			平成28年度	— 人	— 人		
			平成29年度	— 人	— 人		
平成28年度 入学者	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人		— %
			平成29年度	— 人	— 人		
平成29年度 入学者	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人		— %
合 計	140 人	1 人					0.7 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
 (記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
 ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

<文学部 国際交流学科>

### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
専攻課程分野 専攻分野 必修科目	国際交流概論	2通	4			4 3	2 3 4	2				教育効果を考慮し担当教員を追加 (26) 担当教員の退職により教員変更 (27)	
	英語コミュニケーション I (1)	2前	2			±					兼± 2	教育効果の充実に図るため教員変更 (27)	
	英語コミュニケーション I (2)	2後	2			±					兼1	教育効果の充実に図るため教員変更 (27)	
	英語コミュニケーション II (1)	3前	2			±					兼± 3	教育効果の充実に図るため教員数 変更 (27)	
	英語コミュニケーション II (2)	3後	2			±					兼± 3	教育効果の充実に図るため教員数 変更 (27)	
	基礎言語 コミュニケーション	フランス語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
		フランス語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
		フランス語コミュニケーション II (1)	3前		2		1						
		フランス語コミュニケーション II (2)	3後		2		1						
		ドイツ語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
		ドイツ語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
		ドイツ語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1	
		ドイツ語コミュニケーション II (2)	3後		2							兼1	
		スペイン語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
		スペイン語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
		スペイン語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1	
		スペイン語コミュニケーション II (2)	3後		2							兼1	
		中国語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
		中国語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
		中国語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1	
中国語コミュニケーション II (2)		3後		2							兼1		
韓国語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1			
韓国語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1			
韓国語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1			
韓国語コミュニケーション II (2)	3後		2							兼1			
演習 I	法学演習 I (1)	3前		2			1				兼±	担当教員の研修年修了により教員 変更 (26)	
	法学演習 I (2)	3後		2			1				兼±	担当教員の研修年修了により教員 変更 (26)	
	国際政治演習 I (1)	3前		2		1							
	国際政治演習 I (2)	3後		2		1							
	国際経済演習 I (1)	3前		2			1						
	国際経済演習 I (2)	3後		2			1						
	情報科学演習 I (1)	3前		2		1							
	情報科学演習 I (2)	3後		2		1							
異文化間コミュニケーション演習 I (1)	3前		2		±	1					担当教員の退職により教員変更(27)		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
演習Ⅱ	異文化間コミュニケーション演習Ⅰ(2)	3後		2		1	1					担当教員の退職により教員変更(27)
	フランス社会文化演習Ⅰ(1)	3前		2				1				
	フランス社会文化演習Ⅰ(2)	3後		2				1				
	ドイツ社会文化演習Ⅰ(1)	3前		2				1				
	ドイツ社会文化演習Ⅰ(2)	3後		2				1				
	中国社会文化演習Ⅰ(1)	3前		2			1					
	中国社会文化演習Ⅰ(2)	3後		2			1					
	日欧比較思想演習Ⅰ(1)	3前		2		1						
	日欧比較思想演習Ⅰ(2)	3後		2		1						
	法学演習Ⅱ(1)	4前		2			1					
	法学演習Ⅱ(2)	4後		2			1					
	国際政治演習Ⅱ(1)	4前		2		1					兼1	担当教員の退職により教員変更(27)
	国際政治演習Ⅱ(2)	4後		2		1					兼1	担当教員の退職により教員変更(27)
	国際経済演習Ⅱ(1)	4前		2			1					
	国際経済演習Ⅱ(2)	4後		2			1					
	情報科学演習Ⅱ(1)	4前		2		1						
	情報科学演習Ⅱ(2)	4後		2		1						
	異文化間コミュニケーション演習Ⅱ(1)	4前		2		1					兼1	担当教員の退職により教員変更(27)
	異文化間コミュニケーション演習Ⅱ(2)	4後		2		1					兼1	担当教員の退職により教員変更(27)
	フランス社会文化演習Ⅱ(1)	4前		2				1				
	フランス社会文化演習Ⅱ(2)	4後		2				1				
	ドイツ社会文化演習Ⅱ(1)	4前		2				1				
	ドイツ社会文化演習Ⅱ(2)	4後		2				1				
	中国社会文化演習Ⅱ(1)	4前		2			1					
	中国社会文化演習Ⅱ(2)	4後		2			1					
	日欧比較思想演習Ⅱ(1)	4前		2		1						
	日欧比較思想演習Ⅱ(2)	4後		2		1						
領域科目	法律学[含国際法]	1・2・3・4通		4			1					
	民法概論	2・3・4通		4			1					記載誤りのため科目を追加(27)
	現代家族法	2・3・4通		4			1					平成27年度未開講(27)
	国際法1	2・3・4前		2							兼1	
	国際法2	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	取引関係法	2・3・4通		4							兼1	
	政治学概論[含国際政治]1	2・3・4通		4		1						
	政治学概論[含国際政治]2	2・3・4通		4		1						平成27年度未開講(27)
	国際交流特殊講義	2・3・4前後		2		1						授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	現代国際政治Ⅰ	2・3・4通		4		1					兼1	教育効果の充実に図るため教員変更(27)
	現代国際政治Ⅴ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	現代国際政治Ⅵ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実に図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	行政学	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	国際連合論	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 平成27年度未開講(27)
	アメリカ外交論	1・2・3・4通		4		1						教育効果を考慮し、配当年次変更(26) 平成27年度未開講(27)
	経済学概論[含国際経済]	2・3・4通		4			1					
	経済理論入門	2・3・4通		4			1					
国際経済学1	2・3・4前		2							兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	国際経済学2	2・3・4後		2			1					
	開発経済学	2・3・4通		4								兼1
	情報処理入門	2・3・4通		4		1						
	プログラム入門	2・3・4通		4		1						
	コンピュータサイエンス	2・3・4通		4								兼1
	応用情報処理	2・3・4通		4								兼1
	国際コミュニケーション論	2・3・4通		4		1	1					担当教員の退職により教員変更(27)
	異文化間コミュニケーション(1)	2・3・4前		2		1	1					担当教員の退職により教員変更(27)
	異文化間コミュニケーション(2)	2・3・4後		2		1	1					担当教員の退職により教員変更(27)
	国際交流実習1	1・2・3・4前後		2		3 2	2 1	1				兼2 教育効果を考慮し配当年次および教員変更(26) 教育効果を考慮し担当教員および開講時期変更(27)
	フランスの社会と文化(1)	2・3・4前		2				1				
	フランスの社会と文化(2)	2・3・4後		2				1				
	ドイツの社会と文化(1)	2・3・4前		2				1				
	ドイツの社会と文化(2)	2・3・4後		2				1				
	東アジアの社会と文化(1)	1・2・3・4前後		2								兼1 教育効果を考慮し配当年次および開講時期変更(27)
	東アジアの社会と文化(2)	1・2・3・4後		2								兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	ドイツ事情(1)	2・3・4前		2								兼1
	ドイツ事情(2)	2・3・4後		2								兼1
	フランス事情(1)	2・3・4前		2								兼1
	フランス事情(2)	2・3・4後		2								兼1
	中国事情(1)	1・2・3・4後前		2								兼1 教育効果を考慮し配当年次および開講時期変更(27)
	中国事情(2)	1・2・3・4前		2								兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	Contemporary American Culture(1)	2・3・4前		2		1						平成27年度未開講(27)
	Contemporary American Culture(2)	2・3・4後		2		1						平成27年度未開講(27)
	日欧思想交渉史入門(1)	2・3・4前後		2								兼1 授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	日欧思想交渉史入門(2)	2・3・4前		2		1						教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	アジア文化論	2・3・4後		2								兼1 平成27年度未開講(27)
卒業論文	卒業論文	4通	8			4 3	3 4	2				担当教員の退職により教員変更(27)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
専攻課程分野 関連分野 他学科開講科目 (史学)	日本史史料論	2通		4							兼1	
	世界史演習Ⅱ-1	3通		4							兼1	
	世界史演習Ⅱ-2	3通		4							兼1	
	世界史演習Ⅱ-3	3通		4							兼1	
	世界史演習Ⅱ-4	3通		4							兼1	
	世界史演習Ⅱ-5	3通		4							兼1	
	世界史演習Ⅲ-1	4通		4							兼1	
	世界史演習Ⅲ-2	4通		4							兼1	
	世界史演習Ⅲ-3	4通		4							兼1	
	世界史演習Ⅲ-4	4通		4							兼1	
	世界史演習Ⅲ-5	4通		4							兼1	
	古文入門	2・3・4通		4							兼1	
	国際関係史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	国際関係史Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	世界音楽地誌	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26) 平成27年度未開講 (27)
	日本史概説Ⅰ	1・2・3・4前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	日本史概説Ⅱ	1・2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	外国史概説	1・2・3・4通		4							兼4 5	教職課程認定における指導により 追加 (26) 研修年終了により教員追加 (27)
	世界史への招待Ⅰ	1・2・3・4前		2							兼4 5	教育課程の充実を図るため科目を 追加 (26) 研修年終了により教員追加 (27)
	世界史への招待Ⅱ	1・2・3・4後		2							兼4 5	教育課程の充実を図るため科目を 追加 (26) 研修年終了により教員追加 (27)
	外国史概説Ⅰ-1	2・3・4前		2							兼1	教職課程認定における指導により 削除 (26)
	外国史概説Ⅰ-2	2・3・4前		2							兼1	教職課程認定における指導により 削除 (26)
	外国史概説Ⅱ-1	2・3・4後		2							兼1	教職課程認定における指導により 削除 (26)
	外国史概説Ⅱ-2	2・3・4後		2							兼1	教職課程認定における指導により 削除 (26)
	外国史概説Ⅱ-3	2・3・4後		2							兼1	教職課程認定における指導により 削除 (26)
	資料整理実習	3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期 を変更 (26)
	史料講読Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	史料講読Ⅱ	3・4通		4							兼1	
	日本考古学	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	日本民俗学	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	日本古代史Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	日本中世史Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	日本中世史Ⅱ-1	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を 追加 (26)
	日本近世史Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
日本近世史Ⅱ	2・3・4通		4							兼1		



科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	日本近現代史Ⅰ	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	日本近現代史Ⅱ	1・2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	日本近現代史Ⅱ-1	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	日本近現代史Ⅱ-2	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	日本文化史Ⅰ	1・2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	日本文化史Ⅱ	1・2・3・4後前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、り開講時期変更(27)
	中国古代文化史	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	中国近代史	2・3・4通		4							兼1	
	中国古代史	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	朝鮮現代史	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	東南アジア史	2・3・4通		4							兼1	
	南アジア現代史	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26) 平成27年度未開講(27)
	南アジア近代史	2・3・4通									兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	西アジア近代史	2・3・4通		4							兼1	
	西アジア文化史	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	イスラム社会史入門	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	古代オリエント史	2・3・4通		4							兼1	
	古代ローマ史	2・3・4通		4							兼1	
	東洋陶磁史	1・2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	ヨーロッパ中世史Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	ヨーロッパ中世史Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	ヨーロッパ近代史Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	ヨーロッパ近代史Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	ヨーロッパ現代史Ⅰ	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	ヨーロッパ現代史Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	
	ロシア文化史	2・3・4通		4							兼1	
	アメリカ史	2・3・4通		4							兼1	
	ラテンアメリカ史	2・3・4通		4							兼1	
	世界史文献講読Ⅱ-1	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正(27)
	世界史文献講読Ⅱ-2	2・3・4後		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正(27)
	世界史文献講読Ⅲ-1	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正(26)
	世界史文献講読Ⅲ-2	2・3・4後		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正(26)
	世界史文献講読Ⅳ-1	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正(26)
	世界史文献講読Ⅳ-2	2・3・4後		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正(26)
	世界史文献講読Ⅴ-1	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正(26)
	世界史文献講読Ⅴ-2	2・3・4後		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正(26)
	世界史文献講読Ⅵ-1	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正(26)
	世界史文献講読Ⅵ-2	2・3・4後		2							兼1	記載誤りのため配当年次修正(26)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
他 学 科 開 講 科 目 ( 人 間 関 係)	対人社会心理学1	2前		2							兼1	
	マスコミ社会心理学1	2後前		2							兼1	担当教員が研修年のため開講時期変更 (26) 研修年終了のため開講時期変更 (27)
	人格心理学1	2前		2							兼1	
	家族社会学1	2後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)
	職業社会学1	2後		2							兼1	
	文化人類学1	2後前		2							兼1	担当教員が研修年のため開講時期変更 (27)
	社会調査入門	2前		2							兼7 5	研修年または副学長就任のため教員数変更 (26)
	比較文化学1	2前		2							兼1	
	社会心理学特講1	2・3・4前		2							兼1	
	社会心理学特講2	3・4前		2							兼1	
	社会心理学特講3	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	社会心理学特講4	2・3・4前		2							兼1	
	社会心理学特講6	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	社会心理学特講9	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	社会心理学特講11	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)
	社会心理学特講14	3・4前		2							兼1	
	社会心理学特講15	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	文化人類学特講2	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)
	文化人類学特講4	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	文化人類学特講5	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	文化人類学特講6	2・3・4前		2							兼1	
	文化人類学特講7	2・3・4後		2							兼1	
	文化人類学特講10	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	文化人類学特講11	2・3・4前		2							兼1	
	文化人類学特講12	2・3・4後		2							兼1	
	人文地理学1	2・3・4前		2							兼1	
	人文地理学2	2・3・4後		2							兼1	
	自然地理学1	2・3・4前		2							兼1	
	自然地理学2	2・3・4後		2							兼1	
	地誌学1	2・3・4前		2							兼1	
	地誌学2	2・3・4後		2							兼1	
	社会学	2・3・4通		4							兼1 2	教育課程の充実を図るため担当教員を追加 (27)
	マス・コミュニケーション論	2・3・4前		2							兼1	
	家族社会学2	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	職業社会学2	2・3・4前		2							兼1	
	キャリア形成の社会学	2・3・4前		2							兼1	
社会学特講1	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)	
社会学特講2	2・3・4前		2							兼1		
社会学特講3	2・3・4後		2							兼1		
社会学特講4	2・3・4前		2							兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	交流分析概論	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため削除 (26)
	人格心理学特講1	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため削除 (26)
	人格心理学特講4	3・4後		2							兼1	記載誤りのため削除 (26)
	人格臨床心理学特講2	2・3・4後		2							兼1	記載誤りのため削除 (26)
	人格臨床心理学特講4	3・4後		2							兼1	記載誤りのため削除 (26)
	比較文化宗教学1	2・3・4後		2							兼1	廃止 (26)
	比較文化宗教学2	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	比較文化宗教学3	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)
	比較文化学特講	2・3・4通		4							兼1	廃止 (27)
	比較文化学特講1	2・3・4後		2							兼1	
	比較文化学特講2	2・3・4前		2							兼1	
	比較文化学特講3	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)
	比較文化学特講4	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)
	比較文化学特講5	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	比較文化学特講6	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	比較文化学特講7	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	比較文化学2	2・3・4 3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、および開講時期変更(26) 記載誤りによる配当年次修正および平成27年度未開講(27)
	社会調査の技法1	2・3・4前		2							兼1	
	社会調査の技法2	2・3・4前		2							兼1	
	社会統計学	2・3・4後		2							兼1	
	質的調査法1	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	質的調査法2	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
他 学 科 開 講 科 目 ( 心 理 学)	心理学史	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	認知心理学特講1	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	認知心理学特講3	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	認知心理学特講4	2・3・4前		2							兼1	
	認知心理学特講5	22・3・4 前後		2							兼1	教育効果を考慮し、配当年次変更 (26) 教育効果を考慮し配当年次変更、開講時期を変更(27)
	認知心理学特講6	3・4前		2							兼1	
	認知心理学特講7	3・4後		2							兼1	
	認知心理学特講8	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	発達心理学特講1	2・3・4 後前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	発達心理学特講2	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	発達心理学特講3	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	発達心理学特講4	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	発達心理学特講5	3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	発達心理学特講6	3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	発達心理学特講7	3・4前		2							兼1	
	発達心理学特講8	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)
	臨床心理学特講1	2・3・4後		2							兼1	
	臨床心理学特講2	2・3・4後		2							兼1	
	臨床心理学特講3	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26) 平成27年度未開講 (27)
	臨床心理学特講4	2・3・4前		2							兼1	担当教員の身分昇格 (26) 平成27年度未開講 (27)
	臨床心理学特講5	2・3・4後		2							兼1	
	臨床心理学特講6	2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し、配当年次変更 (26)
	臨床心理学特講7	2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、 授業運営上の都合により開講時期変更 (26)
	臨床心理学特講8	2・3・4後		2							兼1	
	発達心理学1	2・3・4前		2							兼1	
	発達心理学2	2・3・4前		2							兼1	
	基礎課程科目	基礎課程演習	1前		2		3 1	1 3	1			兼23 24
	アジア史入門	1前		2							兼2	廃止 世界史への招待 I・IIへ吸収 (26)
	人間関係入門	1前		2							兼7 6	担当教員が研修年のため教員数変更 (26)
	国際交流入門	1前		2		4	3 4	2				担当教員の退職により教員変更 (27)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	心理学入門	1前		2							兼7 6	担当教員が研修年のため教員数変更(27)
	英語の世界	1前		2							兼10 6	平成26年度未開講 教育効果の充実を図るため教員数変更(27)
総合現代教養科目	3・4年英語	3・4通		2							兼1	廃止 Advanced English Studies (1)・(2)に吸収(27)
	運動学1	2・3・4前		1							兼1	平成27年度未開講 (27)
	運動学2	2・3・4後		1							兼1	平成27年度未開講 (27)
	運動学3	2・3・4後		1							兼1	
	憲法1	1・2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	憲法3	1・2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	女性とキャリア形成	2・3・4前		2							兼1	
	国際平和と開発援助	2・3・4前		2							兼1	
	地球化時代のNGO	1・2・3・4前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	人間の安全保障	1・2・3・4 後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	中国古典への招待	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講(27)
	中国思想への招待	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講(27)
	現代社会と環境	1・2・3・4前		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 環境と経済に吸収(27)
	現代の脳科学	1・2・3・4後		2							兼1	
	科学史1	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 進化論の世界に吸収(27)
	科学史2	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 進化論の世界に吸収(27)
	社会福祉論	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	児童福祉論	1・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、 授業運営上の都合により開講時期変更(26) 平成27年度未開講(27)
	ベートルズの詩と音楽	1・2・3・4前後		2							兼1	平成26年度未開講
	情報活用演習	1・2・3・4前後		2							兼6	
	情報ネットワーク演習	2・3・4前		2							兼1	
	日本の伝統文化	1・2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	アラビア語の世界	1・2・3・4通		4							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講(27)
金融のしくみ	1・2・3・4前		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 暮らしのファイナンスに吸収(27)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	聖心スピリットと共生	1・2・3・4後		2							兼1	
	健康な生活と健康科学	1・2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	情報産業論	1・2・3・4前		2							兼3	平成26年度未開講 廃止 ジャーナリズムの現在に吸収 (27)
	ポップカルチャー	1・2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26) 平成27年度未開講 (27)
	キャリアデザイン入門	2・3前後		2							兼2	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)
	チェコ語の世界	1・2・3・4通		4							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講 (27)
	災害と人間	1・2・3・4前		2							兼9 8 6	授業内容充実のため担当教員変更 (26) 教育効果の充実を図るため教員変更 (27)
	現代を考える	1・2・3・4前		2							兼1	
	トルコ語の世界	1・2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	暮らしのファイナンス	1・2・3・4後前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	環境と経済	1・2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	進化論の世界	1・2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	ジャーナリズムの現在	1・2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	ロシア語入門	1・2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	ボランティア体験の振り返り	1・2・3・4後前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	Advanced English Studies (1)	3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced English Studies (2)	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced French Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced French Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced German Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced German Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Spanish Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Spanish Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Chinese Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Chinese Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Korean Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	Advanced Korean Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	ジェンダー学1	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)
	ジェンダー学2-1	1・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次および開講時期変更 (27)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
他学科 開講科目 (日本語 日本文学)	ジェンダー学2-2	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	ジェンダー学3-1	2・3・4前		2							兼1	
	ジェンダー学5-1	1・2・3・4前		2							兼1	
	ジェンダー学5-2	2・3・4後		2							兼1	
	ジェンダー学6-1	1・2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	ジェンダー学6-2	2・3・4前		2							兼1	
	ジェンダー学6-3	2・3・4前		2							兼1	
	ボランティア研究概論1	2・3・4前		2							兼1	
	ボランティア研究概論2	2・3・4後		2							兼1	
	ボランティア研究演習1	3・4前		2							兼1	記載誤りのため削除 (27)
	ボランティア研究演習2	3・4後		2							兼1	記載誤りのため削除 (27)
	日本文学史Ⅰ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)
	日本文学史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	日本文学史Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	日本文学史Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	
	日本文学史Ⅴ	2・3・4前		2							兼1	
	日本文学史Ⅵ	2・3・4 後前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26) 授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	日本語学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	日本語学概論Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	日本語史概説Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	日本語史概説Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究Ⅴ	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究Ⅵ	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究Ⅶ	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究Ⅷ	2・3・4後		2							兼1	
	近代文学研究Ⅰ	2・3・4後		2							兼1	
	近代文学研究Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	近代文学研究Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
近代文学研究Ⅳ	2・3・4後		2							兼1		
近代文学研究Ⅴ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)	
近代文学研究Ⅵ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)	
日本語学研究Ⅰ	2・3・4後		2							兼1		
日本語学研究Ⅱ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)	
日本語学研究Ⅲ	2・3・4前		2							兼1		
日本語学研究Ⅳ	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)	
古典文学講読Ⅰ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)	
言語学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1		
言語学概論Ⅱ	2・3・4後		2							兼1		
対照言語学Ⅰ	3・4前		2							兼1		
対照言語学Ⅱ	3・4後		2							兼1		



科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
他 学 科 開 講 科 目 ( 哲 学)	文芸創作入門	2・3・4通		4								兼1
	書道Ⅰ	2・3・4前		2								兼1 記載誤りのため削除 (26)
	書道Ⅱ	2・3・4後		2								兼1 記載誤りのため削除 (26)
	中国文学概論Ⅰ	2・3・4前		2								兼1
	中国文学概論Ⅱ	2・3・4後		2								兼1
	古典文学の世界	1前		2								兼1 記載誤りのため追加 (26)
	近代文学の世界	1前		2								兼1 記載誤りのため追加 (26)
	ことばの世界	1前		2								兼1 記載誤りのため追加 (26) 平成27年度未開講 (27)
	日本語の世界	1前		2								兼1 記載誤りのため科目を追加 (27)
	哲学演習Ⅰ	2・3・4通		4								兼1 平成27年度未開講 (27)
	哲学演習Ⅱ	2・3・4通		4								兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	哲学演習Ⅲ	2・3・4通		4								兼1
	哲学演習Ⅳ	2・3・4通		4								兼1 平成27年度未開講 (27)
	哲学演習Ⅴ-1	2・3・4前		2								兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	哲学演習Ⅵ-2	2・3・4後		2								兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	哲学演習Ⅶ-1	2・3・4前		2								兼1
	哲学演習Ⅶ-2	2・3・4後		2								兼1
	哲学史演習Ⅰ	2・3・4通		4								兼1 平成27年度未開講 (27)
	哲学史演習Ⅱ	2・3・4通		4								兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	倫理学演習Ⅰ	2・3・4通		4								兼1 平成27年度未開講 (27)
	倫理学演習Ⅱ	2・3・4通		4								兼1
	倫理学演習Ⅲ	2・3・4通		4								兼1
	日本思想史学演習Ⅰ	2・3・4通		4								兼1
	美学・芸術学演習Ⅰ	2・3・4通		4								兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)
	美学・芸術学演習Ⅱ	2・3・4通		4								兼1
	キリスト教学演習Ⅰ	2・3・4通		4								兼1 平成27年度未開講 (27)
	キリスト教学演習Ⅱ	2・3・4通		4								兼1
	社会思想史Ⅰ	2・3・4前		2								兼1 平成27年度未開講 (27)
	社会思想史Ⅱ	2・3・4後前		2								兼1 授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	哲学概論Ⅰ	1・2・3・4前		2								兼1 教育効果を考慮し配当年次変更 (26) 平成27年度未開講 (27)
	哲学概論Ⅱ	1・2・3・4前後		2								兼1 教育効果を考慮し配当年次変更、 授業運営上の都合により開講時期変更 (26) 平成27年度未開講 (27)
	哲学概論Ⅲ	2・3・4前後		2								兼1 授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	哲学概論Ⅳ	2・3・4後		2								兼1 平成27年度未開講 (27)
倫理学概論Ⅰ	2・3・4前		2								兼1 平成27年度未開講 (27)	
倫理学概論Ⅱ	2・3・4前後		2								兼1 授業運営上の都合により開講時期を変更 (26) 平成27年度未開講 (27)	
倫理学概論Ⅲ	2・3・4前		2								兼1	
倫理学概論Ⅳ	2・3・4後		2								兼1 平成27年度未開講 (27)	
哲学・倫理学特講Ⅰ	2・3・4前		2								兼1	
哲学・倫理学特講Ⅱ	2・3・4後		2								兼1	



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手	
	哲学・倫理学特講Ⅲ	2・3・4前		2							兼1 平成27年度未開講 (27)
	哲学・倫理学特講Ⅳ	2・3・4後		2							兼1
	哲学・倫理学特講Ⅴ	2・3・4前		2							兼1
	哲学・倫理学特講Ⅵ	2・3・4後		2							兼1
	哲学・倫理学特講Ⅶ	2・3・4前		2							兼1
	哲学・倫理学特講Ⅷ	2・3・4後		2							兼1
	哲学・倫理学特講Ⅸ	2・3・4前後		2							兼1 授業運営上の都合により開講時期を変更 (26)
	哲学・倫理学特講Ⅹ	2・3・4後		2							兼1
	哲学・倫理学特講ⅩⅠ	2・3・4前		2							兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	哲学・倫理学特講ⅩⅡ	2・3・4後		2							兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	西洋古代・中世哲学史Ⅰ	2・3・4後		2							兼1 平成27年度未開講 (27)
	西洋古代・中世哲学史Ⅱ	2・3・4前後		2							兼1 授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	西洋近代哲学史Ⅰ	2・3・4後		2							兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	西洋近代哲学史Ⅱ	2・3・4後前		2							兼1 授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	日本倫理思想史Ⅰ	2・3・4前後		2							兼1 授業運営上の都合により開講時期を変更 (26) 平成27年度未開講 (27)
	日本倫理思想史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
	宗教思想史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1 平成27年度未開講 (27)
	宗教思想史Ⅱ	2・3・4前後前		2							兼1 授業運営上の都合により開講時期を変更 (26) 授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	美学・芸術学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
	美学・芸術学概論Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
	美学・芸術学特講Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
	美学・芸術学特講Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
	美学・芸術学特講Ⅲ	2・3・4前		2							兼1
	美学・芸術学特講Ⅳ	2・3・4後		2							兼1
	美学・芸術学特講Ⅴ	2・3・4前		2							兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)
	美学・芸術学特講Ⅵ	2・3・4後		2							兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)
	日本美術史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	日本美術史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	東洋美術史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1
	東洋美術史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1
	西洋美術史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1 平成27年度未開講 (27)
	西洋美術史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1 平成27年度未開講 (27)
	キリスト教学概論Ⅰ	2・3・4後		2							兼1 平成27年度未開講 (27)
	キリスト教学概論Ⅱ	2・3・4前後		2							兼1 授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	新約聖書学	2・3・4通		4							兼1 平成27年度未開講 (27)
	旧約聖書学Ⅰ	2・3・4前		2							兼1 平成27年度未開講 (27)
	旧約聖書学Ⅱ	2・3・4後		2							兼1 平成27年度未開講 (27)
	新約聖書学Ⅰ	2・3・4前		2							兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	新約聖書学Ⅱ	2・3・4後		2							兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	キリスト教倫理学Ⅰ	2・3・4前		2							兼1 教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講 (27)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
他学科開講科目(教育学)	キリスト教音楽	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	キリスト教美術	2・3・4通		4							兼1 2	教育課程の充実を図るため担当教員を追加 (27)
	キリスト教文学	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	キリスト教思想史 I	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)
	キリスト教思想史 II	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講 (27)
	キリスト教特講 I	2・3・4通		4							兼1	
	キリスト教特講 II	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講 (27)
	キリスト教特講 IV	2・3・4通		4							兼1	
	ギリシア語 I	2・3・4通		4							兼1	
	ギリシア語 II	2・3・4通		4							兼1	
	ラテン語 I	2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更 (26)
	教育学概論	2通		4							兼1	記載誤りにより削除 (26)
	教育哲学2	2・3前		2							兼1	
	西洋教育史2	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (27)
	日本教育史1	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (27)
	日本教育史2	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (27)
	西洋教育運動史	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	教育原理	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	教育行政学2	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	教育社会学概論1 社会学概論1	2・3後		2							兼1	科目名称変更 (26) 教職課程認定における指導により科目削除 (27)
	教育社会学概論2 社会学概論2	2・3後		2							兼1	科目名称変更 (26) 教職課程認定における指導により科目削除 (27)
	比較教育学	3・4通		4							兼1	
	比較教育学特講	3・4後		2							兼1	
	生涯学習概論	3・4前		2							兼1	
	教育経営	2・3・4後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	教育心理学	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (27)
	教育課程方法論	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (27)
	教育方法	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	教育課程論	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除 (26)
	発展途上国における教育問題1	3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	発展途上国における教育問題2	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	人間学習原論	3・4前		2							兼1	
	人間学習3	3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更 (27)
	人間学習4	3・4前		2							兼1	
	人間学習5	3・4後		2							兼1	
	人間学習6	3・4前		2							兼1	
人間学習7	3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期変更 (26)	
人間学習8	3・4前		2							兼1		
人間学習10	3・4前		2							兼1		
人間学習11	3・4前		2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
他学科開講科目（英語英文学）	教育メディア論	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除（26）
	教育情報学	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除（27）
	教育工学	3・4前		2							兼1	
	メディア教材開発	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除（26）
	教育学特講2	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講（27）
	教育学特講3	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加（27）
	教育学特講5	2・3・4後		2							兼1	
	教育学特講7	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講（27）
	教育学特講8	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講（27）
	教育相談	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除（26）
	体育学特講	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加（27）
	道德教育の研究	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除（26）
	特別活動	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除（26）
	生徒指導[含進路指導]	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除（26）
	教育学入門	1・2前		2							兼10 11 10	教育課程の充実を図るため教員追加（26） 担当教員が研修年のため教員変更（27）
	障害者教育・福祉概論	1・2・3・4前後		2							兼1	
	幼児教育原論	2・3前		2							兼1	記載誤りにより削除（26）
	視聴覚教育1	1・2・3・4後		2							兼1	廃止（27）
	視聴覚教育2	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 廃止（27）
	健康社会学	2・3・4前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除（26）
	教育調査	3・4前		2							兼1	
	英文学史概説1	1・2前		2							兼1	
	英文学史概説2	1・2後		2							兼1	
	英作文1	3前		2							兼6	
	英作文2	3後		2							兼6	
	英語学概論	1・2通		4							兼1	
	英語学特講3-1	2・3・4前		2							兼1	
英語学特講3-2	2・3・4後		2							兼1		
メディア・コミュニケーション特講1	3・4後		2							兼1		
メディア・コミュニケーション特講2	3・4通		4							兼1	平成27年度未開講（27）	
メディア・コミュニケーション特講2-2	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加（27）	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	メディア・コミュニケーション特講8-2	3・4後		2							兼1	
	英語史	2・3・4通		4							兼1	
	米文学史概説1	2・3・4前		2							兼1	
	米文学史概説2	2・3・4後		2							兼1	
	メディア・コミュニケーション入門1	1・2前		2							兼1	
	英文法	2・3前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	英会話	3・4通		4							兼1	
	オラルコミュニケーション	2・3・4通		4							兼1	
	英語文化論[英語と聖書]1	2・3・4前		2							兼1	
	英語文化論[英語と聖書]2	2・3・4後		2							兼1	
	英語文化論[翻訳実践]1	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	英語文化論[翻訳実践]2	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	英語文化論[児童文学]1	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	英語文化論[児童文学]2	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	英語文化論[文学と電子メディア]1	2前		2							兼1	
	英語文化論[文学と電子メディア]2	2後		2							兼1	
	異文化理解	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	英文学入門	1通		4							兼1	記載誤りのため追加(26)
	Leadership for Sustainable Development 1	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	Leadership for Sustainable Development 2	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	2年英文演習2-1	1前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	2年英文演習2-2	1後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	2年英文講義1-1	1前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	2年英文講義1-2	1後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	2年英文講義3-1	1前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	2年英文講義3-2	1後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
博物館関連科目	博物館概論	2・3・4前		2							兼1	
	博物館学各論1	2・3・4通		4							兼1	
	博物館学各論2	2・3・4通		4							兼1	
	博物館情報・メディア論	2・3・4前		2							兼1	
	博物館教育論	2・3・4前		2							兼1	
日本語関連科目	2年日本語2	2・3・4後		2							兼2	
	上級日本語1-1	1・2・3・4前		1							兼1	
	上級日本語1-2	1・2・3・4後		1							兼1	
	日本事情1	1・2・3・4前		2							兼1	
	日本事情2	1・2・3・4後		2							兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
全学必修分野	キリスト教学Ⅰ	キリスト教学Ⅰ－1	1・2通	4							兼1	
		キリスト教学Ⅰ－2	1・2通	4							兼1	
		キリスト教学Ⅰ－3	1・2通	4							兼1	平成27年度未開講 (27)
		キリスト教学Ⅰ－4	1・2通	4							兼1	
		キリスト教学Ⅰ－5	1・2通	4							兼1	
		キリスト教学Ⅰ－6	1・2通	4							兼1	平成26年度未開講
		キリスト教学Ⅰ－7	1・2通	4							兼1	
		キリスト教学Ⅰ－8	1・2通	4							兼1	
		キリスト教学Ⅰ－9	1・2通	4							兼1	
		キリスト教学Ⅰ－10	1・2通	4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	キリスト教学Ⅱ	キリスト教学Ⅱ－1	3・4通	4							兼1	
		キリスト教学Ⅱ－2	3・4通	4							兼1	
		キリスト教学Ⅱ－3	3・4通	4							兼1	
		キリスト教学Ⅱ－4	3・4通	4							兼1	
		キリスト教学Ⅱ－5	3・4通	4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
		キリスト教学Ⅱ－6	3・4通	4							兼1	
		キリスト教学Ⅱ－7	3・4通	4							兼2	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
		キリスト教学Ⅱ－8	3・4通	4							兼1	
		キリスト教学Ⅱ－9	3・4通	4							兼1 兼2	教育内容の充実を図るため担当教員を追加 (27)
キリスト教学Ⅱ－10		3・4通	4							兼1		
キリスト教学Ⅱ－11		3・4通	4							兼1		
キリスト教学Ⅱ－13		3・4通	4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (27)	
キリスト教学Ⅱ－14		3・4通	4							兼1		
キリスト教学Ⅱ－16	3・4通	4							兼1			
第一外国語	1年英語	1通	4							兼 20 21	教育効果の充実を図るため教員変更 (27)	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
	2年英語2(リーディング)	2通	2								兼 12 14 12 教育効果を考慮し担当教員追加 (26) 教育効果の充実を図るため教員変 更 (27)
	2年英語2(オラル)	2通	2								兼 17 18 17 教育効果を考慮し担当教員追加 (26) 教育効果の充実を図るため教員変 更 (27)
第 二 外 国 語	1年フランス語(文法)	1通		4							兼4 5 教育効果を考慮し担当教員追加 (26)
	1年フランス語(オラル)	1通		2							兼2
	2年フランス語(講読)	2通		2							兼3 4 教育課程の充実を図るため担当教 員を追加 (27)
	2年フランス語(会話)	2通		2							兼1 3 教育課程の充実を図るため担当教 員を追加 (27)
	1年ドイツ語(文法)	1通		4							兼3
	1年ドイツ語(オラル)	1通		2							兼2
	2年ドイツ語(講読)	2通		2							兼2
	2年ドイツ語(会話)	2通		2							兼1
	1年スペイン語(文法)	1通		4							兼3 4 3 教育効果を考慮し担当教員追加 (26) 教育内容の充実を図るため教員変 更 (27)
	1年スペイン語(オラル)	1通		2							兼1 2 教育効果を考慮し担当教員追加 (26)
	2年スペイン語	2通		2							兼2 4 教育効果を考慮し担当教員追加 (26)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	1年中国語(文法)	1通		4							兼6 7 6	教育効果を考慮し担当教員追加 (26) 教育内容の充実を図るため教員変更 (27)
	1年中国語(オラル)	1通		2							兼5	
	2年中国語(講読)	2通		2							兼3 2 1	教育内容充実のため担当教員変更 (26) 教育内容の充実を図るため教員変更 (27)
	2年中国語(会話)	2通		2							兼3 4	教育効果を考慮し担当教員追加 (26)
	1年コリア語(文法)	1通		4							兼4	
	1年コリア語(オラル)	1通		2							兼3 2	教育内容充実のため担当教員変更 (26)
	2年コリア語	2通		2							兼4 3	教育内容充実のため担当教員変更 (26)
	1年日本語1	1前		3							兼4	
	1年日本語2	1後		3							兼4	
	2年日本語1	2前		2							兼2	
体育運動学	体育運動学	1通		2							兼11 10	教育内容の充実を図るため教員変更 (27)
資格関係分野	教職専門科目											
	教職入門	2・3前後			2						兼2	教職課程認定における指導により 削除 (26)
	社会科教育法1	2・3後			2						兼1	教職課程認定における指導により 削除 (26)
	社会・地理歴史科教育法1	3前			2						兼1	教職課程認定における指導により 削除 (26)
	社会・地理歴史科教育法2	3後			2						兼1	教職課程認定における指導により 削除 (26)
	社会・公民科教育法1	3前			2						兼1	教職課程認定における指導により 削除 (26)
	社会・公民科教育法2	3後			2						兼1	教職課程認定における指導により 削除 (26)
	教育実習指導1(中学・高校)	3後			1						兼1	教職課程認定における指導により 削除 (26)
教育実習指導4(中学・高校)	4後			1						兼1	教職課程認定における指導により 削除 (26)	
教育実習1	4通			2						兼1	教職課程認定における指導により 削除 (26)	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
実博 習物 館	教育実習2	4通			2						兼1	教職課程認定における指導により 削除 (26)
	教職実践演習(中学・高校)	4後			2						兼1	教職課程認定における指導により 削除 (26)
	博物館実習	4前後			3						兼2	

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任, 兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。そうで、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任, 兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場  
には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認  
以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば  
赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。



<文学部 国際交流学科>

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
10科目	511科目	12科目	533科目	10科目	547科目	12科目	569科目	
				[ 0 ]	[ 36 ]	[ 0 ]	[ 36 ]	

(注)・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：△1）

<文学部 国際交流学科>

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	現代家族法	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
2	国際法2	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
3	政治学概論[含国際政治]2	4	2・3・4通	一般	選択	担当教員の退職による
4	現代国際政治V	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
5	現代国際政治VI	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
6	行政学	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
7	国際連合論	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
8	アメリカ外交論	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当教員の退職による
9	東アジアの社会と文化(2)	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講
10	中国事情(2)	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講
11	Contemporary American Culture(1)	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職による
12	Contemporary American Culture(2)	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職による
13	アジア文化論	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
14	国際関係史Ⅱ	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
15	世界音楽地誌	4	1・2・3・4通	一般	選択	隔年開講
16	日本近現代史Ⅱ-1	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
17	日本近現代史Ⅱ-2	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
18	中国古代文化史	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
19	朝鮮現代史	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
20	南アジア現代史	4	1・2・3・4通	一般	選択	隔年開講
21	西アジア文化史	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
22	東洋陶磁史	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講
23	ヨーロッパ中世史Ⅱ	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
24	ヨーロッパ近代史Ⅱ	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
25	社会心理学特講6	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
26	社会心理学特講9	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
27	社会心理学特講15	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
28	文化人類学特講2	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
29	文化人類学特講4	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
30	文化人類学特講10	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
31	家族社会学2	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
32	社会学特講1	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
33	比較文化宗教学3	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
34	比較文化学2	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
35	質的調査法2	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員が研修年のため
36	認知心理学特講3	2	2・3・4前	一般	選択	授業計画作成上の理由による
37	臨床心理学特講3	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
38	臨床心理学特講4	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員が研修年のため
39	運動学1	1	2・3・4前	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
40	運動学2	1	2・3・4後	一般	選択	担当教員が研修年のため
41	中国古典への招待	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
42	中国思想への招待	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の時間割の都合による

43	児童福祉論	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
44	アラビア語の世界	4	1・2・3・4通	一般	選択	「トルコ語の世界」に変更
45	健康な生活と健康科学	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員が研修年のため
46	ポップカルチャー	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
47	チェコ語の世界	4	1・2・3・4通	一般	選択	「ロシア語入門」に変更
48	ジェンダー学6-1	2	1・2・3・4後	一般	選択	「ジェンダー学2-2」に吸収
49	ことばの世界	2	1前	一般	選択	「日本語の世界」と交互開講のため
50	哲学演習 I	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
51	哲学演習IV	4	2・3・4通	一般	選択	授業計画作成上の理由による
52	哲学史演習 I	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
53	倫理学演習 I	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
54	美学・芸術学演習 I	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
55	キリスト教学演習 I	4	2・3・4通	一般	選択	担当教員の退職による
56	社会思想史 I	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
57	哲学概論 I	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講
58	哲学概論 II	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講
59	哲学概論IV	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
60	倫理学概論 I	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
61	倫理学概論 II	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
62	倫理学概論IV	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
63	哲学・倫理学特講Ⅲ	2	2・3・4前	一般	選択	授業計画作成上の理由による
64	西洋古代・中世哲学史 I	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
65	日本倫理思想史 I	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
66	宗教思想史 I	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
67	美学・芸術学特講 V	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員の研修年による
68	美学・芸術学特講 VI	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員の研修年による
69	西洋美術史 I	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
70	西洋美術史 II	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
71	キリスト教学概論 I	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
72	新約聖書学	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
73	旧約聖書学 I	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職による
74	旧約聖書学 II	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職による
75	キリスト教倫理学 I	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
76	キリスト教音楽	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
77	キリスト教思想史 II	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
78	キリスト教学特講 II	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
79	教育学特講2	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
80	教育学特講7	2	2・3・4後	一般	選択	授業計画作成上の理由による
81	教育学特講8	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
82	英語文化論[翻訳実践]1	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
83	英語文化論[翻訳実践]2	2	2・3・4後	一般	選択	授業計画作成上の理由による
84	英語文化論[児童文学]2	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
85	Leadership for Sustainable Development 1	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員が研修年のため
86	Leadership for Sustainable Development 2	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員が研修年のため
87	2年英文演習2-1	2	1前	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
88	2年英文演習2-2	2	1後	一般	選択	担当教員の時間割の都合による

89	キリスト教学Ⅰ-3	4	1・2通	一般	選択	担当教員の退職による
90						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

<文学部 国際交流学科>  
 (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	ボランティア研究演習1	2	3・4前	一般	選択	記載誤りにより削除
2	ボランティア研究演習2	2	3・4後	一般	選択	記載誤りにより削除
3	比較文化学特講	4	2・3・4通	一般	選択	「比較文化学特講6・7」に吸収
4	3・4年英語	2	3・4通	一般	選択	「Advanced English Studies (1)・(2)」に吸収
5	現代社会と環境	2	1・2・3・4前	一般	選択	「環境と経済」に吸収
6	科学史1	2	1・2・3・4後	一般	選択	「進化論の世界」に吸収
7	科学史2	2	1・2・3・4後	一般	選択	「進化論の世界」に吸収
8	金融のしくみ	2	1・2・3・4前	一般	選択	「暮らしのファイナンス」に吸収
9	情報産業論	2	1・2・3・4前	一般	選択	「ジャーナリズムの現在」に吸収
10	視聴覚教育1	2	1・2・3・4後	一般	選択	「教育メディア論」に吸収
11	視聴覚教育2	2	1・2・3・4後	一般	選択	「教育メディア論」に吸収

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

<文学部 国際交流学科>

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

国際交流学科が開講主体となる未開講科目(1~13)のうち、隔年開講を予定しているものについては、配当年次が1~4年次または2~4年次であるので、国際交流学科に所属する学生には受講の機会が保証されている。3・8については、定年退職した担当教員に代わって着任した新任教員が「政治学概論〔含国際政治〕1」を担当し、従来非常勤講師が担当していた「現代国際政治Ⅰ」も担当することにより、国政政治分野の授業科目の質は充分維持されている。また11・12については、部分的にはあるが、「英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ」にその内容を継承することとした。国際交流学科以外の未開講科目(14以下)は、ほとんどが隔年開講を予定しており、かつ配当年次も複数年に及ぶので、受講の機会が保証されている。  
 また廃止科目の開講主体は、すべて国際交流学科以外であり、国際交流学科としての学位プログラム自体には、ほとんど影響しない。  
 今年度、担当者が変更となった授業科目、未開講科目が隔年開講であること等については、年度始めの履修ガイドンにおいて説明した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<文学部 国際交流学科>

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

未開講科目と廃止科目の計	100	=	0.20
設置時の計画の授業科目数の計	511		

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区分		内容				備考		
(1) 校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計	借用面積：4,201㎡ 借用期間：期間なし		
	校舎敷地	44,753㎡	— ㎡	— ㎡	44,753㎡			
	運動場用地	4,424㎡	— ㎡	— ㎡	4,424㎡			
	小計	49,177㎡	— ㎡	— ㎡	49,177㎡			
	その他	34,640㎡	— ㎡	— ㎡	34,640㎡			
	合計	83,817㎡	— ㎡	— ㎡	83,817㎡			
(2) 校舎		専用 ( 25,446 ㎡ )	共用 ( — ㎡ )	共用する他の学校等の専用 ( — ㎡ )	計 ( 25,446 ㎡ )			
(3) 教室等		講義室 37室	演習室 20室	実験実習室 21室	情報処理学習施設 11室 (補助職員 9 人)	語学学習施設 1室 (補助職員 1 人)	大学全体	
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称 文学部 国際交流学科		室数 16 -15		室 16	平成27年3月専任教員の交代に伴い研究室を変更したため(27)	
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図書 〔うち外国書〕	学術雑誌 〔うち外国書〕	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標本 点	大学全体での共用分 図書 248,443 [87,884] (233,664 [85,392]) 学術雑誌 ※バックナンバーによる種類数増加のため(26) 1,701 [750] <del>1,701 [743]</del> (1,680 [745]) 電子ジャーナル ※オンラインデータベース収録雑誌種類数が予想以上に増えたため(26) 20,500 [20,500] <del>15,300 [15,300]</del> (19,970 [19,970]) 視聴覚資料 ※積極的に収集したため増加(26) 共用分は不要資料除籍による点数減少 5,800(5,384) <del>6,265 (6,261)</del> 機械・器具 <del>50(42)</del> 50(41)
		文学部 国際交流学科	23,980 [10,411] <del>(22,474 [10,160])</del> <del>(22,347 [10,076])</del>	538 [130] 528 [127] <del>(477 [118])</del> <del>(459 [115])</del>	3,400 [3,400] (3,062 [3,062])	525 515 <del>( 502 )</del> <del>( 496 )</del>	73 ( 60 )	
	計	23,980 [10,411] <del>(22,474 [10,160])</del> <del>(22,347 [10,076])</del>	538 [130] 528 [127] <del>(477 [118])</del> <del>(459 [115])</del>	3,400 [3,400] (3,062 [3,062])	525 515 <del>( 502 )</del> <del>( 496 )</del>	73 ( 60 )	0 ( 0 )	
	図書館	面積 3,963㎡	閲覧座席数 347	収納可能冊数 517,389	大学全体			
(7) 体育館	面積 1,442㎡	体育館以外のスポーツ施設の概要 テニスコート 5 面			大学全体			

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費、図書購入費、設備購入費は大学全体（文学部）の経費。なお、図書購入費には電子ジャーナルデータベース費（運用コスト含む）を含む。開設前年度の設備購入費はPC入替え、寮エアコンの更新等前倒しでの対応により予定より増加した。(26) 開設年度の数値の変更は実績によるもの。(27)	
		教員1人当り研究費等	405千円 440千円	千円	図書購入費	60,000千円	60,000千円	千円		
		共同研究費等	5,500千円 6,300千円	千円	設備購入費	113,000千円 17,000千円	12,000千円 17,000千円	千円		
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次				
	1,386千円	970千円	970千円	990千円	— 千円	— 千円				
学生納付金以外の維持方法の概要		私立大学等経常費補助金、資産運用収入等								

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	聖心女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
文学部	年	人		人					入学時は文学部としての一括募集。 2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に収容する。  平成25年度より学生募集停止
英語英文学科	4	90	2年次6人	378	学士（英語英文学）	1.15	平成19年度	東京都渋谷区広尾4丁目3番1号	
日本語日本文学科	4	45	2年次6人	198	学士（日本語日本文学）	1.15	平成3年度	同上	
歴史社会学科	4	—	2年次6人	—	学士（史学）	—	昭和23年度	同上	
					学士（人間関係）				
					学士（国際交流）				
史学科	4	55	2年次2人	226	学士（史学）	1.15	平成26年度	同上	
人間関係学科	4	55	2年次2人	226	学士（人間関係）	1.15	平成26年度	同上	
国際交流学科	4	60	2年次2人	246	学士（国際交流）	1.15	平成26年度	同上	
哲学科	4	40	2年次4人	172	学士（哲学）	1.14	昭和23年度	同上	
心理学科	4	55	2年次4人	232	学士（心理学）	1.15	平成26年度	同上	
教育学科 教育学専攻	4	25	2年次4人	364	学士（教育学）	1.15	昭和32年度	同上	
教育学科 初等教育学専攻	4	40	—	80	学士（初等教育学）	1.14	昭和32年度	同上	

大学の名称	聖心女子大学大学院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地
大学院文学研究科 (修士課程)	年	人	年次人	人		倍		
英語英文学専攻	2	10	—	20	修士(英語英文学)	0.35	平成16年度	東京都渋谷区広尾4丁目3番1号
日本語日本文学専攻	2	5	—	10	修士(日本語日本文学)	0.00	平成16年度	同上
史学専攻	2	5	—	10	修士(史学)	0.20	昭和27年度	同上
哲学専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士(哲学)	0.42	平成11年度	同上
社会文化学専攻	2	6	—	12	修士(社会文化学)	0.25	平成16年度	同上
人間科学専攻 (博士後期課程)	2	12	—	24	修士(人間科学)	0.50	平成7年度	同上
社会文化学専攻	3	2	—	6	博士(社会文化学)	0.17	平成18年度	同上
人文学専攻	3	4	—	12	博士(文学)	0.25	平成13年度	同上
人間科学専攻	3	2	—	6	博士(人間科学) 博士(心理学)	0.50	平成9年度	同上

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部, 学科), 大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について, それぞれの学校種ごとに, 平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等, 「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には, 課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお, 課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は, 法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」, 短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては, 記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には, 標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合, 入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし, 「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。



## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成26年4月)	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年4月)	該当なし		該当なし	該当なし

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

## 7 その他全般的事項

### <文学部 国際交流学科>

#### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① オ(4)副専攻とリベラルアーツ総合プログラム            本学では、基礎課程と専攻課程(各学科)の2部構成の教育課程を持っているが、総合的教養教育の充実をはかるための副次的教育課程として、副専攻とリベラルアーツ総合プログラム(仮称)を持つ。</p> <p>②ケ 入学者選抜の概要            (1) アドミッションポリシー            本学の公式ホームページ、ガイドブック等で公開しているアドミッションポリシーは、以下の通りである。            「幅広い教養と高度な専門性を身につけた自立的・実践的な女性をめざし、自ら学ぶ意欲をもった皆さんを受け入れるために、私たちは、3教科方式の入試のほか、総合小論文方式、アドミッションズ・オフィス入試、推薦入試、帰国子女入試、外国人留学生入試、編入学試験など、面接を含むさまざまな選抜方法を用意して、一人一人の受験生に丁寧に向き合おうとしています。3教科方式の入試で記述式の問題の多いことにもそれは表れています。            また、私たちは、無限の可能性を持つ受験生の皆さんに、入学前に急いで進路・専攻を決めることを求めません。受験の際には学科専攻を決めず、入学後の日々の勉学を通して、2年次からどの学科専攻で学ぶかを考える方式を採っています。」</p>	<p>①オ(4)副専攻とリベラルアーツ総合プログラム平成26年10月7日の教授会において、平成27年度から開始する「総合リベラル・アーツ副専攻」について、より詳しく具体的な内容と運営方法について定めた(別紙教授会資料参照)。これにもとづき、同年11月25日のジェネラルレクチャーで、1年次生を対象として副専攻の概要についての説明を行い、平成27年4月3日には、より詳しく副専攻のガイダンスを行った。なお、別紙資料にもあるように、新2年次生の「総合リベラル・アーツ副専攻」は後期開始時としたので、登録者数については未定である。</p> <p>②ケ(1)アドミッションポリシー            「平成27年度大学入学者選抜実施要領」(平成26年5月28日付)に「入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)」については、求める学生像だけでなく、高等学校で履修すべき科目や取得しておくことが望ましい資格等を列挙するなど「何をどの程度学んできて欲しいか」をできる限り具体的に明示する。なお、明示する科目・資格等は、高等学校教育の内容・水準に十分配慮したものとす。」とあるのに基づき、入試委員会・教授会でアドミッション・ポリシーの見直しを行い、以下のように改訂した。            &lt;アドミッション・ポリシー&gt;—このような人に入学者としてほしいと願っています—            聖心女子大学では、大学の理念に共感し、国際化した社会のなかで自立した女性として実践的に活動することをめざし、そのための幅広い教養と高い専門性、柔軟な思考力と的確な判断力を身につけよう并希望する皆さんに入学していただきたいと願っています。            そのため、高等学校では国語、外国語、地理歴史、公民はもとより、数学、理科など、あらゆる授業科目の履修を通じて、また授業以外でも課外活動、読書などを通じて、積極的に興味・関心の幅を広げてください。そうした主体的な学習姿勢こそが、本学入学後の学修に大いに役立ちます。</p> <p>さらに、聖心女子大学では、自らの興味・関心に基づいて調べたことや、それらについての意見を正確に発信し、議論する力も重要だと考えています。そのため高校時代には、興味・関心のある事柄について自ら調べることを体験し、また論理的に考え、書き、話す力、すなわち論理的思考力とコミュニケーション能力を養っておくことが望まれます。            このような学習姿勢や能力を身につけたみなさんに入学していただくため、聖心女子大学では、次の3つの方針を掲げています。</p> <p>1 皆さんに聖心女子大学をより良く知っていただく機会を広く設けます。そのためにオープンキャンパスや大学ウェブサイトなどによって、在学生や教員のような方をさまざまな形でご紹介していきます。</p> <p>2 一人ひとりの受験生に丁寧に向き合います。そのために3教科入試をはじめ、さまざまな入試方法を用意し、どの入試でも文章を書いてもらい、またA0入試などではじっくりと面接を行うことなどによって、皆さんの「発信力」に耳を傾けます。</p> <p>3 聖心で学びたい、という気持ちを大切にします。そのために学科・専攻を入学時に決めるのではなく、入学後の日々の勉学を通して、自分にふさわしい方向性を見出し、2年次に学科・専攻を決める、そのような制度を採用しています。</p>

③テ 管理運営

本学の教学面での管理運営は、「聖心女子大学教授会規程」および「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」等により定められている。

(1) 教授会

教授会は学長が招集し、その議長となる。構成は、副学長、専任の教授、准教授及び講師をもって組織する。定例教授会は月1回開催し、学長が必要と認めるとき、教授会構成員の3分の1以上から要求のある時には臨時教授会を開催することができる。審議事項は以下の通りである。

「教育、研究及び授業に関する事項」「教育課程に関する事項」「学生の入学、編入学、転入学、再入学、学士入学、休学、復学、留学、転学、及び退学に関する事項」「科目等履修生、研究生及び外国人留学生に関する事項」「学生の単位認定及び卒業に関する事項」「学生の賞罰に関する事項」「学生の厚生補導に関する事項」「教員の人事に関する事項」「学則その他諸規則に関する事項」「学長の諮問する事項」「その他教授会の必要と認める事項」

(2) 「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」に基づく委員会

以下の委員会は、教授会に提出する議題の素案を審議するとともに、大学の運営に関する事項のうち、教授会から委託された事項について審議する。

〈教務委員会〉

教務委員会は、学務担当副学長、本学専任教員のうち各学科の推薦に基づき学長が指名する委員8名をもって構成する。審議事項は以下の通りである。

「教育課程（カリキュラム）の編成及び履修に関する事項」「教育内容及び教育方法の改善（ファカルティ・ディベロップメントを含む）に関する事項」「教育課程実施の年間計画に関する事項」「授業、定期試験及び授業時間割の編成に関する事項」「学生の学科・専攻の所属に関する事項」「学生の転科に関する事項」「学生の成績評価及び単位認定に関する事項」「学生の卒業認定に関する事項」「科目等履修生及び研究生に関する事項」「他大学との単位互換及び高等学校への授業提供に関する事項」「教員の配置に関する事項」「非常勤講師枠の配当に関する事項」「その他委員会が必要と認める事項」

〈学生委員会〉

学生委員会は、学生担当副学長、本学専任教員のうち各学科の推薦に基づき学長が指名する委員8名をもって構成する。審議事項は以下の通りである。

「学生の学籍に関する事項」「学生行事、課外活動に関する事項」「学生の生活指導及び新入生オリエンテーションに関する事項」「学生の保健、奨学生選考、アルバイト等福利厚生に関する事項及び奨学生関係諸規定に関する事項」「その他委員会が必要と認める事項」

記入例)

③テ管理運営

平成27年4月1日施行の新学校教育法にしたがって、平成26年度後半に、学長の決定権の担保、学長と教授会との関係の明確化、懲戒手続の明確化などに係る「聖心女子大学学則」の関係部分を改訂し、これと連動して、「聖心女子大学教授会規程」以下の各種規程を改定、整備した。

また、教育課程の編成やFD活動等に職員が積極的に関わるといふ趣旨から、「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」を改訂し、教務委員会・学生委員会の構成員に事務局長を加え、「聖心女子大学FD協議会内規」を制定、施行した。

- (注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### 7 その他全般的事項

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策(FD活動含む)

本学は、従来から学部単位で教員の資質の維持向上の方策に取り組んでおり、平成26年4月より文学部内に新設された史学科、人間関係学科、国際交流学科、心理学科についても、文学部の既存学科と併せて実施することとしている。

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

教務委員会のもとに、FD協議会が置かれている。教務委員会の構成員については、平成26年8月1日改正施行の「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」において、学務担当副学長、各学科の委員8名に加え、事務局長を委員とした。FD協議会は、同上規程第2条に定められた教務委員会の審議事項のうち、「教育内容及び教育方法の改善(ファカルティ・ディベロップメントを含む)に関する事項」を扱う組織として位置づけられている。平成26年8月1日には「聖心女子大学FD協議会内規」を新たに制定・施行し、その協議事項を定めるとともに、構成員については、上記教務委員会の委員と学務事務部教務課長とした。

###### b 委員会の開催状況

原則として月1回開催(平成26年度は9回開催)。

###### c 委員会の審議事項等

「聖心女子大学FD協議会内規」第2条に、

- (1) 教育内容及び教育方法の改善に関する事項
- (2) 学生による授業評価等を通じた学習時間、学習成果等についての情報の収集及び文書に関する事項
- (3) 教員を対象とする研修(教育内容・方法の改善、教育研究、社会貢献、管理業務等)に関する事項
- (4) その他協議会が必要と認める事項

と定められている。

具体的には、学生による授業評価の方法、授業評価をもとにした各教員・各学科・全学各レベルでの授業報告書のとりまとめと内容の検討、研修会の立案、研修会参加者に対するアンケート調査の実施と結果の分析等を扱う。

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

- i 学生による授業評価に基づく授業報告書の作成、検討、公表
- ii FD研修会の実施
- iii 新任教員対象の研修会
- iv 科研費の取得・使用に係る説明会・講演会

###### b 実施方法

i ③で述べる学生による授業評価アンケートをふまえ、年度末に専任教員全員が、担当授業のうち1～3科目について授業報告書(様式は別紙参照)を作成、学科内で回覧した後、FD協議会のメンバーでもある教務委員が集約して、学科全体の授業報告書を作成し、各教員の授業報告書とともに、学務担当副学長に提出する。

学務担当副学長は、これらの授業報告書を読んだうえで、全体の状況や、各学科での特徴ある取り組みなどを摘記し、これと、学科ごと、教員ごとの授業報告書をまとめた『「学生による授業評価」に基づく授業報告書』を作成し、FD協議会での検討を経て、その冊子を学内の教職員、学生に公表する。

ii FD協議会が企画立案し、研修会・講演会等を行う。

iii 日本私立大学連盟主催の新任専任教員向けFD推進ワークショップ「大学教員の職能開発とFD」に新任の若手教員を派遣する。

iv 学内で科研費の管理を所管する企画部で企画、立案する。

###### c 開催状況

ii ①平成25年度後半に導入したグループウェア「Google Apps」(学内名「USH-Cloud」)の活用方法について、情報化推進プロジェクトチームのリーダーを講師とした研修を、教職員対象に2回、教員対象に5回行った。期日・おもな内容・参加教職員数は下記の通り。

回数 開催日 おもな内容 参加教職員数

- 1 4月8日 アンケートの作成と活用 教員61名
- 2 5月20日 PCとのファイル共有と取り扱い方 教員58名
- 3 6月10日 映像配信 教員61名
- 4 7月8日 個人でサイトを構築する 教員62名
- 5 10月7日 Web会議システム(Live On)の活用 教員59名
- 6 11月11日 USH-Cloudのセキュリティ 教員60名

② FDIに関する研修会として、8月1日にキャンパスの沿革(江戸時代から現代まで)についての講演(講師史学科教授佐々木恵介)と、BS朝日で放映された「旧久邇宮邸」の鑑賞を行った。参加教職員59名。

③ FD協議会とハラスメント防止委員会の共催で、2月19日に講演会「ハラスメントにならない伝え方、指導法」(講師NPO法人アサーティブジャパン代表森田汐生氏)を実施した。参加教職員61名。なお、この講演会については参加者にアンケートを実施し、その結果をFD協議会・ハラスメント防止委員会で共有するとともに、今後のFD研修会開催のための検討材料とした。

iii 平成24年度2名、平成25年度1名、平成26年度1名

iv 科研費に係る説明会、説明会の平成26年度における開催状況は以下の通り。

・ 科研費の使用に係る説明会

開催日：平成26年7月8日

参加者：教員12名、職員5名、計17名

・ 科研費の取得に係る講演会

開催日：平成26年7月12日

演題：「科研費の制度について」

講師：文部科学省振興局学術研究助成課課長補佐

参加者：教員17名、職員6名、計23名

- d 実施状況を踏まえた授業改善への取組状況
- i bに記したように、学生による授業評価アンケートに基づき、各教員が授業報告書を作成するが、これらは各学科内で回覧され、教務委員がその内容を集約して、効果的な授業方法や、取り組むべき課題を学科ごとの授業報告書に記載し、学科内で共有するようにしている。さらに全学的な課題については、教務委員会で検討されるが、とくに授業報告書の中で意見、要望が多い教室の施設・設備等については、平成27年度中にその整備をはかるためのプロジェクトチームを設置する予定である。
- また、平成26年8月1日には、IR推進センターが発足したので、アンケート中の学生の学修時間に関するデータを提供して、その分析を依頼した(センターでは平成26年12月1日に報告書を経営会議に提出)。
- ii 平成25～26年度の「Google Apps」研修を踏まえ、平成27年度はe-ポート・フォリオの導入を本格的に検討する。
- iv 科研費の取得状況(新規採択及び継続の研究代表者分。学術研究助成基金助成金を含む。)は以下の通り。  
平成24年度：12件(基盤研究7、挑戦的萌芽研究1、若手研究2、研究活動スタート支援1、特別研究員奨励費1)  
平成25年度：13件(基盤研究9、挑戦的萌芽研究1、若手研究2、特別研究員奨励費1)  
平成26年度：15件(基盤研究11、挑戦的萌芽研究2、若手研究2)

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

- a 実施の有無及び実施時期
- 前期・後期の授業最終週に実施。アンケート(様式は別紙参照)を実施するのは、専任教員は担当授業のうち原則として2科目、非常勤講師は担当授業のうち1科目以上。なお、②bのiに記した各教員の授業報告書には、アンケート未実施で、教員がリアクションペーパーなどによって日常的に把握している学生の意見や希望をもとに作成したものも含まれる。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
- アンケートは学務事務部で集計し、結果を授業担当教員に通知する。専任教員は、②bのiに記したように、最終的には年度ごとの『「学生による授業評価」に基づく授業報告書』という冊子の形で、学内の各学科研究室等に配布し、教職員、学生に公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。  
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

<p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見</p> <p>① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見 本学では、設置の趣旨・目的の達成状況について、将来構想・評価委員会を中心とする内部質保証の取り組みの中で点検・評価及び検証を行っており、以下に記述する内容の詳細は、毎年度末に公表している『点検・評価報告書』に記載される予定である。 平成26年度に行われた学科等の改組設置、定員の変更については、平成25年7月以降、文部科学省の指導のもと申請及び認可の時期を慎重に配慮しつつ、パンフレット、募集要項、大学ホームページ等の媒体により、その趣旨・概要の周知に努め、所期の入学者数を確保することができた。平成26年度には、『聖心女子大学ガイドブック2015』（平成26年4月末）にも掲載し、オープンキャンパスでも積極的に広報を行ったが、その結果、志願者数、入学者数にやや減少が見られたものの新学科の平均入学定員超過率としては、1.15～1.18倍と適正範囲を保持している。 本学は1年次では全員が文学部基礎課程に在籍し、学科・専攻に分かれるのは2年次からである。したがって認可を受けた学科・専攻及び定員について実際に学生が進学するのは、平成27年度からとなる。本学ではこれに向け、平成26年度には入学後のガイダンス、全1年次生を対象とするジェネラルレクチャーでの学科紹介ガイダンス、選考決定のためのガイダンス等において、改組設置及び定員変更の趣旨・概要を周知徹底した。また、平成25年12月までに新設された史学科、人間関係学科、国際交流学科、心理学科を含む全学科・専攻について、設置の趣旨に基づき「卒業生像」と「履修モデル」の見直しを行った。その結果は平成26年度『履修要覧』、大学ホームページ及び『聖心女子大学ガイドブック2015』等に掲載し、広く周知している。あらゆる機会を捉えて実施されたこれらの指導、広報の方法は適切であると考えられる。 2年次に進学するための専攻の決定は平成26年11～12月に実施され、学生の希望に基づく学科による選考により、新設学科を含め全学科で適切な数の進学者が確定した。27年4月より、各学科での勉強が順調に始まっている。平成26年11月～27年1月には、将来構想・評価委員会が中心となり、学科の趣旨・概要、卒業生像、履修モデル等の周知、学生の受け入れ方法等につき、学科別に詳細な点検・評価、検証を実施した。その結果、大きな問題点は見出せず、この間の経緯は順調、適切に推移したものと確認された。このほか、平成26年度にはFD協議会内規を定め、FD推進の体制を整備した。 開設する授業科目については、計画段階から若干の変更を生じたが、別項「授業科目を未開講又は廃止としたこと」に係る『大学の所見』にあるとおり、やむを得ない事情によるものと認められる。総合リベラル・アーツ副専攻等についても教務委員会を中心に準備を進め、平成27年4月にガイダンスを実施、9月からの本格登録に備えている。以上、若干の変更点はあるが、現時点における設置の趣旨・目的の達成状況は、ほぼ計画通りで適切と考えられる。今後さらにきめ細かい改善を進め、学科新設の効果を高めるよう努めたい。</p>
<p>② 自己点検・評価報告書</p> <p>a 公表（予定）時期 ・平成28年3月20日</p> <p>b 公表方法 ・大学ホームページ上に公開予定</p>
<p>③ 認証評価を受ける計画 ・平成28年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で準備中。</p>

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

<p>○ 設置計画履行状況報告書</p> <p>a ホームページに公表の有無 ( <input checked="" type="radio"/> 有 ・ <input type="radio"/> 無 )</p> <p>b 公表時期（未公表の場合は予定時期） ( 平成27年 9月 30日 )</p>
---

# 1 調査対象大学等の概要等

## (1) 設置者

学校法人 聖心女子学院

## (2) 大学名

聖心女子大学

## (3) 大学の位置

〒150-8938  
東京都渋谷区広尾4-3-1

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を( )書きで記入してください。  
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

## (4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ウノ ミエコ) 宇野 三恵子 (現職就任平成22年6月)		
学長	(オカザキ ヨシコ) 岡崎 淑子 (現職就任平成23年10月)		
学務担当 副学長	(ササキ ケイスケ) 佐々木 恵介 (現職就任平成24年4月)		
学生担当 副学長	(スズキ オトシ) 鈴木 乙史 (現職就任平成25年10月)	(カワツ マコト) 川津 誠 (現職就任平成27年4月)	任期満了に伴い平成27年 4月1日付人事異動にて変 更(27)
評価・大学院 担当副学長	(キタムラ カズオ) 北村 和夫 (現職就任平成23年10月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を( )書きで記入してください。

(例) 平成25年度に報告済の内容 → (25)

平成27年度に報告する内容 → (27)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象学部等の名称, 定員, 入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等, 定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。  
 ・ 様式は, 平成24年度開設の4年制の学科の場合(平成27年度までの4年間)ですが, 開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が3年以下の場合には欄を削除し, 5年以上の場合には, 欄を設けてください。)

(5) - ① 調査対象学部等の名称, 定員

調査対象学部等の名称(学位)	設置時の計画				備考
	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	
文学部 心理学科 学士(心理学)	4年	55人	2年次 2人	226人	入学時は文学部としての一括募集。2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に収容する。

- (注) ・ 定員を変更した場合は, 「備考」に変更前の人数, 変更年月及び報告年度を( )書きで記入してください。  
 ・ 学生募集停止を予定している場合は, 「備考」にその旨記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		平均入学定員超過率	開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	55人 ( - ) [ - ]	-	55人 ( - ) [ - ]	-	55人 ( - ) [ - ]	-	55人 ( - ) [ - ]	-	1.15倍	— 倍	入学時は文学部としての一括募集。2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に収容する。
志願者数	168 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	160 ( 4 ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
受験者数	161 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	153 ( 4 ) [ 2 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
合格者数	103 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	100 ( 3 ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
B 入学者数	66 ( - ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	61 ( 3 ) [ 1 ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]	- ( - ) [ - ]			
入学定員超過率 B/A	1.20		1.10		—		—				

- (注) ・ 数字は, 平成27年5月1日現在の数字を記入してください。  
 ・ ( ) 内には, 編入学の状況について**外数**で記入してください。なお, 編入学を複数年次で行っている場合には, (( ))書きとするなどし, その旨を「備考」に付記してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ [ ] 内には, 留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。  
 ・ 留学生については, 「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により, 我が国の大学(大学院を含む), 短期大学, 高等専門学校, 専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。  
 ・ 短期交換留学生など, 定員内に含めていない学生については記入しないでください。  
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は, 春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は, その他の学期欄は「-」を記入してください。また, その他の学期に入学定員を設けている場合は, 備考欄にその人数を記入してください。  
 ・ 「入学定員超過率」については, **各年度の春季入学とその他を合計した入学定員, 入学者数で算出**してください。なお, 計算の際は**小数点以下第3位を切り捨て, 小数点以下第2位まで記入**してください。  
 ・ 「平均入学定員超過率」には, 開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。なお, 計算の際は「**入学定員超過率**」と同様にしてください。  
 ・ 「開設年度から提出年度までの平均入学定員超過率」は, 完成年度を越えて報告書を提出する大学(「改善意見等対応状況報告書」を提出する大学)のみ記入してください。「設置計画履行状況等報告書」の場合は「-」を記入してください。



(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学年	平成26年度		平成27年度		平成28年度		平成29年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	[ 1 ] ( - ) 66	[ - ] ( - ) -	[ 1 ] ( 1 ) 62	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	入学時は文学部としての一括募集。2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に收容する。
2年次	/		[ 1 ] ( 0 ) 71	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
3年次	/		/		[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
4年次	/		/		/		[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	
計	[ 1 ] ( - ) 66	[ - ] ( - ) -	[ 2 ] ( 1 ) 133	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	[ - ] ( - ) -	

- (注) ・ 数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。
- ・ [ ]内には、留学生の状況について**内数**で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
  - ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
  - ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
  - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学の実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
  - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。
  - ・ ( )内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。

## (5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	入学者数(b)	退学者数(a)	退学者数(内訳)			主な退学理由	入学者数に 対する退学者数 の割合 (a/b)
			退学した年度	退学者数	退学者数の うち留学生数		
平成26年度 入学者	66 人	1 人	平成26年度	1 人	0 人	他の教育機関への入学・転学	1.5 %
			平成27年度	0 人	0 人	該当者なし	
			平成28年度	— 人	— 人		
			平成29年度	— 人	— 人		
平成27年度 入学者	62 人	0 人	平成27年度	0 人	0 人	該当者なし	0 %
			平成28年度	— 人	— 人		
			平成29年度	— 人	— 人		
平成28年度 入学者	— 人	— 人	平成28年度	— 人	— 人		— %
			平成29年度	— 人	— 人		
平成29年度 入学者	— 人	— 人	平成29年度	— 人	— 人		— %
合 計	128 人	1 人					0.8 %

(注)・数字は、平成27年5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各年度の入学者数については、該当年度当初に入学した人数を記入してください。(途中で退学者がいた場合でも、その退学者数を減らす必要はありません。)
- ・各年度の退学者数については、退学年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記入してください。
- ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、【当該対象年度の入学者のうち、平成27年5月1日現在までに退学した学生数の合計】を、【当該対象年度の入学者数】で除した割合(%)を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。  
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学  
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

## 2 授業科目の概要

### <文学部 心理学科>

#### (1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
専攻課程分野 心理学	必修科目 心理学実験演習1	2前	4				1 2	1			兼1 2	担当教員の身分昇格(26) 教育課程の充実を図るため担当教員を追加(27)
	心理学統計法 I	2前	2								兼1	
	心理学概論	2通	4			4	1 3 2	2				担当教員の身分昇格(26) 担当教員が研修年のため教員変更(27)
	基礎情報処理技法	2前	2				1				兼1	教育効果の充実を図るため教員変更(27)
	3年心理学演習	3通	4			4	1 3 2	2			兼1	担当教員の身分昇格(26) 担当教員が研修年のため教員変更(27)
	4年演習											
	実験心理学演習	4通		4		1	1					
	発達心理学演習	4通		4		1	1	1				担当教員の身分昇格(26)
	発達臨床心理学演習	4通		4		2	1	1			兼1	担当教員の身分昇格(26) 担当教員が研修年のため教員変更(27)
	自由選択科目											
	計量心理学特講1	3・4前		2							兼1	
	計量心理学特講2	3・4前		2							兼1	
	計量心理学特講3	3・4前		2							兼1	
	心理学研究法1	3・4前後		2			1					教育効果を考慮し配当年次変更、授業運営上の都合により開講時期変更(26)
	心理学研究法2	3・4前		2							兼1	
	心理統計法Ⅱ	2・3後		2							兼1	
	心理学史	2・3・4後前		2		1						授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	心理学実験演習2	3・4前後		2		1						授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	心理学実験演習3	2後		2			2 1	2			兼1	担当教員の身分昇格(26) 担当教員が研修年のため教員変更(27)
心理学演習1	3・4後		2		1							
心理学演習2	2後		2		1							
認知心理学特講1	2・3・4後		2			1						
認知心理学特講2	3・4前		2			1				兼1	担当者の研修年終了のため担当者変更(26)	
認知心理学特講3	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 平成27年度未開講(27)	
認知心理学特講4	2・3・4前		2							兼1		
認知心理学特講5	2・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26) 授業運営上の都合により開講時期を変更(27)	
認知心理学特講6	3・4前		2		1							
認知心理学特講7	3・4後		2		1							

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	認知心理学特講8	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	認知心理学特講9	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	発達心理学特講1	2・3・4後前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	発達心理学特講2	2・3・4後前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	発達心理学特講3	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	発達心理学特講4	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	発達心理学特講5	3・4前		2		1						教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	発達心理学特講6	3・4前後		2			1	±				授業運営上の都合により開講時期を変更(26)、担当教員の身分昇格(26)
	発達心理学特講7	3・4前		2		1						
	発達心理学特講8	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	発達心理学特講9	2・3・4前後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	臨床心理学特講1	2・3・4後		2							兼1	
	臨床心理学特講2	2・3・4後		2		1						
	臨床心理学特講3	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 平成27年度未開講(27)
	臨床心理学特講4	2・3・4前		2			1	±				担当教員の身分昇格(26) 平成27年度未開講(27)
	臨床心理学特講5	2・3・4後		2		1					兼±	教育効果の充実を図るため教員変更(27)
	臨床心理学特講6	2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	臨床心理学特講7	2・3・4前後		2		1						教育効果を考慮し配当年次変更、授業運営上の都合により開講時期変更(26)
	臨床心理学特講8	2・3・4後		2							兼1	
	臨床心理学特講9	3・4前		2		1						教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	臨床心理学特講10	2後				1						教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	発達心理学1	2・3・4前		2		1						
	発達心理学2	2・3・4前		2			1	±			兼1	担当教員の身分昇格(26)
卒業論文	卒業論文	4通	8			4	±3	2				担当教員の身分昇格(26)
専攻課程分野 関連分野	他学科開講科目(史学)	日本史史料論	2通	4							兼1	
		世界史演習Ⅱ-1	3通	4							兼1	
		世界史演習Ⅱ-2	3通	4							兼1	
		世界史演習Ⅱ-3	3通	4							兼1	
		世界史演習Ⅱ-4	3通	4							兼1	
		世界史演習Ⅱ-5	3通	4							兼1	
		世界史演習Ⅲ-1	4通	4							兼1	
		世界史演習Ⅲ-2	4通	4							兼1	
		世界史演習Ⅲ-3	4通	4							兼1	

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	世界史演習Ⅲ－4	4通		4							兼1	
	世界史演習Ⅲ－5	4通		4							兼1	
	古文獻入門	2・3・4通		4							兼1	
	国際関係史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	国際関係史Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	世界音楽地誌	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26) 平成27年度未開講(27)
	日本史概説Ⅰ	1・2・3・4前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	日本史概説Ⅱ	1・2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	外国史概説	1・2・3・4通		4							兼4 5	教職課程認定による指導のため科目追加(26) 研修年終了により教員追加(27)
	世界史への招待Ⅰ	1・2・3・4前		2							兼4 5	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 研修年終了により教員追加(27)
	世界史への招待Ⅱ	1・2・3・4後		2							兼4 5	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 研修年終了により教員追加(27)
	外国史概説Ⅰ－1	2・3・4前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	外国史概説Ⅰ－2	2・3・4前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	外国史概説Ⅱ－1	2・3・4後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	外国史概説Ⅱ－2	2・3・4後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	外国史概説Ⅱ－3	2・3・4後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	資料整理実習	3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	史料講読Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	史料講読Ⅱ	3・4通		4							兼1	
	日本考古学	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	日本民俗学	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	日本古代史Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	日本中世史Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	日本中世史Ⅱ－1	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	日本近世史Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	日本近世史Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	
	日本近現代史Ⅰ	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	日本近現代史Ⅱ	1・2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	日本近現代史Ⅱ－1	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	日本近現代史Ⅱ－2	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	日本文化史Ⅰ	1・2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	日本文化史Ⅱ	1・2・3・4後前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、授業運営上の都合により開講時期変更(27)
	中国古代文化史	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	中国近代史	2・3・4通		4							兼1	
	中国古代史	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	朝鮮現代史	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	東南アジア史	2・3・4通		4							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	南アジア現代史	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26) 平成27年度未開講(27)
	南アジア近代史	2・3・4通									兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	西アジア近代史	2・3・4通		4							兼1	
	西アジア文化史	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	イスラム社会史入門	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	古代オリエント史	2・3・4通		4							兼1	
	古代ローマ史	2・3・4通		4							兼1	
	東洋陶磁史	1・2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	ヨーロッパ中世史Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	ヨーロッパ中世史Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	ヨーロッパ近代史Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	ヨーロッパ近代史Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	ヨーロッパ現代史Ⅰ	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	ヨーロッパ現代史Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	
	ロシア文化史	2・3・4通		4							兼1	
	アメリカ史	2・3・4通		4							兼1	
	ラテンアメリカ史	2・3・4通		4							兼1	
	世界史文献講読Ⅱ-1	2・3・4前		2							兼1	記載誤りにより配当年次変更(27)
	世界史文献講読Ⅱ-2	2・3・4後		2							兼1	記載誤りにより配当年次変更(27)
	世界史文献講読Ⅲ-1	2・3・4前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	世界史文献講読Ⅲ-2	2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	世界史文献講読Ⅳ-1	2・3・4前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	世界史文献講読Ⅳ-2	2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	世界史文献講読Ⅴ-1	2・3・4前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	世界史文献講読Ⅴ-2	2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	世界史文献講読Ⅵ-1	2・3・4前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	世界史文献講読Ⅵ-2	2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
他学科開講科目(人間関係)	対人社会心理学1	2前		2							兼1	
	マスコミ社会心理学1	2後前後		2							兼1	担当教員が研修年のため開講時期変更(26) 研修年終了のため開講時期変更(27)
	人格心理学1	2前		2							兼1	
	家族社会学1	2後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	職業社会学1	2後		2							兼1	
	文化人類学1	2後前		2							兼1	担当教員が研修年のため開講時期変更(27)
	社会調査入門	2前		2							兼25	研修年または副学長就任のため教員数変更(26)
	比較文化学1	2前		2							兼1	
	社会心理学特講1	2・3・4前		2							兼1	
	社会心理学特講2	3・4前		2							兼1	
社会心理学特講3	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)	
社会心理学特講4	2・3・4前		2							兼1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	社会心理学特講6	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	社会心理学特講9	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	社会心理学特講11	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	社会心理学特講14	3・4前		2							兼1	
	社会心理学特講15	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	文化人類学特講2	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	文化人類学特講4	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	文化人類学特講5	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	文化人類学特講6	2・3・4前		2							兼1	
	文化人類学特講7	2・3・4後		2							兼1	
	文化人類学特講10	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	文化人類学特講11	2・3・4前		2							兼1	
	文化人類学特講12	2・3・4後		2							兼1	
	人文地理学1	2・3・4前		2							兼1	
	人文地理学2	2・3・4後		2							兼1	
	自然地理学1	2・3・4前		2							兼1	
	自然地理学2	2・3・4後		2							兼1	
	地誌学1	2・3・4前		2							兼1	
	地誌学2	2・3・4後		2							兼1	
	社会学	2・3・4通		4							兼1 2	教育内容の充実を図るため担当教員を追加(27)
	マス・コミュニケーション論	2・3・4前		2							兼1	
	家族社会学2	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	職業社会学2	2・3・4前		2							兼1	
	キャリア形成の社会学	2・3・4前		2							兼1	
	社会学特講1	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	社会学特講2	2・3・4前		2							兼1	
	社会学特講3	2・3・4後		2							兼1	
	社会学特講4	2・3・4前		2							兼1	
	交流分析概論	2・3・4前		2							兼1	
	人格発達心理学	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	人格心理学特講1	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	人格心理学特講2	3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	人格心理学特講4	3・4後		2							兼1	
	人格臨床心理学特講1	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	人格臨床心理学特講2	2・3・4後		2							兼1	
	人格臨床心理学特講4	3・4後		2							兼1	
	比較文化宗教学1	2・3・4後		2							兼1	廃止(26)
	比較文化宗教学2	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	比較文化宗教学3	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	比較文化学特講	2・3・4通		4							兼1	廃止(27)
	比較文化学特講1	2・3・4後		2							兼1	
	比較文化学特講2	2・3・4前		2							兼1	
	比較文化学特講3	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	比較文化学特講4	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
他学科開講科目 (国際交流)	比較文化学特講5	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	比較文化学特講6	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	比較文化学特講7	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	比較文化学2	2・3・4 3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、および開講時期変更(26) 記載誤りによる配当年次修正および平成27年度未開講(27)
	社会調査の技法1	2・3・4前		2							兼1	
	社会調査の技法2	2・3・4前		2							兼1	
	社会統計学	2・3・4後		2							兼1	
	質的調査法1	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	質的調査法2	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	フランス語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
	フランス語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
	フランス語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1	
	フランス語コミュニケーション II (2)	3後		2							兼1	
	ドイツ語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
	ドイツ語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
	ドイツ語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1	
	ドイツ語コミュニケーション II (2)	3後		2							兼1	
	スペイン語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
	スペイン語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
	スペイン語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1	
	スペイン語コミュニケーション II (2)	3後		2							兼1	
	中国語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
	中国語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
	中国語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1	
	中国語コミュニケーション II (2)	3後		2							兼1	
	コリア語コミュニケーション I (1)	2前		2							兼1	
	コリア語コミュニケーション I (2)	2後		2							兼1	
	コリア語コミュニケーション II (1)	3前		2							兼1	
	コリア語コミュニケーション II (2)	3後		2							兼1	
	法学[含国際法]	1・2・3・4通		4							兼1	
	民法概論	2・3・4通		4							兼1	記載誤りによる科目追加(27)
	現代家族法	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	国際法1	2・3・4前		2							兼1	
国際法2	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)	
取引関係法	2・3・4通		4							兼1		
政治学概論[含国際政治]1	2・3・4通		4							兼1		
政治学概論[含国際政治]2	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)	
国際交流特殊講義	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)	
現代国際政治 I	2・3・4通		4							兼1		
現代国際政治 V	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)	
現代国際政治 VI	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)	
行政学	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)	
国際連合論	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 平成27年度未開講(27)	



科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	アメリカ外交論	1・2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26) 平成27年度未開講(27)
	経済学概論[含国際経済]	2・3・4通		4							兼1	
	経済理論入門	2・3・4通		4							兼1	
	国際経済学1	2・3・4前		2							兼1	
	国際経済学2	2・3・4後		2							兼1	
	開発経済学	2・3・4通		4							兼1	
	情報処理入門	2・3・4通		4							兼1	
	プログラム入門	2・3・4通		4							兼1	
	コンピュータサイエンス	2・3・4通		4							兼1	
	応用情報処理	2・3・4通		4							兼1	
	国際コミュニケーション論	2・3・4通		4							兼1	
	異文化間コミュニケーション(1)	2・3・4前		2							兼1	
	異文化間コミュニケーション(2)	2・3・4後		2							兼1	
	国際交流実習1	1・2・3・4前後		2							兼87	教育効果を考慮し配当年次および 教員変更(26) 教育効果を考慮し担当教員および 開講時期変更(27)
	フランスの社会と文化(1)	2・3・4前		2							兼1	
	フランスの社会と文化(2)	2・3・4後		2							兼1	
	ドイツの社会と文化(1)	2・3・4前		2							兼1	
	ドイツの社会と文化(2)	2・3・4後		2							兼1	
	東アジアの社会と文化(1)	1・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次および 開講時期変更(27)
	東アジアの社会と文化(2)	1・2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講(27)
	ドイツ事情(1)	2・3・4前		2							兼1	
	ドイツ事情(2)	2・3・4後		2							兼1	
	フランス事情(1)	2・3・4前		2							兼1	
	フランス事情(2)	2・3・4後		2							兼1	
	中国事情(1)	1・2・3・4後前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次および 開講時期変更(27)
	中国事情(2)	1・2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26) 平成27年度未開講(27)
	Contemporary American Culture(1)	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	Contemporary American Culture(2)	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	日欧思想交渉史入門(1)	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を 変更(26)
	日欧思想交渉史入門(2)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加 (26)
	アジア文化論	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
基礎 課程 科目	基礎課程演習	1前		2		2 3	1		1			兼 24 25 教育効果の充実を図るため教員変更(26) 教育効果の充実を図るため教員変更(27)
	アジア史入門	1前		2								兼2 廃止 世界史への招待 I・IIへ吸収(26)
	人間関係入門	1前		2								兼7 6 担当教員が研修年のため教員数変更(26)
	国際交流入門	1前		2								兼9 11 担当教員が退職のため教員変更(27)
	心理学入門	1前		2		4	1 3 2		2			担当教員の身分昇格(26) 担当教員が研修年のため教員数変更(27)
	英語の世界	1前		2								兼 10 6 平成26年度未開講 教育効果の充実を図るため教員数変更(27)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
総合現代教養科目	3・4年英語	3・4通		2							兼1	廃止 Advanced English Studies (1)・(2)に吸収(27)
	運動学1	2・3・4前		1							兼1	平成27年度未開講(27)
	運動学2	2・3・4後		1							兼1	平成27年度未開講(27)
	運動学3	2・3・4後		1							兼1	
	憲法1	1・2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	憲法3	1・2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	女性とキャリア形成	2・3・4前		2							兼1	
	国際平和と開発援助	2・3・4前		2							兼1	
	地球化時代のNGO	1・2・3・4前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	人間の安全保障	1・2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	中国古典への招待	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講(27)
	中国思想への招待	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講(27)
	現代社会と環境	1・2・3・4前		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 環境と経済に吸収(27)
	現代の脳科学	1・2・3・4後		2							兼1	
	科学史1	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 進化論の世界に吸収(27)
	科学史2	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 進化論の世界に吸収(27)
	社会福祉論	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	児童福祉論	1・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、授業運営上の都合により開講時期変更(26)
	ビートルズの詩と音楽	1・2・3・4前後		2							兼1	平成26年度未開講
	情報活用演習	1・2・3・4前後		2							兼6	
	情報ネットワーク演習	2・3・4前		2							兼1	
	日本の伝統文化	1・2・3・4後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	アラビア語の世界	1・2・3・4通		4							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講(27)
	金融のしくみ	1・2・3・4前		2							兼1	平成26年度未開講 廃止 暮らしのファイナンスに吸収(27)
	聖心スピリットと共生	1・2・3・4後		2							兼1	
	健康な生活と健康科学	1・2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	情報産業論	1・2・3・4前		2							兼3	平成26年度未開講 廃止 ジャーナリズムの現在に吸収(27)
	ポップカルチャー	1・2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 平成27年度未開講(27)
	キャリアデザイン入門	2・3前後		2							兼2	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	チェコ語の世界	1・2・3・4通		4							兼1	平成26年度未開講 平成27年度未開講(27)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	災害と人間	1・2・3・4前		2							兼9 8 6	授業内容充実のため担当教員変更(26) 教育効果の充実を図るため教員変更(27)
	現代を考える	1・2・3・4前		2							兼1	
	トルコ語の世界	1・2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	暮らしのファイナンス	1・2・3・4後前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	環境と経済	1・2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	進化論の世界	1・2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	ジャーナリズムの現在	1・2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	ロシア語入門	1・2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	ボランティア体験の振り返り	1・2・3・4後前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	Advanced English Studies (1)	3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	Advanced English Studies (2)	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	Advanced French Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	Advanced French Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	Advanced German Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	Advanced German Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	Advanced Spanish Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	Advanced Spanish Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	Advanced Chinese Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	Advanced Chinese Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	Advanced Korean Studies (1)	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	Advanced Korean Studies (2)	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	ジェンダー学1	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	ジェンダー学2-1	1・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次および開講時期変更(27)
	ジェンダー学2-2	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	ジェンダー学3-1	2・3・4前		2							兼1	
	ジェンダー学5-1	1・2・3・4前		2							兼1	
	ジェンダー学5-2	2・3・4後		2							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	ジェンダー学6-1	1・2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	ジェンダー学6-2	2・3・4前		2							兼1	
	ジェンダー学6-3	2・3・4前		2							兼1	
	ボランティア研究概論1	2・3・4前		2							兼1	
	ボランティア研究概論2	2・3・4後		2							兼1	
	ボランティア研究演習1	3・4前		2							兼1	記載誤りにより削除(27)
	ボランティア研究演習2	3・4後		2							兼1	記載誤りにより削除(27)
他学科開講科目(日本語日本文学)	日本文学史Ⅰ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	日本文学史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	日本文学史Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	日本文学史Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	
	日本文学史Ⅴ	2・3・4前		2							兼1	
	日本文学史Ⅵ	2・3・4後前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	日本語学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	日本語学概論Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	日本語史概説Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	日本語史概説Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究Ⅴ	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学研究Ⅵ	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究Ⅶ	2・3・4前		2							兼1	
	古典文学研究Ⅷ	2・3・4後		2							兼1	
	近代文学研究Ⅰ	2・3・4後		2							兼1	
	近代文学研究Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	近代文学研究Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	近代文学研究Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	
	近代文学研究Ⅴ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	近代文学研究Ⅵ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	日本語学研究Ⅰ	2・3・4後		2							兼1	
	日本語学研究Ⅱ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	日本語学研究Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	日本語学研究Ⅳ	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	古典文学講読Ⅰ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	言語学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	言語学概論Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	対照言語学Ⅰ	3・4前		2							兼1	
対照言語学Ⅱ	3・4後		2							兼1		
文芸創作入門	2・3・4通		4							兼1		
書道Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	記載誤りのため削除(26)	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	書道Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	記載誤りのため削除(26)
	中国文学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	中国文学概論Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	古典文学の世界	1前		2							兼1	記載誤りのため追加(26)
	近代文学の世界	1前		2							兼1	記載誤りのため追加(26)
	ことばの世界	1前		2							兼1	記載誤りのため追加(26) 平成27年度未開講(27)
	日本語の世界	1前		2							兼1	記載誤りのため科目を追加(27)
他学科開講科目(哲学)	哲学演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	哲学演習Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	哲学演習Ⅲ	2・3・4通		4							兼1	
	哲学演習Ⅳ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	哲学演習Ⅴ-1	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	哲学演習Ⅵ-2	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	哲学演習Ⅶ-1	2・3・4前		2							兼1	
	哲学演習Ⅶ-2	2・3・4後		2							兼1	
	哲学史演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	哲学史演習Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	倫理学演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	倫理学演習Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	
	倫理学演習Ⅲ	2・3・4通		4							兼1	
	日本思想史演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	美学・芸術学演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	美学・芸術学演習Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	
	キリスト教学演習Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	キリスト教学演習Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	
	社会思想史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	社会思想史Ⅱ	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	哲学概論Ⅰ	1・2・3・4前		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26) 平成27年度未開講(27)
	哲学概論Ⅱ	1・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更、授業運営上の都合により開講時期変更(26) 平成27年度未開講(27)
	哲学概論Ⅲ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	哲学概論Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	倫理学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	倫理学概論Ⅱ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 平成27年度未開講(27)
	倫理学概論Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	倫理学概論Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	哲学・倫理学特講Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	哲学・倫理学特講Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	哲学・倫理学特講Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	哲学・倫理学特講Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	
哲学・倫理学特講Ⅴ	2・3・4前		2							兼1		
哲学・倫理学特講Ⅵ	2・3・4後		2							兼1		
哲学・倫理学特講Ⅶ	2・3・4前		2							兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	哲学・倫理学特講Ⅷ	2・3・4後		2							兼1	
	哲学・倫理学特講Ⅸ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)
	哲学・倫理学特講Ⅹ	2・3・4後		2							兼1	
	哲学・倫理学特講ⅩⅠ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	哲学・倫理学特講ⅩⅡ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	西洋古代・中世哲学史Ⅰ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	西洋古代・中世哲学史Ⅱ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	西洋近代哲学史Ⅰ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	西洋近代哲学史Ⅱ	2・3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	日本倫理思想史Ⅰ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 平成27年度未開講(27)
	日本倫理思想史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	宗教思想史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	宗教思想史Ⅱ	2・3・4前後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26) 授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	美学・芸術学概論Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	美学・芸術学概論Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	美学・芸術学特講Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	美学・芸術学特講Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	美学・芸術学特講Ⅲ	2・3・4前		2							兼1	
	美学・芸術学特講Ⅳ	2・3・4後		2							兼1	
	美学・芸術学特講Ⅴ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	美学・芸術学特講Ⅵ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	日本美術史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	日本美術史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	東洋美術史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	
	東洋美術史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	
	西洋美術史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	西洋美術史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	キリスト教学概論Ⅰ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	キリスト教学概論Ⅱ	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	新約聖書学	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	旧約聖書学Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	旧約聖書学Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	新約聖書学Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	新約聖書学Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	キリスト教倫理学Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	キリスト教音楽	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	キリスト教美術	2・3・4通		4							兼1 2	教育内容の充実を図るため担当教員を追加(27)

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
他 学 科 開 講 科 目 ( 教 育 学)	キリスト教文学	2・3・4通		4							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	キリスト教思想史Ⅰ	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	キリスト教思想史Ⅱ	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	キリスト教特講Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	キリスト教特講Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	キリスト教特講Ⅳ	2・3・4通		4							兼1	
	ギリシア語Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	
	ギリシア語Ⅱ	2・3・4通		4							兼1	
	ラテン語Ⅰ	2・3・4通		4							兼1	教育効果を考慮し配当年次変更(26)
	教育学概論	2通		4							兼1	記載誤りにより削除(26)
	教育哲学2	2・3前		2							兼1	
	西洋教育史2	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(27)
	日本教育史1	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(27)
	日本教育史2	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(27)
	西洋教育運動史 西洋社会思想	2・3後		2							兼1	科目名称変更(26) 教職課程認定における指導により科目削除(27)
	教育原理	2・3前		2							兼1	
	教育行政学2	2・3後		2							兼1	
	教育社会学概論1 社会学概論1	2・3後		2							兼1	科目名称変更(26) 教職課程認定における指導により科目削除(27)
	教育社会学概論2 社会学概論2	2・3後		2							兼1	科目名称変更(26) 教職課程認定における指導により科目削除(27)
	比較教育学	3・4通		4							兼1	
	比較教育学特講	3・4後		2							兼1	
	生涯学習概論	3・4前		2							兼1	
	教育経営	2・3・4後		2							兼1	
	教育心理学—教育心理学Ⅱ	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目名称変更(27)
	教育課程方法論	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(27)
	教育方法教育方法Ⅱ	2・3後		2							兼1 2 1	授業運営上の都合により開講時期を変更、 教育課程の充実を図るため教員追加(26) 教職課程認定における指導により 科目名称変更、教育効果の充実を図るため教員変更(27)
	教育課程論	2・3前後		2							兼1	
	発展途上国における教育問題1	3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	発展途上国における教育問題2	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	人間学習原論	3・4前		2							兼1	
	人間学習3	3・4後前		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	人間学習4	3・4前		2							兼1	
人間学習5	3・4後		2							兼1		
人間学習6	3・4前		2							兼1		
人間学習7	3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(26)	
人間学習8	3・4前		2							兼1		
人間学習10	3・4前		2							兼1		



科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	人間学習11	3・4前		2							兼1	
	教育メディア論	2・3前		2							兼1	
	教育情報学	2・3前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(27)
	教育工学	3・4前		2							兼1	
	メディア教材開発	2・3後		2							兼1	
	教育学特講2	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	教育学特講3	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	教育学特講5	2・3・4後		2							兼1	
	教育学特講7	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	教育学特講8	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	教育相談教育相談Ⅱ	2・3前後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目名称変更、授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	体育学特講	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	道徳教育の研究	2・3後		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	特別活動特別活動Ⅱ	2・3前後		2							兼1 2 1	教育課程の充実を図るため教員追加(26) 教職課程認定における指導により科目名称変更、教育効果の充実を図るため教員変更(27)
	生徒指導[含進路指導] 生徒指導[含進路指導]Ⅱ	2・3前後前		2							兼1 2 1	教育課程の充実を図るため教員追加(26) 教職課程認定における指導により科目名称変更、授業運営上の都合により開講時期を変更、教育効果の充実を図るため教員変更(27)
	教育学入門	1・2前		2							兼10 11 10	教育課程の充実を図るため教員追加(26) 担当教員が研修年のため教員変更(27)
	障害者教育・福祉概論	1・2・3・4前後		2							兼1	教育効果を考慮し配当年次および開講時期変更(27)
	幼児教育原論	2・3前		2							兼1	記載誤りにより削除(26)
	視聴覚教育1	1・2・3・4後		2							兼1	廃止(27)
	視聴覚教育2	1・2・3・4後		2							兼1	平成26年度未開講 廃止(27)
健康社会学	2・3・4前		2							兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)	
教育調査	3・4前		2							兼1		
他学科開講科目(英語英文学)	英文学史概説1	1・2前		2							兼1	
	英文学史概説2	1・2後		2							兼1	
	英作文1	3前		2							兼6	
	英作文2	3後		2							兼6	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
	英語学概論	1・2通		4							兼1	
	英語学特講3-1	2・3・4前		2							兼1	
	英語学特講3-2	2・3・4後		2							兼1	
	メディア・コミュニケーション特講1	3・4後		2							兼1	
	メディア・コミュニケーション特講2	3・4通		4							兼1	平成27年度未開講(27)
	メディア・コミュニケーション特講2-2	3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)
	メディア・コミュニケーション特講8-2	3・4後		2							兼1	
	英語史	2・3・4通		4							兼1	
	米文学史概説1	2・3・4前		2							兼1	
	米文学史概説2	2・3・4後		2							兼1	
	メディア・コミュニケーション入門1	1・2前		2							兼1	
	英文法	2・3前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	英会話	3・4通		4							兼1	
	オラルコミュニケーション	2・3・4通		4							兼1	
	英語文化論[英語と聖書]1	2・3・4前		2							兼1	
	英語文化論[英語と聖書]2	2・3・4後		2							兼1	
	英語文化論[翻訳実践]1	2・3・4前		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	英語文化論[翻訳実践]2	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	英語文化論[児童文学]1	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	英語文化論[児童文学]2	2・3・4後		2							兼1	平成27年度未開講(27)
	英語文化論[文学と電子メディア]1	2前		2							兼1	
	英語文化論[文学と電子メディア]2	2後		2							兼1	
	異文化理解	2・3・4前後		2							兼1	授業運営上の都合により開講時期を変更(27)
	英文学入門	1通		4							兼1	記載誤りのため追加(26)
	Leadership for Sustainable Development 1	2・3・4後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	Leadership for Sustainable Development 2	2・3・4前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	2年英文演習2-1	1前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	2年英文演習2-2	1後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26) 平成27年度未開講(27)
	2年英文講義1-1	1前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	2年英文講義1-2	1後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	2年英文講義3-1	1前		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
	2年英文講義3-2	1後		2							兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)
博物館関連科目	博物館概論	2・3・4前		2							兼1	
	博物館学各論1	2・3・4通		4							兼1	
	博物館学各論2	2・3・4通		4							兼1	
	博物館情報・メディア論	2・3・4前		2							兼1	
	博物館教育論	2・3・4前		2							兼1	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
日本語関連科目	2年日本語2	2・3・4後		2								兼2		
	上級日本語1-1	1・2・3・4前		1								兼1		
	上級日本語1-2	1・2・3・4後		1								兼1		
	日本事情1	1・2・3・4前		2								兼1		
	日本事情2	1・2・3・4後		2								兼1		
	教職関連科目	倫理学概論Ⅰ<4>	2・3・4前		2								兼1	教職課程認定により科目追加(26) 平成27年度未開講(27)
		倫理学概論Ⅱ<4>	2・3・4後		2								兼1	教職課程認定により科目追加(26) 平成27年度未開講(27)
		哲学概論Ⅲ<4>	2・3・4前		2								兼1	教職課程認定により科目追加(26)
		哲学概論Ⅳ<4>	2・3・4後		2								兼1	教職課程認定により科目追加(26) 平成27年度未開講(27)
		キリスト教学概論Ⅰ<4>	2・3・4後		2								兼1	教職課程認定により科目追加(26) 平成27年度未開講(27)
		キリスト教学概論Ⅱ<4>	2・3・4前		2								兼1	教職課程認定により科目追加(26)
		政治学概論[含国際政治]1<4>	2・3・4通		4								兼1	教職課程認定により科目追加(26)
		政治学概論[含国際政治]2<4>	2・3・4通		4								兼1	教職課程認定により科目追加(26) 平成27年度未開講(27)
		経済学概論[含国際経済]<4>	2・3・4通		4								兼1	教職課程認定により科目追加(26)
法学[含国際法]<4>		1・2・3・4通		4								兼1	教職課程認定により科目追加(26)	
社会学<4>	2・3・4通		4								兼1	教職課程認定により科目追加(26)		
全学必修分野	キリスト教学Ⅰ	キリスト教学Ⅰ-1	1・2通	4								兼1		
		キリスト教学Ⅰ-2	1・2通	4								兼1		
		キリスト教学Ⅰ-3	1・2通	4								兼1	平成27年度未開講(27)	
		キリスト教学Ⅰ-4	1・2通	4								兼1		
		キリスト教学Ⅰ-5	1・2通	4								兼1		
		キリスト教学Ⅰ-6	1・2通	4								兼1	平成26年度未開講	
		キリスト教学Ⅰ-7	1・2通	4								兼1		
		キリスト教学Ⅰ-8	1・2通	4								兼1		
		キリスト教学Ⅰ-9	1・2通	4								兼1		
		キリスト教学Ⅰ-10	1・2通	4								兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)	
キリスト教学Ⅱ	キリスト教学Ⅱ-1	3・4通	4									兼1		
	キリスト教学Ⅱ-2	3・4通	4									兼1		
	キリスト教学Ⅱ-3	3・4通	4									兼1		
	キリスト教学Ⅱ-4	3・4通	4									兼1		
	キリスト教学Ⅱ-5	3・4通	4									兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)	
	キリスト教学Ⅱ-6	3・4通	4									兼1		
	キリスト教学Ⅱ-7	3・4通	4									兼2	教育課程の充実を図るため科目を追加(26)	
	キリスト教学Ⅱ-8	3・4通	4									兼1		
	キリスト教学Ⅱ-9	3・4通	4									兼4 2	教育内容の充実を図るため担当教員を追加(27)	
	キリスト教学Ⅱ-10	3・4通	4									兼1		
	キリスト教学Ⅱ-11	3・4通	4									兼1		
	キリスト教学Ⅱ-13	3・4通	4									兼1	教育課程の充実を図るため科目を追加(27)	
	キリスト教学Ⅱ-14	3・4通	4									兼1		

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	キリスト教学Ⅱ-16	3・4通		4							兼1	
第一 外国語	1年英語	1通	4								兼 20 21	教育効果の充実に図るため教員変更(27)
	2年英語2(リーディング)	2通	2								兼 12 14 12	教育効果を考慮し担当教員追加(26) 教育効果の充実に図るため教員変更(27)
	2年英語2(オラル)	2通	2								兼 17 18 17	教育効果を考慮し担当教員追加(26) 教育効果の充実に図るため教員変更(27)
第二 外国語	1年フランス語(文法)	1通		4							兼4 5	教育効果を考慮し担当教員追加(26)
	1年フランス語(オラル)	1通		2							兼2	
	2年フランス語(講読)	2通		2							兼3 4	教育課程の充実に図るため担当教員を追加(27)
	2年フランス語(会話)	2通		2							兼4 3	教育課程の充実に図るため担当教員を追加(27)

科目 区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
	1年ドイツ語(文法)	1通		4							兼3	
	1年ドイツ語(オラル)	1通		2							兼2	
	2年ドイツ語(講読)	2通		2							兼2	
	2年ドイツ語(会話)	2通		2							兼1	
	1年スペイン語(文法)	1通		4							兼3 4 3	教育効果を考慮し担当教員追加 (26) 教育効果の充実を図るため教員変 更 (27)
	1年スペイン語(オラル)	1通		2							兼1 2	教育効果を考慮し担当教員追加(26)
	2年スペイン語	2通		2							兼2 4	教育効果を考慮し担当教員変更(26)
	1年中国語(文法)	1通		4							兼6 7 6	教育効果を考慮し担当教員追加 (26) 教育効果の充実を図るため教員変 更 (27)
	1年中国語(オラル)	1通		2							兼5	
	2年中国語(講読)	2通		2							兼3 2 1	教育内容充実のため担当教員変更 (26) 教育効果の充実を図るため教員変 更 (27)
	2年中国語(会話)	2通		2							兼3 4	教育効果を考慮し担当教員追加(26)
	1年コリア語(文法)	1通		4							兼4	
	1年コリア語(オラル)	1通		2							兼3 2	教育効果を考慮し担当教員変更(26)
	2年コリア語	2通		2							兼4 3	教育効果を考慮し担当教員変更(26)
	1年日本語1	1前		3							兼4	
	1年日本語2	1後		3							兼4	
	2年日本語1	2前		2							兼2	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備考		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
体育運動学	体育運動学	1通	2								兼11 10	教育効果の充実を図るため教員変更(27)	
資格関係分野	教職専門科目	教職入門教職入門Ⅱ	2・3前			2						兼1 21	教育効果を考慮し担当教員追加および開講時期変更(26) 教職課程認定における指導により科目名称変更、教育効果の充実を図るため教員変更(27)
		社会科教育法1	2・3後			2						兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
		社会・地理歴史科教育法1	3前			2						兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
		社会・地理歴史科教育法2	3後			2						兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
		社会・公民科教育法1	3前			2						兼1	
		社会・公民科教育法2	3後			2						兼1	
		教育実習指導1(中学・高校)	3後			1						兼1	
		教育実習指導4(中学・高校)	4後			1						兼1	
		教育実習1	4通			2						兼1	
		教育実習2	4通			2						兼1	教職課程認定における指導により科目削除(26)
	教職実践演習(中学・高校)	4後			2						兼1		
博物館実習	博物館実習	4前後			3						兼2		

- (注) ・ 認可申請書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
- ・ 設置認可時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載してください。その上で、前年度報告時(平成25年度に認可された大学等は設置認可時)より変更されているものは赤字見え消し修正し、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。  
 なお、昨年度の報告書において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 兼任、兼担の教員が担当する授業科目については、備考欄に担当する教員数を「兼〇」と記入してください。
  - ・ 授業科目を追加又は内容を変更する場合で、専任教員が担当するため教員審査が必要なものについては、「専任教員採用等設置計画変更書」の審査年月等を「備考」に記入してください。(今後審査を受ける場合には、「平成〇年〇月 提出予定」と記入してください。)
  - ・ 「配当年次」について、設置認可申請時に開講時期を記入する必要がなかった学部等(平成19年度認可以前)についても、設置認可時の状況を黒字で記入してください。また、前年度報告時より修正があれば、赤字で見え消し修正をしてください。
  - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても記入してください。

<文学部 心理学科>

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
10科目	491科目	12科目	513科目	10科目	558科目	12科目	576科目	
				[ 0 ]	[ 67 ]	[ Δ4 ]	[ 67 ]	

(注)・ 未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する（資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。）とともに、[ ] 内に、届出時の計画からの増減を記入してください。（記入例：1科目減の場合：Δ1）

<文学部 心理学科>

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由, 代替措置の有無
1	臨床心理学特講3	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
2	臨床心理学特講4	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員が研修年のため
3	国際関係史Ⅱ	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
4	世界音楽地誌	4	1・2・3・4通	一般	選択	隔年開講
5	日本近現代史Ⅱ-1	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
6	日本近現代史Ⅱ-2	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
7	中国古代文化史	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
8	朝鮮現代史	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
9	南アジア現代史	4	1・2・3・4通	一般	選択	隔年開講
10	西アジア文化史	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
11	東洋陶磁史	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講
12	ヨーロッパ中世史Ⅱ	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
13	ヨーロッパ近代史Ⅱ	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
14	社会心理学特講6	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
15	社会心理学特講9	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
16	社会心理学特講15	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
17	文化人類学特講2	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
18	文化人類学特講4	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
19	文化人類学特講10	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
20	家族社会学2	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
21	社会学特講1	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
22	人格発達心理学	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
23	人格心理学特講1	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
24	比較文化宗教学3	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
25	比較文化学2	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
26	質的調査法2	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員が研修年のため
27	現代家族法	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
28	国際法2	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
29	政治学概論[含国際政治]2	4	2・3・4通	一般	選択	担当教員の退職による
30	現代国際政治Ⅴ	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
31	現代国際政治Ⅵ	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
32	行政学	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
33	国際連合論	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
34	アメリカ外交論	4	1・2・3・4通	一般	選択	担当教員の退職による
35	東アジアの社会と文化(2)	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講
36	中国事情(2)	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講
37	Contemporary American Culture(1)	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職による
38	Contemporary American Culture(2)	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職による
39	アジア文化論	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
40	運動学1	1	2・3・4前	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
41	運動学2	1	2・3・4後	一般	選択	担当教員が研修年のため



42	中国古典への招待	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
43	中国思想への招待	2	1・2・3・4後	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
44	児童福祉論	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
45	アラビア語の世界	4	1・2・3・4通	一般	選択	「トルコ語の世界」に変更
46	健康な生活と健康科学	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員が研修年のため
47	ポップカルチャー	2	1・2・3・4前	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
48	チェコ語の世界	4	1・2・3・4通	一般	選択	「ロシア語入門」に変更
49	ジェンダー学6-1	2	1・2・3・4後	一般	選択	「ジェンダー学2-2」に吸収
50	ことばの世界	2	1前	一般	選択	「日本語の世界」と交互開講のため
51	哲学演習 I	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
52	哲学演習IV	4	2・3・4通	一般	選択	授業計画作成上の理由による
53	哲学史演習 I	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
54	倫理学演習 I	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
55	美学・芸術学演習 I	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
56	キリスト教学演習 I	4	2・3・4通	一般	選択	担当教員の退職による
57	社会思想史 I	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
58	哲学概論 I	2	1・2・3・4前	一般	選択	隔年開講
59	哲学概論 II	2	1・2・3・4後	一般	選択	隔年開講
60	哲学概論IV	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
61	倫理学概論 I	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
62	倫理学概論 II	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
63	倫理学概論IV	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
64	哲学・倫理学特講III	2	2・3・4前	一般	選択	授業計画作成上の理由による
65	西洋古代・中世哲学史 I	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
66	日本倫理思想史 I	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
67	宗教思想史 I	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
68	美学・芸術学特講V	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員の研修年による
69	美学・芸術学特講VI	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員の研修年による
70	西洋美術史 I	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
71	西洋美術史 II	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
72	キリスト教学概論 I	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
73	新約聖書学	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
74	旧約聖書学 I	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員の退職による
75	旧約聖書学 II	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員の退職による
76	キリスト教倫理学 I	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
77	キリスト教音楽	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
78	キリスト教思想史 II	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
79	キリスト教学特講 II	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
80	教育学特講2	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
81	教育学特講7	2	2・3・4後	一般	選択	授業計画作成上の理由による
82	教育学特講8	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
83	英語文化論[翻訳実践]1	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
84	英語文化論[翻訳実践]2	2	2・3・4後	一般	選択	授業計画作成上の理由による

85	英語文化論[児童文学]2	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
86	Leadership for Sustainable Development 1	2	2・3・4後	一般	選択	担当教員が研修年のため
87	Leadership for Sustainable Development 2	2	2・3・4前	一般	選択	担当教員が研修年のため
88	2年英文演習2-1	2	1前	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
89	2年英文演習2-2	2	1後	一般	選択	担当教員の時間割の都合による
90	倫理学概論Ⅰ<4>	2	2・3・4前	一般	選択	隔年開講
91	倫理学概論Ⅱ<4>	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
92	哲学概論Ⅳ<4>	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
93	キリスト教学概論Ⅰ<4>	2	2・3・4後	一般	選択	隔年開講
94	政治学概論[含国際政治]2<4>	4	2・3・4通	一般	選択	隔年開講
95	キリスト教学Ⅰ-3	4	1・2通	一般	選択	担当教員の退職による
96						

- (注) ・ 設置時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにもかかわらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。  
 ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

<文学部 心理学科>  
 (4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	ボランティア研究演習1	2	3・4前	一般	選択	記載誤りにより削除
2	ボランティア研究演習2	2	3・4後	一般	選択	記載誤りにより削除
3	比較文化学特講	4	2・3・4通	一般	選択	「比較文化学特講6・7」に吸収
4	3・4年英語	2	3・4通	一般	選択	「Advanced English Studies (1)・(2)」に吸収
5	現代社会と環境	2	1・2・3・4前	一般	選択	「環境と経済」に吸収
6	科学史1	2	1・2・3・4後	一般	選択	「進化論の世界」に吸収
7	科学史2	2	1・2・3・4後	一般	選択	「進化論の世界」に吸収
8	金融のしくみ	2	1・2・3・4前	一般	選択	「暮らしのファイナンス」に吸収
9	情報産業論	2	1・2・3・4前	一般	選択	「ジャーナリズムの現在」に吸収
10	視聴覚教育1	2	1・2・3・4後	一般	選択	「教育メディア論」に吸収
11	視聴覚教育2	2	1・2・3・4後	一般	選択	「教育メディア論」に吸収

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

<文学部 心理学科>

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

心理学科が開講主体となる未開講科目(1・2)はいずれも臨床心理学分野の講義科目であるが、2(「臨床心理学特講4」)は、来年度には開講され、1(「同3」)に代わって、専任教員が担当する「臨床心理学特講10」が新規に開講されたため、この分野の授業科目の多様性及び質は十分に維持されている。心理学科以外の未開講科目(3以下)の多くは、隔年開講を予定しており、かつ配当年次も複数学年に及ぶので、受講の機会は保証されている。また廃止科目の開講主体は、すべて心理学科以外であり、心理学科としての学位プログラム自体には、ほとんど影響しない。  
 今年度の未開講科目及び新規開講科目等については、年度始めの履修ガイダンスにおいて説明した。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

<文学部 心理学科>

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.22}$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

### 3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積：4,201㎡ 借用期間：期間なし		
	校舎敷地	44,753㎡	— ㎡	— ㎡	44,753㎡			
	運動場用地	4,424㎡	— ㎡	— ㎡	4,424㎡			
	小 計	49,177㎡	— ㎡	— ㎡	49,177㎡			
	そ の 他	34,640㎡	— ㎡	— ㎡	34,640㎡			
	合 計	83,817㎡	— ㎡	— ㎡	83,817㎡			
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計			
		25,446㎡ ( 25,446 ㎡)	— ㎡ ( — ㎡)	— ㎡ ( — ㎡)	25,446㎡ ( 25,446 ㎡)			
(3) 教 室 等		講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体	
		37室	20室	21室	11室 (補助職員 9 人)	1室 (補助職員 1 人)		
(4) 専任教員研究室		新設学部等の名称			室 数			
		文学部 心理学科			7 室			
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	大学全体での共用分 図書 248,443 [87,884] (233,664 [85,392]) 学術雑誌 ※バックナンバーによる種類数増 加のため(26) 1,701 [750] <del>1,701 [743]</del> (1,680 [745]) 電子ジャーナル ※オンラインデータ ベース収録雑誌種類数 が予想以上に増えたた め(26) 20,500 [20,500] <del>15,300 [15,300]</del> (19,970 [19,970]) 視聴覚資料 ※積極的に収集したた め増加(26) 共用分は不要資料除籍 による点数減少 5,800(5,384) <del>6,265 (6,261)</del> 機 械 ・ 器 具 <del>50(42)</del> 50(41)
		[うち外国書]	[うち外国書]	電子ジャーナル				
	冊	種	[うち外国書]	点	点	点		
	文学部 心理学科	9,870 [4,045]  (7,431 [3,997]) <del>(7,408 [3,989])</del>	5,095 [1,873] <del>5,091 [1,871]</del>  (4,641 [1,812]) <del>(4,521 [1,815])</del>	2,700 [2,700] <del>1,600 [1,600]</del>  (2,474 [2,474])	139  <del>118</del> <del>(123)</del>	5  <del>5</del> <del>(6)</del>	0  ( 0 )	
計	9,870 [4,045]  (7,431 [3,997]) <del>(7,408 [3,989])</del>	5,095 [1,873] <del>5,091 [1,871]</del>  (4,641 [1,812]) <del>(4,521 [1,815])</del>	2,700 [2,700] <del>1,600 [1,600]</del>  (2,474 [2,474])	139  <del>118</del> <del>(123)</del>	5  <del>5</del> <del>(6)</del>	0  ( 0 )		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数		大学全体	
	3,963㎡		347		517,389			
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要				大学全体	
	1,442㎡		テ ニ ス コ ー ト 5 面					

(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	共同研究費、図書購入費、設備購入費は大学全体（文学部）の経費。なお、図書購入費には電子ジャーナルデータベース費（運用コスト含む）を含む。開設前年度の設備購入費はPC入替え、寮エアコンの更新等前倒しでの対応により予定より増加した。(26) 開設年度の数値の変更は実績によるもの。(27)
		教員1人当り研究費等	405千円 440千円	千円	図書購入費	60,000千円	60,000千円	千円	
		共同研究費等	5,500千円 6,300千円	千円	設備購入費	113,000千円 17,000千円	12,000千円 17,000千円	千円	
学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次			
	1,386千円	970千円	970千円	990千円	— 千円	— 千円			
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学等経常費補助金、資産運用収入等						

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号（その1の1）に準じて作成してください。（複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。）
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨（所要時間・距離等）を「備考」に記入してください。
  - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には平成27年5月1日現在の数値を記入してください。
  - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(27)」を「備考」に赤字で記入してください。  
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
  - ・ 校舎等建物の計画の変更（校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延）がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

#### 4 既設大学等の状況

大学の名称	聖心女子大学								備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	開年度	所在地	
文学部	年	人		人					入学時は文学部としての一括募集。 2年次進級時に学則定員に従い按分して学科別に収容する。  平成25年度より学生募集停止
英語英文学科	4	90	2年次6人	378	学士(英語英文学)	1.15	平成19年度	東京都渋谷区広尾4丁目3番1号	
日本語日本文学科	4	45	2年次6人	198	学士(日本語日本文学)	1.15	平成3年度	同上	
歴史社会学科	4	—	2年次6人	—	学士(史学)	—	昭和23年度	同上	
					学士(人間関係)				
					学士(国際交流)				
史学科	4	55	2年次2人	226	学士(史学)	1.15	平成26年度	同上	
人間関係学科	4	55	2年次2人	226	学士(人間関係)	1.15	平成26年度	同上	
国際交流学科	4	60	2年次2人	246	学士(国際交流)	1.15	平成26年度	同上	
哲学科	4	40	2年次4人	172	学士(哲学)	1.14	昭和23年度	同上	
心理学科	4	55	2年次4人	232	学士(心理学)	1.15	平成26年度	同上	
教育学科 教育学専攻	4	25	2年次4人	364	学士(教育学)	1.15	昭和32年度	同上	
教育学科 初等教育学専攻	4	40	—	80	学士(初等教育学)	1.14	昭和32年度	同上	

大学の名称	聖心女子大学大学院							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均定員超過率	開設年度	所在地
大学院文学研究科 (修士課程)	年	人	年次人	人		倍		
英語英文学専攻	2	10	—	20	修士(英語英文学)	0.35	平成16年度	東京都渋谷区広尾4丁目3番1号
日本語日本文学専攻	2	5	—	10	修士(日本語日本文学)	0.00	平成16年度	同上
史学専攻	2	5	—	10	修士(史学)	0.20	昭和27年度	同上
哲学専攻 (博士前期課程)	2	6	—	12	修士(哲学)	0.42	平成11年度	同上
社会文化学専攻	2	6	—	12	修士(社会文化学)	0.25	平成16年度	同上
人間科学専攻 (博士後期課程)	2	12	—	24	修士(人間科学)	0.50	平成7年度	同上
社会文化学専攻	3	2	—	6	博士(社会文化学)	0.17	平成18年度	同上
人文学専攻	3	4	—	12	博士(文学)	0.25	平成13年度	同上
人間科学専攻	3	2	—	6	博士(人間科学) 博士(心理学)	0.50	平成9年度	同上

- (注)・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が設置している全ての大学(学部、学科)、大学院(専攻)及び短期大学(学科)(AC対象学部等含む)について、それぞれの学校種ごとに、平成27年5月1日現在の上記項目の情報を記入してください。
- ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに記入してください。  
※「入学定員を定めている組織ごと」には、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めません。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。  
※なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている組織上の最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)でも記載してください。
  - ・専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。
  - ・AC対象学部等についても必ず記入してください。
  - ・「平均入学定員超過率」には、標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点以下第2位まで(小数点以下第3位を切り捨て)を記入してください。
  - ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員・収容定員・平均入学定員超過率は「—」とし、「備考」に「平成〇〇年より学生募集停止」と記入してください。

## 6 留意事項等に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項 等		履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設 置 時 (平成26年4月)	該当なし		該当なし	該当なし
設置計画履行状況 調 査 時 (平成27年4月)	該当なし		該当なし	該当なし

- (注) ・ 「設置時」には、当該大学等の設置時に付された留意事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る留意事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入し、報告年度を（ ）書きで付記してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された意見に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料があれば、添付してください。
  - ・ 定員管理に係る留意事項への履行状況は、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
  - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。



## 7 その他全般的事項

<文学部 心理学科>

### (1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① オ（４）副専攻とリベラルアーツ総合プログラム            本学では、基礎課程と専攻課程(各学科)の2部構成の教育課程を持っているが、総合的教養教育の充実をはかるための副次的教育課程として、副専攻とリベラルアーツ総合プログラム(仮称)を持つ。</p> <p>②ケ 入学者選抜の概要            (1) アドミッションポリシー            本学の公式ホームページ、ガイドブック等で公開しているアドミッションポリシーは、以下の通りである。            「幅広い教養と高度な専門性を身につけた自立的・実践的な女性をめざし、自ら学ぶ意欲をもった皆さんを受け入れるために、私たちは、3教科方式の入試のほか、総合小論文方式、アドミッションズ・オフィス入試、推薦入試、帰国子女入試、外国人留学生入試、編入学試験など、面接を含むさまざまな選抜方法を用意して、一人一人の受験生に丁寧に向き合おうとしています。3教科方式の入試で記述式の問題の多いことにもそれは表れています。            また、私たちは、無限の可能性を持つ受験生の皆さんに、入学前に急いで進路・専攻を決めることを求めません。受験の際には学科専攻を決めず、入学後の日々の勉学を通して、2年次からどの学科専攻で学ぶかを考える方式を採っています。」</p>	<p>①オ(4)副専攻とリベラルアーツ総合プログラム平成26年10月7日の教授会において、平成27年度から開始する「総合リベラル・アーツ副専攻」について、より詳しく具体的な内容と運営方法について定めた(別紙教授会資料参照)。これにもとづき、同年11月25日のジェネラルレクチャーで、1年次生を対象として副専攻の概要についての説明を行い、平成27年4月3日には、より詳しく副専攻のガイダンスを行った。なお、別紙資料にもあるように、新2年次生の「総合リベラル・アーツ副専攻」は後期開始時としたので、登録者数については未定である。</p> <p>②ケ(1)アドミッションポリシー            「平成27年度大学入学者選抜実施要領」(平成26年5月28日付)に「入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)」については、求める学生像だけでなく、高等学校で履修すべき科目や取得しておくことが望ましい資格等を列挙するなど「何をどの程度学んできて欲しいか」をできる限り具体的に明示する。なお、明示する科目・資格等は、高等学校教育の内容・水準に十分配慮したものとす。」とあるのに基づき、入試委員会・教授会でアドミッション・ポリシーの見直しを行い、以下のように改訂した。            〈アドミッション・ポリシー〉—このような人に入学者としてほしいと願っています—            聖心女子大学では、大学の理念に共感し、国際化した社会のなかで自立した女性として実践的に活動することをめざし、そのための幅広い教養と高い専門性、柔軟な思考力と的確な判断力を身につけよう并希望する皆さんに入学していただきたいと願っています。            そのため、高等学校では国語、外国語、地理歴史、公民はもとより、数学、理科など、あらゆる授業科目の履修を通じて、また授業以外でも課外活動、読書などを通じて、積極的に興味・関心の幅を広げてください。そうした主体的な学習姿勢こそが、本学入学後の学修に大いに役立ちます。</p> <p>さらに、聖心女子大学では、自らの興味・関心に基づいて調べたことや、それらについての意見を正確に発信し、議論する力も重要だと考えています。そのため高校時代には、興味・関心のある事柄について自ら調べ、体験し、また論理的に考え、書き、話す力、すなわち論理的思考力とコミュニケーション能力を養っておくことが望まれます。            このような学習姿勢や能力を身につけたみなさんに入学していただくため、聖心女子大学では、次の3つの方針を掲げています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 皆さんに聖心女子大学をより良く知っていただく機会を広く設けます。そのためにオープンキャンパスや大学ウェブサイトなどによって、在学生や教員のような方をさまざまな形でご紹介していきます。</li> <li>2 一人ひとりの受験生に丁寧に向き合います。そのために3教科入試をはじめ、さまざまな入試方法を用意し、どの入試でも文章を書いてもらい、またA0入試などではじっくりと面接を行うことなどによって、皆さんの「発信力」に耳を傾けます。</li> <li>3 聖心で学びたい、という気持ちを大切にします。そのために学科・専攻を入学時に決めるのではなく、入学後の日々の勉学を通して、自分にふさわしい方向性を見出し、2年次に学科・専攻を決める、そのような制度を採用しています。</li> </ol>

### ③テ 管理運営

本学の教学面での管理運営は、「聖心女子大学教授会規程」および「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」等により定められている。

#### (1) 教授会

教授会は学長が招集し、その議長となる。構成は、副学長、専任の教授、准教授及び講師をもって組織する。定例教授会は月1回開催し、学長が必要と認めるとき、教授会構成員の3分の1以上から要求のある時には臨時教授会を開催することができる。審議事項は以下の通りである。

「教育、研究及び授業に関する事項」「教育課程に関する事項」「学生の入学、編入学、転入学、再入学、学士入学、休学、復学、留学、転学、及び退学に関する事項」「科目等履修生、研究生及び外国人留学生に関する事項」「学生の単位認定及び卒業に関する事項」「学生の賞罰に関する事項」「学生の厚生補導に関する事項」「教員の人事に関する事項」「学則その他諸規則に関する事項」「学長の諮問する事項」「その他教授会の必要と認める事項」

#### (2) 「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」に基づく委員会

以下の委員会は、教授会に提出する議題の素案を審議するとともに、大学の運営に関する事項のうち、教授会から委託された事項について審議する。

##### 〈教務委員会〉

教務委員会は、学務担当副学長、本学専任教員のうち各学科の推薦に基づき学長が指名する委員8名をもって構成する。審議事項は以下の通りである。

「教育課程（カリキュラム）の編成及び履修に関する事項」「教育内容及び教育方法の改善（ファカルティ・ディベロップメントを含む）に関する事項」「教育課程実施の年間計画に関する事項」「授業、定期試験及び授業時間割の編成に関する事項」「学生の学科・専攻の所属に関する事項」「学生の転科に関する事項」「学生の成績評価及び単位認定に関する事項」「学生の卒業認定に関する事項」「科目等履修生及び研究生に関する事項」「他大学との単位互換及び高等学校への授業提供に関する事項」「教員の配置に関する事項」「非常勤講師枠の配当に関する事項」「その他委員会が必要と認める事項」

##### 〈学生委員会〉

学生委員会は、学生担当副学長、本学専任教員のうち各学科の推薦に基づき学長が指名する委員8名をもって構成する。審議事項は以下の通りである。

「学生の学籍に関する事項」「学生行事、課外活動に関する事項」「学生の生活指導及び新入生オリエンテーションに関する事項」「学生の保健、奨学生選考、アルバイト等福利厚生に関する事項及び奨学生関係諸規定に関する事項」「その他委員会が必要と認める事項」

### ③テ管理運営

平成27年4月1日施行の新学校教育法にしたがって、平成26年度後半に、学長の決定権の担保、学長と教授会との関係の明確化、懲戒手続の明確化などに係る「聖心女子大学学則」の関係部分を改訂し、これと連動して、「聖心女子大学教授会規程」以下の各種規程を改定、整備した。

また、教育課程の編成やFD活動等に職員が積極的に関わるといふ趣旨から、「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」を改訂し、教務委員会・学生委員会の構成員に事務局長を加え、「聖心女子大学FD協議会内規」を制定、施行した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）

及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

・ 設置時の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。（記入例参照）

## (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

### 7 その他全般的事項

#### (2) 教員の資質の維持向上の方策（FD活動含む）

本学は、従来から学部単位で教員の資質の維持向上の方策に取り組んでおり、平成26年4月より文学部内に新設された史学科、人間関係学科、国際交流学科、心理学科についても、文学部の既存学科と併せて実施することとしている。

##### ① 実施体制

###### a 委員会の設置状況

教務委員会のもとに、FD協議会が置かれている。教務委員会の構成員については、平成26年8月1日改正施行の「聖心女子大学教授会規程に基づく委員会規程」において、学務担当副学長、各学科の委員8名に加え、事務局長を委員とした。FD協議会は、同上規程第2条に定められた教務委員会の審議事項のうち、「教育内容及び教育方法の改善（ファカルティ・ディベロップメントを含む）に関する事項」を扱う組織として位置づけられている。平成26年8月1日には「聖心女子大学FD協議会内規」を新たに制定・施行し、その協議事項を定めるとともに、構成員については、上記教務委員会の委員と学務事務部教務課長とした。

###### b 委員会の開催状況

原則として月1回開催（平成26年度は9回開催）。

###### c 委員会の審議事項等

「聖心女子大学FD協議会内規」第2条に、

- (1) 教育内容及び教育方法の改善に関する事項
- (2) 学生による授業評価等を通じた学習時間、学習成果等についての情報の収集及び文書に関する事項
- (3) 教員を対象とする研修（教育内容・方法の改善、教育研究、社会貢献、管理業務等）に関する事項
- (4) その他協議会が必要と認める事項

と定められている。

具体的には、学生による授業評価の方法、授業評価をもとにした各教員・各学科・全学各レベルでの授業報告書のとりまとめと内容の検討、研修会の立案、研修会参加者に対するアンケート調査の実施と結果の分析等を扱う。

##### ② 実施状況

###### a 実施内容

- i 学生による授業評価に基づく授業報告書の作成、検討、公表
- ii FD研修会の実施
- iii 新任教員対象の研修会
- iv 科研費の取得・使用に係る説明会・講演会

###### b 実施方法

i ③で述べる学生による授業評価アンケートをふまえ、年度末に専任教員全員が、担当授業のうち1～3科目について授業報告書（様式は別紙参照）を作成、学科内で回覧した後、FD協議会のメンバーでもある教務委員が集約して、学科全体の授業報告書を作成し、各教員の授業報告書とともに、学務担当副学長に提出する。

学務担当副学長は、これらの授業報告書を読んだうえで、全体の状況や、各学科での特徴ある取り組みなどを摘記し、これと、学科ごと、教員ごとの授業報告書をまとめた『「学生による授業評価」に基づく授業報告書』を作成し、FD協議会での検討を経て、その冊子を学内の教職員、学生に公表する。

ii FD協議会が企画立案し、研修会・講演会等を行う。

iii 日本私立大学連盟主催の新任専任教員向けFD推進ワークショップ「大学教員の職能開発とFD」に新任の若手教員を派遣する。

iv 学内で科研費の管理を所管する企画部で企画、立案する。

###### c 開催状況

ii ①平成25年度後半に導入したグループウェア「Google Apps」（学内名「USH-Cloud」）の活用方法について、情報化推進プロジェクトチームのリーダーを講師とした研修を、教職員対象に2回、教員対象に5回行った。期日・おもな内容・参加教職員数は下記の通り。

回数 開催日 おもな内容 参加教職員数

- 1 4月8日 アンケートの作成と活用 教員61名
- 2 5月20日 PCとのファイル共有と取り扱い方 教員58名
- 3 6月10日 映像配信 教員61名
- 4 7月8日 個人でサイトを構築する 教員62名
- 5 10月7日 Web会議システム(Live On)の活用 教員59名
- 6 11月11日 USH-Cloudのセキュリティ 教員60名

② FDに関する研修会として、8月1日にキャンパスの沿革（江戸時代から現代まで）についての講演（講師史学科教授佐々木恵介）と、BS朝日で放映された「旧久邇宮邸」の鑑賞を行った。参加教職員59名。

③ FD協議会とハラスメント防止委員会の共催で、2月19日に講演会「ハラスメントにならない伝え方、指導法」（講師NPO法人アサーティブジャパン代表森田汐生氏）を実施した。参加教職員61名。なお、この講演会については参加者にアンケートを実施し、その結果をFD協議会・ハラスメント防止委員会で共有するとともに、今後のFD研修会開催のための検討材料とした。

iii 平成24年度2名、平成25年度1名、平成26年度1名

iv 科研費に係る説明会、説明会の平成26年度における開催状況は以下の通り。

・ 科研費の使用に係る説明会

開催日：平成26年7月8日

参加者：教員12名、職員5名、計17名

・ 科研費の取得に係る講演会

開催日：平成26年7月12日

演題：「科研費の制度について」

講師：文部科学省振興局学術研究助成課課長補佐

参加者：教員17名、職員6名、計23名

- d 実施状況を踏まえた授業改善への取組状況
- i bに記したように、学生による授業評価アンケートに基づき、各教員が授業報告書を作成するが、これらは各学科内で回覧され、教務委員がその内容を集約して、効果的な授業方法や、取り組むべき課題を学科ごとの授業報告書に記載し、学科内で共有するようにしている。さらに全学的な課題については、教務委員会で検討されるが、とくに授業報告書の中で意見、要望が多い教室の施設・設備等については、平成27年度中にその整備をはかるためのプロジェクトチームを設置する予定である。
- また、平成26年8月1日には、IR推進センターが発足したので、アンケート中の学生の学修時間に関するデータを提供して、その分析を依頼した(センターでは平成26年12月1日に報告書を経営会議に提出)。
- ii 平成25～26年度の「Google Apps」研修を踏まえ、平成27年度はe-ポート・フォリオの導入を本格的に検討する。
- iv 科研費の取得状況(新規採択及び継続の研究代表者分。学術研究助成基金助成金を含む。)は以下の通り。  
平成24年度：12件(基盤研究7、挑戦的萌芽研究1、若手研究2、研究活動スタート支援1、特別研究員奨励費1)  
平成25年度：13件(基盤研究9、挑戦的萌芽研究1、若手研究2、特別研究員奨励費1)  
平成26年度：15件(基盤研究11、挑戦的萌芽研究2、若手研究2)
- ③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況
- a 実施の有無及び実施時期
- 前期・後期の授業最終週に実施。アンケート(様式は別紙参照)を実施するのは、専任教員は担当授業のうち原則として2科目、非常勤講師は担当授業のうち1科目以上。なお、②bのiに記した各教員の授業報告書には、アンケート未実施で、教員がリアクションペーパーなどによって日常的に把握している学生の意見や希望をもとに作成したものも含まれる。
- b 教員や学生への公開状況、方法等
- アンケートは学務事務部で集計し、結果を授業担当教員に通知する。専任教員は、②bのiに記したように、最終的には年度ごとの『「学生による授業評価」に基づく授業報告書』という冊子の形で、学内の各学科研究室等に配布し、教職員、学生に公開している。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

### (3) 自己点検・評価等に関する事項

#### ① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

本学では、設置の趣旨・目的の達成状況について、将来構想・評価委員会を中心とする内部質保証の取り組みの中で点検・評価及び検証を行っており、以下に記述する内容の詳細は、毎年度末に公表している『点検・評価報告書』に記載される予定である。

平成26年度に行われた学科等の改組設置、定員の変更については、平成25年7月以降、文部科学省の指導のもと申請及び認可の時期を慎重に配慮しつつ、パンフレット、募集要項、大学ホームページ等の媒体により、その趣旨・概要の周知に努め、所期の入学定員数を確保することができた。平成26年度には、『聖心女子大学ガイドブック2015』（平成26年4月末）にも掲載し、オープンキャンパスでも積極的に広報を行ったが、その結果、志願者数、入学定員数にやや減少が見られたものの新学科の平均入学定員超過率としては、1.15～1.18倍と適正範囲を保持している。

本学は1年次では全員が文学部基礎課程に在籍し、学科・専攻に分かれるのは2年次からである。したがって認可を受けた学科・専攻及び定員について実際に学生が進学するのは、平成27年度からとなる。本学ではこれに向け、平成26年度には入学後のガイダンス、全1年次生を対象とするジェネラルレクチャーでの学科紹介ガイダンス、選考決定のためのガイダンス等において、改組設置及び定員変更の趣旨・概要を周知徹底した。また、平成25年12月までに新設された史学科、人間関係学科、国際交流学科、心理学科を含む全学科・専攻について、設置の趣旨に基づき「卒業生像」と「履修モデル」の見直しを行った。その結果は平成26年度『履修要覧』、大学ホームページ及び『聖心女子大学ガイドブック2015』等に掲載し、広く周知している。あらゆる機会を捉えて実施されたこれらの指導、広報の方法は適切であると考える。

2年次に進学するための専攻の決定は平成26年11～12月に実施され、学生の希望に基づく学科による選考により、新設学科を含め全学科で適切な数の進学者が確定した。27年4月より、各学科での勉強が順調に始まっている。平成26年11月～27年1月には、将来構想・評価委員会が中心となり、学科の趣旨・概要、卒業生像、履修モデル等の周知、学生の受け入れ方法等につき、学科別に詳細な点検・評価、検証を実施した。その結果、大きな問題点は見出せず、この間の経緯は順調、適切に推移したものと確認された。このほか、平成26年度にはFD協議会内規を定め、FD推進の体制を整備した。

開設する授業科目については、計画段階から若干の変更を生じたが、別項「授業科目を未開講又は廃止としたことに関する『大学の所見』」にあるとおり、やむを得ない事情によるものと認められる。総合リベラル・アーツ副専攻等についても教務委員会を中心に準備を進め、平成27年4月にガイダンスを実施、9月からの本格登録に備えている。以上、若干の変更点はあるが、現時点における設置の趣旨・目的の達成状況は、ほぼ計画通りで適切と考えられる。今後さらにきめ細かい改善を進め、学科新設の効果を高めるよう努めたい。

#### ② 自己点検・評価報告書

##### a 公表（予定）時期

・平成28年3月20日

##### b 公表方法

・大学ホームページ上に公開予定

#### ③ 認証評価を受ける計画

・平成28年度に評価機関（大学基準協会）の評価を受けるべく、学内で準備中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

### (4) 情報公表に関する事項

#### ○ 設置計画履行状況報告書

a ホームページに公表の有無

有

・ 無 )

b 公表時期（未公表の場合は予定時期）

( 平成27年 9月 30日 )